

少子化・子育てに関する県民意識調査

報 告 書

令和元年8月

福 島 県

<目次>

I 調査概要	1
1. 調査の目的	3
2. 調査内容	3
3. 調査対象及び調査方法	4
4. 報告書の見方	5
II 調査結果の概要	7
1. あなたとあなたのご家族について	9
2. あなたの結婚や子どもに対する考えについて	11
3. あなたの結婚や子育てに関する環境について	11
4. 子育てに関する考えや環境について(子どもがいる方)	13
5. 自身のことや結婚に対する考えについて(未婚で子どもがいない方)	14
III 調査結果	15
1. あなたとあなたのご家族について	17
(1) 回答者の性別	17
(2) 回答者の年齢	17
(3) 居住地域	18
(4) 結婚の有無	19
(5) 結婚した年齢	20
(6) 子どもの有無	21
(7) 子どもの年齢・人数	22
(8) 親との同居状況	24
(9) 家族構成	25
(10) 就労状況	27
(11) 労働時間 ※就労している方	29
(12) 帰宅時間 ※就労している方	31
(13) 住居形態	33
(14) 住環境	34
(15) 経済的な生活状況	36
2. あなたの結婚や子どもに対する考えについて	37
(1) 結婚についてのメリット	37
(2) 結婚についてのデメリット	39
(3) 理想的な子どもの人数	41
(4) 実際の子どもの予定人数	42
(5) 理想的な人数の子どもを持たない理由 ※実際の子ども数が理想より少ない方	43
3. あなたの結婚や子育てに関する環境について	46

(1) 施設・制度の利用状況.....	46
(2) 子育て環境の整備や少子化対策で期待すること.....	50
(3) 子育て支援活動への参加希望.....	55
(4) 震災による子どもへの影響で心配なこと.....	56
(5) 児童虐待について知っていること.....	58
(6) 子どもの貧困対策のため充実が必要なこと.....	60
4. あなたの子育てに関する考えについて ※子どもがいる方.....	63
(1) 子どもがいてよかったと思うこと.....	63
(2) 子どもがいて負担に思うこと.....	65
(3) 家事・子育てにかかる時間（平日）.....	68
(4) 家事・子育てにかかる時間（休日）.....	71
(5) 親と同居して良かったと思うこと ※親と同居している方.....	74
(6) 子育てや子育て支援情報の入手先.....	76
(7) 仕事と子育て両立のため理想とする帰宅時間帯 ※就労している方.....	78
(8) 子育てに関する相談先.....	80
(9) 子育てに関する困りごと.....	82
(10) 子育てするうえで近所・地域の人たちにしてほしいこと.....	84
5. 子育てに関する環境について ※子どもがいる方.....	86
(1) 子育てするうえで重要な住宅要素.....	86
(2) 子育てするうえで重要な住環境.....	88
(3) 乳児を連れて外出する時の不安や困りごと.....	90
(4) 出産後の就職状況 ※女性の方.....	92
6. あなたご自身のことについて ※未婚で子どもがいない方.....	93
(1) 親と同居している理由 ※親と同居している方.....	93
(2) 将来への不安.....	94
7. あなたの結婚に対する考えについて ※未婚で子どもがいない方.....	95
(1) 結婚に対する考え.....	95
(2) 結婚相手を探すためにしていること ※結婚したい方.....	96
(3) 結婚後の生活変化の考え.....	98
(4) 現在独身でいる理由.....	99
8. 自由意見.....	102
(1) 少子化や子育てに関する意見.....	102
IV 資料.....	107

I 調査概要

I 調査概要

1. 調査の目的

「ふくしま新生子ども夢プラン」次期計画（次世代育成支援対策推進法第9条第1項の規定に基づく県行動計画）の策定に当たり、子育て環境の実態や少子化の現状及び県民意識・ニーズなどを把握し、その要因等を分析することを目的に本調査を実施した。

2. 調査内容

子育て環境の整備や少子化対策に係る県民ニーズ等を把握するため、結婚・出産・子育てなどに関するアンケート調査を実施した。

共通項目 ※問1～問26
<p>1. あなたとあなたのご家族について （回答者の性別、回答者の年齢、居住地域、結婚の有無、結婚した年齢、子どもの有無、子どもの人数、親との同居状況、家族構成、就労状況、住居形態、住環境、経済的な生活状況）</p> <p>2. あなたの結婚や子どもに対する考えについて （結婚についてのメリット、結婚についてのデメリット、理想的な子どもの人数、実際の子どもの予定人数、理想的な人数の子どもを持たない理由）</p> <p>3. あなたの結婚や子育てに関する環境について （施設・制度の利用状況、子育て環境の整備や少子化対策で期待すること、子育て支援活動への参加希望、震災による子どもへの影響で心配なこと、児童虐待について知っていること、子どもの貧困対策のため充実が必要なこと）</p>
個別項目 （子どもがいる方） ※問28～問41
<p>1. あなたの子育てに関する考えについて （子どもがいてよかったと思うこと、子どもがいて負担に思うこと、家事・子育てにかかる時間、親と同居してよかったと思うこと、子育てや子育て支援情報の入手先、仕事と子育て両立のため理想とする帰宅時間、子育てに関する相談先、子育てに関する困りごと、子育てするうえで近所・地域の人たちにしてほしいこと）</p> <p>2. 子育てに関する環境について （子育てするうえで重要な住宅要素、子育てするうえで重要な住環境、乳児を連れて外出する時の不安や困りごと、出産後の就職状況）</p>
個別項目 （未婚で子どもがいない方） ※問42～問47
<p>1. あなたご自身のことについて （親と同居している理由、将来への不安）</p> <p>2. あなたの結婚に対する考えについて （結婚に対する考え、結婚相手を探すためにしていること、結婚後の生活変化についての考え、現在独身でいる理由）</p>

3. 調査対象及び調査方法

対象	福島県内市町村に住民票がある ① 子どもがいない方（18歳未満の子どもがいない20～60歳未満の方） ② 子どもがいる方（未就学児童、小学生、中学生以上の保護者の方）																								
標本数	① 3,000人 ② 6,000人（各2,000人） 合計9,000人																								
標本抽出	住民基本台帳より無作為抽出																								
調査方法	郵送配布・郵送回収 ※一部の市町村においては、保育所、小・中学校などの施設を通じて配布																								
調査期間	令和元年5月16日（木）～令和元年6月5日（水） ※令和元年6月10日到着分までを集計対象とした。																								
回収結果	<p>回収数： 2,489件 無効数： 3件 有効回収数：2,486件 有効回収率： 27.6%</p> <p>有効回収数（男女別） (件)</p> <table border="1"> <tr> <td>男性</td> <td>779</td> <td>女性</td> <td>1,702</td> <td>不明</td> <td>5</td> </tr> </table> <p>有効回収数（地域別） (件)</p> <table border="1"> <tr> <td>県北</td> <td>581</td> <td>会津</td> <td>341</td> <td>いわき</td> <td>468</td> </tr> <tr> <td>県中</td> <td>664</td> <td>南会津</td> <td>59</td> <td>その他県外</td> <td>10</td> </tr> <tr> <td>県南</td> <td>217</td> <td>相双</td> <td>143</td> <td>不明</td> <td>3</td> </tr> </table>	男性	779	女性	1,702	不明	5	県北	581	会津	341	いわき	468	県中	664	南会津	59	その他県外	10	県南	217	相双	143	不明	3
男性	779	女性	1,702	不明	5																				
県北	581	会津	341	いわき	468																				
県中	664	南会津	59	その他県外	10																				
県南	217	相双	143	不明	3																				

4. 報告書の見方

- ① グラフ・表中の「n (number of cases)」はアンケートの有効回収数を示している。
- ② 割合はすべて百分率(%)で表し、小数点第2位を四捨五入して算出している。従って、合計が100.0%にならない場合もある。
- ③ 複数回答の場合、回答の合計割合が100.0%を超える場合がある。
- ④ グラフ・表として示したもののうち、無回答の回答数が0の場合は「無回答」の表示を省略している場合がある。また、問文・選択肢の文章を、意味が変わらない程度に簡略化している場合がある。
- ⑤ 各設問において回答のなかった選択肢については、図表内で「-」と表記している場合がある。また、回答の構成比について、回答者が少なく小数点第2位を四捨五入した際に0.1%未滿となる値は「0.0」と表記している場合がある。
- ⑥ クロス分析に用いた子どもの有無別の「子どもあり」については、0歳～高校以上の学生までの子どもが同居している方を対象としている。同居しているのが就職している子どもの方については「子どもなし(既婚)」の対象としている。

I 調査概要

Ⅱ 調査結果の概要

Ⅱ 調査結果の概要

1. あなたとあなたのご家族について

- ① 回答者の属性（問1、問2、問3）
 - 「女性」が68.5%と多く、「男性」（31.3%）を上回り、「40～49歳」が38.9%と最多で、「30～39歳」（32.7%）、「50～59歳」（14.0%）、「20～29歳」（9.8%）と続く。
 - 居住地域は「県中」（26.7%）、「県北」（23.4%）、「いわき」（18.8%）、「会津」（13.7%）、「県南」（8.7%）、「相双」（5.8%）、「南会津」（2.4%）の順となっている。

- ② 結婚の有無と結婚した年齢（問4、問5）
 - 「既婚（離別・死別も含む）」が88.2%を占め、「未婚」は11.8%である。
 - 結婚した年齢は、「20～29歳」が69.6%と最多で、以下、「30～39歳」（22.9%）、「20歳未満」（2.4%）、「40～49歳」（1.6%）となっている

- ③ 子どもの有無と子どもの年齢・人数（問6、問7）
 - 子どもは「いる」が84.8%を占め、子どもが「いない」は14.1%である。
 - 子どもの年齢は、「中学生」（32.5%、平均人数：1.12人）が最多で、以下、「小学生（4～6年生）」（28.8%、平均人数：1.12人）、「小学生（1～3年生）」（28.0%、平均人数：1.09人）、「3歳～小学校入学前」（27.3%、平均人数：1.11人）となり、子どもの合計人数は、「2人」が47.1%と最多、以下、「3人」（25.5%）、「1人」（20.4%）で、子どもがいる家庭の1世帯当たり平均人数は「2.20人」である。

- ④ 親との同居状況と家族構成（問8、問9）
 - 「親と同居している（配偶者の親も含む）」が38.4%と最多で、以下、親と別居（同市町村に居住：32.6%、他市町村に居住：21.4%）、「現在、親はいない（死別等）」（6.2%）となっている。
 - 家族構成は、「自分（夫婦）と子ども【2世代世帯】」が46.6%と最多で、以下、「自分（夫婦）と子どもと自分たちの親【3世代世帯】」（23.5%）となっている。そのほか、子どもがいない家庭は「自分と親」が7.0%、「自分たち夫婦のみ」は6.2%、「自分たち夫婦と親」は4.0%である。

Ⅱ 調査結果の概要

⑤ 就労状況と労働時間（問 10、問 11）

- 就労状況については、配偶者は「正規雇用の従業員」が 58.4%と最多で、「自営業主・家族従業員」が 9.4%、「非正規職員」（13.3%）であるが、回答者は「正規雇用の従業員」が 51.8%と最多で、「非正規職員（25.2%）」、「専業主婦（主夫）」（9.7%）と、配偶者より非正規職員と未就労者が多くなっている。
- 就労者の労働時間は、「41～50時間」（回答者：30.6%、配偶者：34.3%）と「36～40時間」（回答者：28.6%、配偶者：20.7%）が多く、回答者は以下、「35時間以下」（22.1%）で、法定労働時間内の「40時間以下」の人は 50.7%である。配偶者は以下、「51～60時間」（17.6%）で、法定労働時間内の「40時間以下」の人は 31.8%と、回答者より労働時間は長い。

⑥ 住居形態と住環境（問 13、問 14）

- 住居形態は、自分（配偶者）もしくは親の「持ち家【一戸建て】」が 69.0%と多く、「民間の賃貸住宅」は 16.5%、「公団・公社・県営・市町村営の賃貸住宅」は 4.8%となっている。
- 現在の住環境については、『そう思う（そう思うとややそう思う）』が多い項目は、《広い》（60.0%）、《十分な部屋数がある》（63.0%）、《学校（保育所等）が近い》（63.4%）の3項目で、約6割は満足と感じている。
- 一方、『そう思わない（あまりそう思わないとそう思わない）』が多い項目は、《賃貸料（自宅の場合は維持費）などの住宅コストが安い》（55.0%）、《交通が便利》（50.6%）、《遊ぶところが近くにあって便利》（70.7%）の3項目で5割を超え、特に《遊ぶところが近くにあって便利》は約7割が不満を感じている。

⑦ 経済的な生活状況（問 15）

- 経済的な生活状況は、「ふつう」が 44.4%と最多であるが、「ゆとりがある」（4.1%）と「ややゆとりがある」（10.3%）を合わせた『ゆとりがある』人は 14.4%と少数で、「やや苦しい」（24.6%）と「苦しい」（15.6%）を合わせた『苦しい』人が 40.2%と、『ゆとりがある』人を上回る。

2. あなたの結婚や子どもに対する考えについて

- ① 結婚についてのメリット・デメリット（問 16、問 17）
- 結婚のメリットは、「子どもや家族を持てる」が 76.9%と最多で、以下、「精神的な安らぎの場が得られる」（52.6%）、「愛情を感じている人と暮らせる」（45.9%）、「責任感が向上する」（35.4%）となっている。
 - 結婚のデメリットは、「自分の時間が思うように使えなくなる」が 59.3%と最多で、以下、「行動や生き方が制限される」（43.0%）、「親戚付き合いなどの煩（わずら）わしさが増える」（43.0%）、「お金が自由に使えなくなる」（38.6%）となっている。
- ② 理想的な子どもの人数と実際の子どもの予定人数（問 18、問 19）
- 理想的な子どもの人数は、「3人」が 46.7%と最多で、「2人」（39.8%）、「4人」（5.6%）、「1人」（3.1%）と続き、平均人数は 2.54 人である。
 - 実際の子どもの予定人数は、「2人」が 47.5%と最多で、「3人」（26.1%）、「1人」（16.2%）、「4人」（5.1%）と続き、平均人数は 2.23 人と理想的な子どもの平均人数より 0.31 人下回る。
- ③ 理想的な人数の子どもを持たない理由（問 20）
- 理想的な人数の子どもを持たない理由は、「そう思う」と「どちらかといえばややそう思う」を合わせた『そう思う』が多い項目は、《子育てや教育にお金がかかりすぎるから》（72.0%）、《子育ての精神的・肉体的負担が大きいから》（50.6%）の 2 項目で、特に《子育てや教育にお金がかかりすぎるから》は約 7 割が『そう思う』と回答している。

3. あなたの結婚や子育てに関する環境について

- ① 施設・制度の利用状況（問 21）
- 施設・制度利用について、「利用している、利用したことがある」が多いのは、《児童手当》（73.3%）、《ファミたんカード》（64.4%）、《子どもの医療費助成制度》（64.2%）の 3 項目である。
 - 「利用している、利用したことがある」と「利用していないが名前は知っている」を合わせた『知っている』が多い認知度が高い項目は、《児童手当》（94.0%）、《生活保護》（88.3%）、《ファミたんカード》（87.7%）、《子どもの医療費助成制度》（85.0%）、《スクールカウンセラー》（81.0%）、《児童扶養手当》（80.1%）の 6 項目で 8 割以上となっている。
 - 一方、「名前も知らない」が多い認知度が低い項目は、《はぴ福なび》（81.5%）、《赤ちゃんほっとステーション》（69.0%）、《ふくしま結婚・子育て応援センター》（67.9%）、《子育て世代包括支援センター》（65.7%）、《フードバンク》（63.4%）、《生活福祉資金貸付事業》（62.3%）、《すくすくひろば》（58.6%）、《母子・父子・寡婦福祉資金貸付事業》（56.2%）、《高等職業訓練促進給付金》（54.3%）の 9 項目である。

Ⅱ 調査結果の概要

② 子育て環境の整備や少子化対策で期待すること（問 22）

- 【特に重要と思うもの】は、「児童・児童扶養手当拡充、医療費助成、保育料等軽減等、子育て世帯への経済的な支援」（44.7%）、「教育費用の軽減や奨学金制度の充実」（32.6%）、「待機児童解消のための保育所等の整備や放課後児童クラブの充実」（18.3%）、「出産・小児医療体制の充実」（16.7%）となっており、経済的負担軽減の2項目が上位1、2位となっている。
- 【次に期待するもの】は、「教育費用の軽減や奨学金制度の充実」（13.3%）、「一時保育、病児保育など多様な保育サービスの支援」（12.4%）、「児童・児童扶養手当拡充、医療費助成、保育料等軽減等、子育て世帯への経済的な支援」「育児休業取得促進や労働時間の短縮などワークライフバランスに配慮した雇用環境の整備」「出産・子育てのために、いったん離職した人に対する就労支援」（いずれも 11.3%）となっており、上位1、3位となった教育費、児童手当等の経済的支援については、「特に重要と思うもの」でも上位項目となっていることから、特に行政に期待が高いことがうかがえる。

③ 子育て支援活動への参加希望（問 23）

- 子育て支援活動の参加希望は、「できればしたい」（28.4%）と「是非したい」（6.0%）を合わせた『活動したい』人が 34.4%となっており、「あまりしたくない」（11.7%）と「全くしたくない」（6.4%）を合わせた『活動したくない』人の 18.1%を大きく上回っているが、「わからない」が 44.1%と不確定層が最も多くなっている。

④ 震災による子どもへの影響で心配なこと（問 24）

- 震災による子どもへの影響で心配なことは、「子どもの健康」が 50.3%と最多で、以下、「外遊び・自然体験の不足」（37.7%）、「震災体験が子どもの心に与える影響」（28.0%）、「運動不足」（27.6%）となっている。

⑤ 児童虐待について知っていること（問 25）

- 児童虐待について知っていることは、「児童虐待を発見した者は、通告する義務がある」が 70.2%と最多で、以下、「児童虐待を受けたと思われる子どもを発見した者は、通告する義務がある」（62.8%）、「児童虐待の通告をした者の秘密は守られる」（48.8%）、「児童虐待の通告は匿名でもかまわない」（47.4%）となっているが、3位以下の認知度は半数以下に留まっている。

⑥ 子どもの貧困対策のため充実が必要なこと（問 26）

- 子どもの貧困対策のため充実が必要なことは、「無償もしくは低料金の子どもの学習支援」（57.7%）と「日頃の生活への経済的援助（子育てのための手当など）」（57.0%）が約6割と多く、以下、「低い家賃で住める住居（公営住宅など）」（45.5%）、「子どもの支援に関する各種情報の分かりやすい提供」（42.0%）と、上位1～3位は経済的な支援となっている。

4. 子育てに関する考えや環境について（子どもがいる方）

- ① 子どもがいてよかったと思うこと（問 28）
 - 子どもがいてよかったと思うことは、「家庭が明るくなった」（79.4%）と「子育てを通じて、自分の視野が広がったり、自分自身が成長することができた」（76.1%）が7割以上と多く、以下、「生活に張り合いができた」（62.1%）、「身近な人が喜んでくれた」（54.7%）となっている。
- ② 子どもがいて負担に思うこと（問 29）
 - 子どもがいて負担に思うことは、「子育てで出費がかさむ」が53.4%と最多で、以下、「自分の趣味や娯楽を気楽に楽しめない」（32.7%）、「仕事が忙しく、子どもとふれ合う時間がとれない」（27.3%）、「気の休まる時間がない、子育ては根気があるなど、精神的な負担が大きい」（26.9%）、「子どもにかかりきりで時間的な余裕がほとんどない」（25.4%）となっている。
- ③ 子育てや子育て支援情報の入手先（問 33）
 - 子育てや子育て支援情報の入手先は、「家族、親族、友人、知人」（51.9%）、「インターネット（パソコン・スマートフォン・携帯電話）」（51.8%）、「保育所、幼稚園、学校の先生」（46.7%）、「市町村などの広報誌」（37.7%）となっている。
- ④ 子育てに関する相談先（問 35）
 - 子育てに関する相談先は、「配偶者」（68.8%）、「友人、知人、近所の人」（57.1%）、「自分や配偶者の親」（56.0%）など、家族や友人等の身近な相手が多くなっている。
- ⑤ 子育てに関する困りごと（問 36）
 - 子育てに関する困りごとは、「子どもの教育費などの経済的な問題」（41.6%）、「緊急時や突発的な用事ができたときに、子どもを預けるところがない」（32.1%）、「近所に子どもの遊び友達がいない」（21.0%）となっている。
- ⑥ 子育てするうえで重要な住宅要素（問 38）
 - 子育てするうえで重要な住宅要素は、「安全な環境にあること」が最多で70.0%を占める。以下、「居住スペースが充分あること」（49.4%）、「子どもが騒いでも大丈夫なように遮音性に優れていること」（41.4%）、「賃貸料（自宅の場合は維持費）などの住宅コストが安いこと」（38.9%）となっている。
- ⑦ 子育てするうえで重要な住環境（問 39）
 - 子育てするうえで重要な住環境は、「犯罪や危険のない場所であること」（57.9%）、「交通安全に配慮した通学路などが整備されていること」（45.6%）、「学校や幼稚園、保育施設が近くにあること」（41.3%）、「医療機関が近くにあること」（39.5%）となっている。

II 調査結果の概要

- ⑧ 乳児を連れて外出する時の不安や困りごと（問 40）
- 乳児を連れて外出する時の不安や困りごとは、「歩道が狭かったり、なかったりして、交通事故が心配だ」（40.5%）、「オムツ替えの設備がないところが多い」（27.7%）、「公園や遊び場が整備されていない」（26.4%）、「乳児と一緒に入れるトイレが少ない」（26.1%）となっている。
- ⑨ 出産後の就職状況（問 41）
- 出産後の就職状況は、「子どもが生まれる以前の会社に復帰した（産休・育休含む）」（46.5%）、「別会社に就職した」（27.1%）、「会社を辞め、就職しなかった」（16.9%）となっている。

5. 自身のことや結婚に対する考えについて（未婚で子どもがいない方）

- ① 将来への不安（問 43）
- 将来への不安は、「生活費などの経済的なこと」（60.0%）、「老後の生活費用」（50.4%）、「仕事」「両親の世話」（ともに 44.2%）、「自分の健康」（40.4%）となっている。
- ② 結婚に対する考え（問 44）
- 「いずれは結婚したい」（24.6%）、「すぐにでも結婚したい」（17.3%）、「結婚したいと思う（思っていた）が結婚しないと思う」（16.2%）、「2～3年以内に結婚したい」（14.6%）を合わせた『結婚したい』人は 72.7%と、未婚者の約 7 割は結婚願望がある。一方で「結婚するつもりはない」人は 13.1%、「わからない」人は 9.6%いる。
- ③ 結婚希望者が結婚相手を探すためにしていること（問 45）
- 『結婚したい』人が結婚相手を探すためにしていることは、「特に何もしていない」が 45.0%と最多、次いで多いのは「すでに交際している人がいる」が 28.6%となっている。一方、婚活サイトや仲介人など何らかの手段で『探している』人は 11.1%と少数で、「どうやって探せばいいかわからない」人は 9.0%いる。
- ④ 結婚後の生活変化の考え（問 46）
- 結婚後の生活変化の考えは、「どちらかといえば負担が増えると思う」（36.2%）が最多で、「とても負担が増えると思う」（9.6%）を合わせた『負担が増えると思う』人は 45.8%となっている。一方、「パートナーと協力しあうことで生活が楽になると思う」（12.3%）と「どちらかといえば楽になると思う」（16.5%）を合わせた『楽になると思う』人は 28.8%に留まる。「変わらないと思う」人は 10.8%である。
- ⑤ 現在独身でいる理由（問 47）
- 現在独身でいる理由は、「異性と出会う機会そのものがないから」（29.6%）、「理想の相手にまだめぐり合えないから」（23.5%）、「独身の自由さや気楽さを失いたくないから」「結婚資金が足りないから」（ともに 20.8%）となっている。

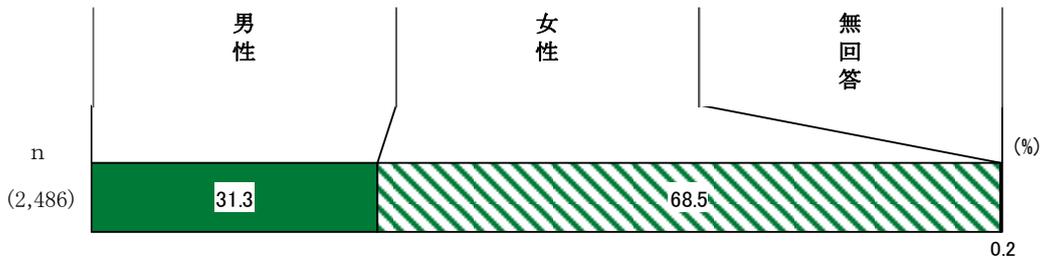
Ⅲ 調査結果

Ⅲ 調査結果

1. あなたとあなたのご家族について

(1) 回答者の性別

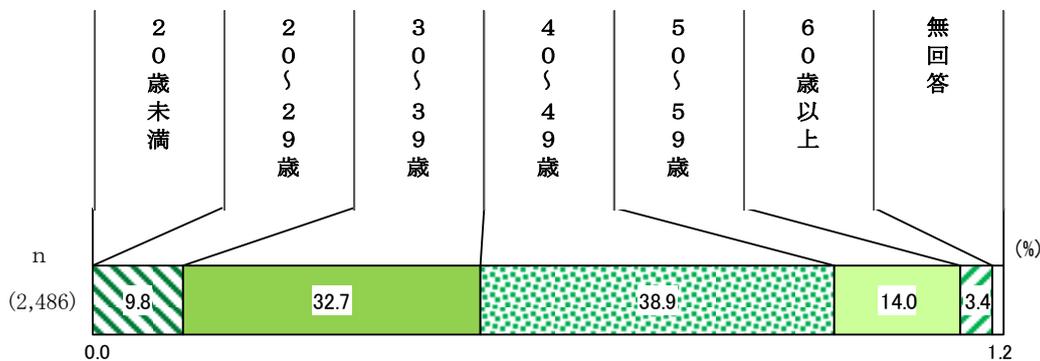
問1 あなたの性別をお答えください。(1つだけ○をつけてください。)



回答者の性別については、「女性」が68.5%と多く、「男性」(31.3%)を上回っている。

(2) 回答者の年齢

問2 あなたの年齢をお答えください。(数字を記入してください。)



【性・年齢別】

(上段: 件、下段: %)

調査数	性別												無回答
	【男性】 20歳未満	【男性】 20～29歳	【男性】 30～39歳	【男性】 40～49歳	【男性】 50～59歳	【男性】 60歳以上	【女性】 20歳未満	【女性】 20～29歳	【女性】 30～39歳	【女性】 40～49歳	【女性】 50～59歳	【女性】 60歳以上	
2,486	-	56	212	287	147	67	1	186	601	679	200	17	33
100.0	-	2.3	8.5	11.5	5.9	2.7	0.0	7.5	24.2	27.3	8.0	0.7	1.3

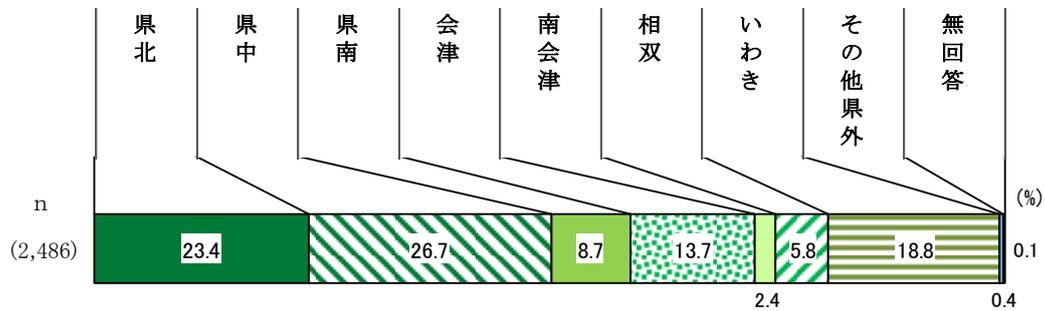
回答者の年齢については、「40～49歳」が38.9%と最も多く、以下、「30～39歳」(32.7%)、「50～59歳」(14.0%)、「20～29歳」(9.8%)などとなっている。性・年齢別では、「【女性】40～49歳」(27.3%)及び「【女性】30～39歳」(24.2%)が2割台と、他の性・年齢より多くなっている。

Ⅲ 調査結果

(3) 居住地

問3 あなたがお住まいの市町村をお答えください。

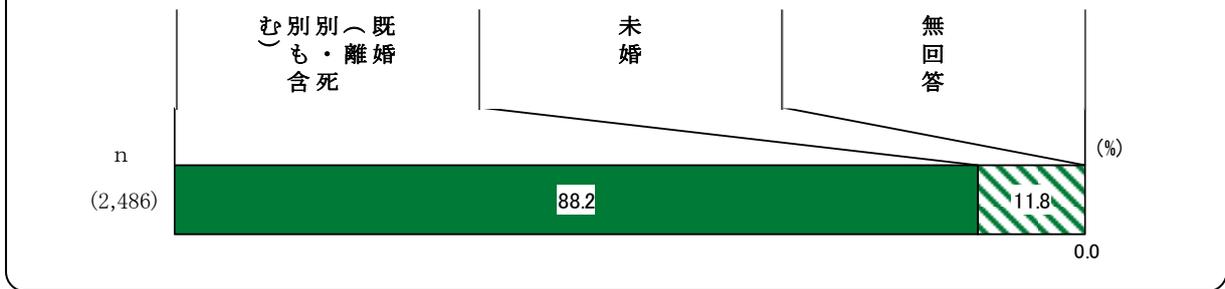
(表の当てはまる市町村の番号に○をつけてください。)



居住地については、「県中」が 26.7%と最も多く、以下、「県北」(23.4%)、「いわき」(18.8%)、「会津」(13.7%)、「県南」(8.7%)、「相双」(5.8%)、「南会津」(2.4%)となっている。

(4) 結婚の有無

問4 あなたは、現在、結婚していらっしゃいますか。(1つだけ○をつけてください。)



結婚の有無については、「既婚（離別・死別も含む）」が88.2%を占め、「未婚」は11.8%となっている。

【性・年齢別】

		調査数 (件)	既婚(離別・死別も含む) (%)	未婚 (%)	無回答 (%)
全体		2,486	88.2	11.8	0.0
性・年齢別	【男性】20歳未満	-	-	-	-
	【男性】20～29歳	56	25.0	75.0	-
	【男性】30～39歳	212	84.9	15.1	-
	【男性】40～49歳	287	93.0	7.0	-
	【男性】50～59歳	147	91.8	8.2	-
	【男性】60歳以上	67	98.5	1.5	-
	【女性】20歳未満	1	-	100.0	-
	【女性】20～29歳	186	60.8	39.2	-
	【女性】30～39歳	601	91.5	8.5	-
	【女性】40～49歳	679	94.6	5.4	-
	【女性】50～59歳	200	90.5	9.0	0.5
	【女性】60歳以上	17	100.0	-	-

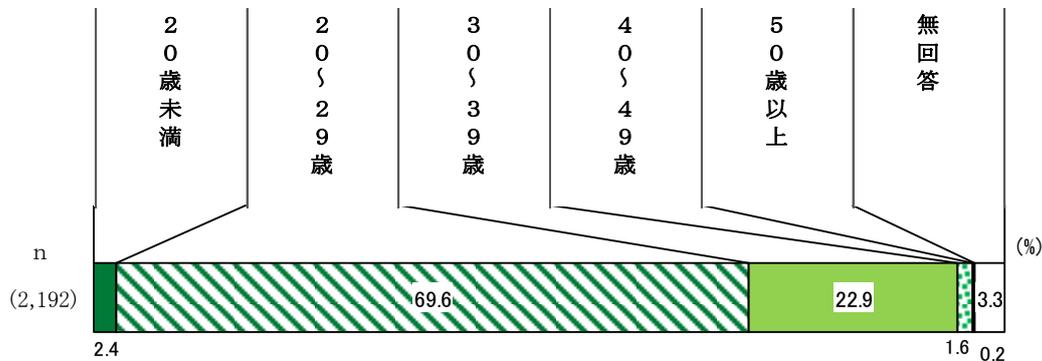
性・年齢別にみると、男性40歳以上、女性30歳以上では「既婚（離別・死別も含む）」が9割以上を占めている。

一方、「未婚」は男性・女性の20～29歳で多く、特に男性20～29歳では75.0%と女性20～29歳(39.2%)を大きく上回っている。

Ⅲ 調査結果

(5) 結婚した年齢

問5 問4で「既婚（離別・死別も含む）」と答えた方にお聞きします。あなたは、何歳で結婚（再婚された方は最初の結婚）しましたか。（数字を記入してください。）



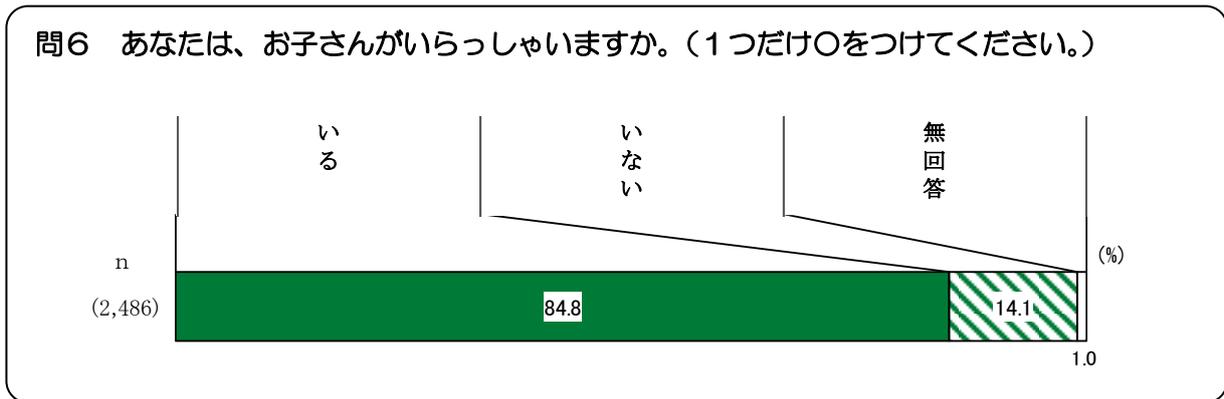
結婚した年齢については、「20～29歳」が最も多く、69.6%を占めている。以下、「30～39歳」（22.9%）、「20歳未満」（2.4%）、「40～49歳」（1.6%）などとなっている。

【性・年齢別】

		調査数 (件)	20歳未満	20歳～29歳	30歳～39歳	40歳～49歳	50歳以上	無回答
全体		2,192	2.4	69.6	22.9	1.6	0.2	3.3
性・年齢別	【男性】20歳未満	-	-	-	-	-	-	-
	【男性】20～29歳	14	-	100.0	-	-	-	-
	【男性】30～39歳	180	1.1	65.0	28.3	-	-	5.6
	【男性】40～49歳	267	-	59.6	32.2	4.5	-	3.7
	【男性】50～59歳	135	-	53.3	40.0	5.9	-	0.7
	【男性】60歳以上	66	-	63.6	21.2	4.5	6.1	4.5
	【女性】20歳未満	-	-	-	-	-	-	-
	【女性】20～29歳	113	11.5	88.5	-	-	-	-
	【女性】30～39歳	550	4.7	78.7	13.5	-	-	3.1
	【女性】40～49歳	642	1.2	67.0	26.9	0.8	-	4.0
【女性】50～59歳	181	1.1	71.8	22.1	3.3	-	1.7	
【女性】60歳以上	17	5.9	64.7	23.5	-	-	5.9	

性・年齢別にみると、女性はほとんどの年代で「20～29歳」が男性より多く、特に女性20～39歳では8～9割程度を占めている。男性は40～59歳で「30～39歳」が3～4割と他の性・年齢より多くなっている。

(6) 子どもの有無



子どもの有無については、「いる」が84.8%を占め、「いない」は14.1%となっている。

【性・年齢別】

		調査数 (件)	いる	いない	無回答
			%		
全体		2,486	84.8	14.1	1.0
性・年齢別	【男性】20歳未満	-	-	-	-
	【男性】20～29歳	56	21.4	69.6	8.9
	【男性】30～39歳	212	74.1	24.5	1.4
	【男性】40～49歳	287	91.3	8.0	0.7
	【男性】50～59歳	147	85.7	13.6	0.7
	【男性】60歳以上	67	98.5	1.5	-
	【女性】20歳未満	1	-	100.0	-
	【女性】20～29歳	186	51.6	43.0	5.4
	【女性】30～39歳	601	87.7	12.0	0.3
	【女性】40～49歳	679	94.6	5.2	0.3
	【女性】50～59歳	200	88.5	11.5	-
	【女性】60歳以上	17	100.0	-	-

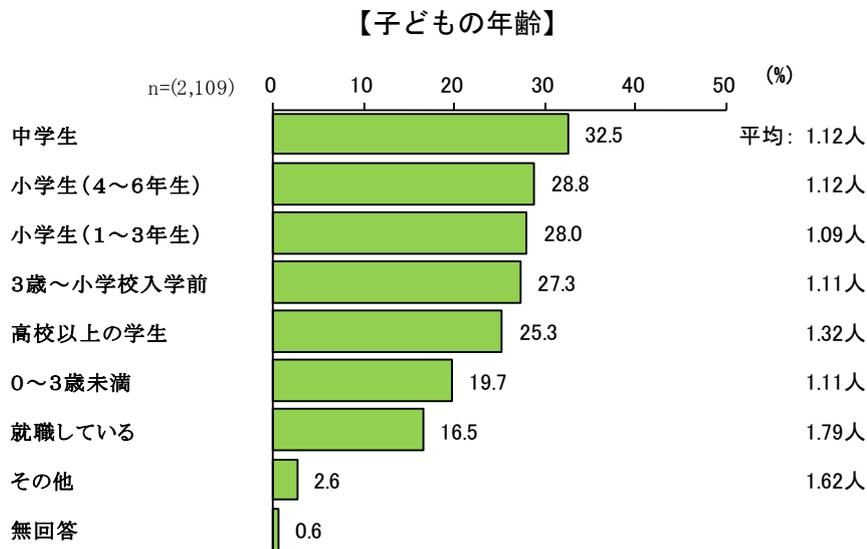
性・年齢別にみると、男性40歳以上、女性30歳以上では「いる」が8割以上を占めている。

一方、男性20～39歳と女性20～29歳で「いない」が他の性・年齢より多くなっており、特に男性20～29歳は69.6%と女性20～29歳(43.0%)を大きく上回っている。

Ⅲ 調査結果

(7) 子どもの年齢・人数

問7 問6で「いる」と答えた方にお聞きします。お子さんの人数について、表の年齢等別に記入してください。(平成31年4月現在※平成31年度入・進学時点)



【子どもの合計人数】

(上段：件、下段：%)

調査数	1人	2人	3人	4人以上	無回答	平均(人)
2,109	430	993	537	136	13	2.20
100.0	20.4	47.1	25.5	6.4	0.6	

子どもの年齢については、「中学生」が 32.5% (平均人数：1.12 人) と最も多く、以下、「小学生(4~6年生)」(28.8%、平均人数：1.12 人)、「小学生(1~3年生)」(28.0%、平均人数：1.09 人)、「3歳~小学校入学前」(27.3%、平均人数：1.11 人) などとなっている。

子どもの合計人数については、「2人」が 47.1% と最も多く、以下、「3人」(25.5%)、「1人」(20.4%)、「4人以上」(6.4%) で、子どもがいる家庭の1世帯当たり平均人数は「2.20人」となっている。

【年齢別】

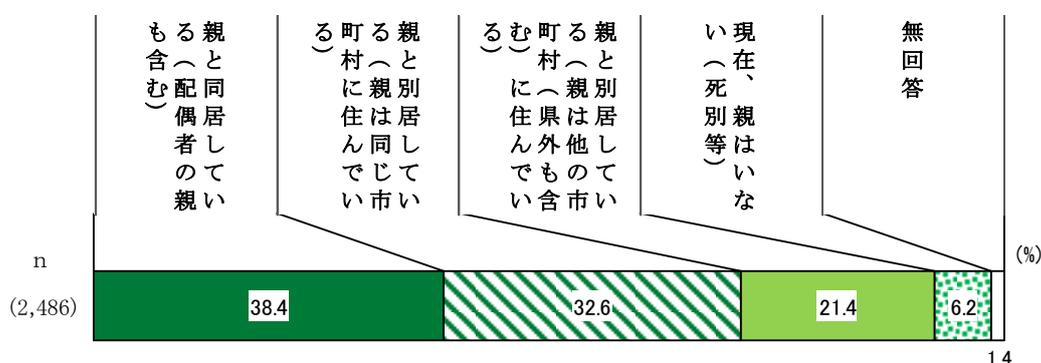
			(%)								
		調査数 (件)	0～3歳未満	入3歳前～小学校	3小学生(1～3年生)	6小学生(4～6年生)	中学生	生高校以上の学生	就職している	その他	無回答
全体		2,109	19.7	27.3	28.0	28.8	32.5	25.3	16.5	2.6	0.6
年齢別	20歳未満	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	20～29歳	109	70.6	51.4	23.9	3.7	-	-	-	-	-
	30～39歳	684	40.1	50.6	41.7	31.0	20.5	7.2	0.9	0.1	0.1
	40～49歳	904	6.6	18.3	29.3	39.6	48.6	37.9	10.6	0.7	0.8
	50～59歳	303	0.3	1.0	3.0	7.9	27.7	38.9	60.1	11.6	0.7
	60歳以上	83	-	1.2	1.2	2.4	13.3	16.9	72.3	14.5	1.2

年齢別にみると、年齢が上がるほど子どもの年齢も上がり、20～29歳では「0～3歳未満～小学校入学前」が、30～39歳では「0歳～小学生(1～3年生)」が、40～49歳では「小学生(4～6年生)～高校以上の学生」が、50～59歳では「高校以上の学生～就職している」が多くなっている。60歳以上では子どもが「就職している」人は約7割となる。

Ⅲ 調査結果

(8) 親との同居状況

問8 あなたは、親（配偶者の親も含む）と同居していますか。（1つだけ○をつけてください。）



親との同居状況については、「親と同居している（配偶者の親も含む）」が38.4%と最も多く、以下、「親と別居している（親は同じ市町村に住んでいる）」(32.6%)、「親と別居している（親は他の市町村（県外も含む）に住んでいる）」(21.4%)、「現在、親はいない（死別等）」(6.2%)となっている。

【子どもの有無別、年齢別】

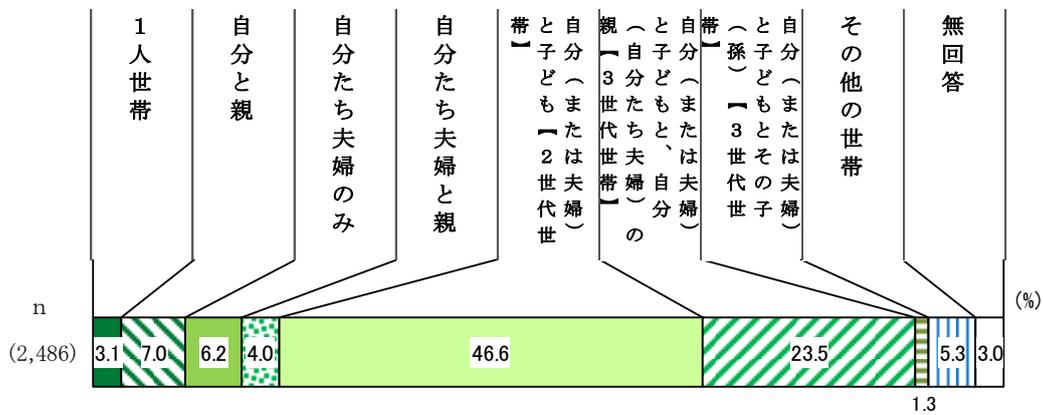
		調査数 (件)	親との同居も含む (%)	親と別居している（親は同じ市町村に住んでいる） (%)	親と別居している（親は他の市町村（県外も含む）に住んでいる） (%)	現在、親はいない（死別等） (%)	無回答 (%)
全体		2,486	38.4	32.6	21.4	6.2	1.4
子どもの有無別	子どもあり	1,918	36.0	37.8	21.3	3.8	1.1
	子どもなし（既婚）	308	32.1	21.4	23.7	21.8	1.0
	子どもなし（未婚）	260	63.5	7.3	19.6	5.0	4.6
年齢別	20歳未満	1	-	-	100.0	-	-
	20～29歳	243	45.7	27.2	24.3	0.8	2.1
	30～39歳	814	35.0	38.3	23.6	1.7	1.4
	40～49歳	966	38.4	35.2	22.2	3.0	1.2
	50～59歳	347	44.1	21.9	16.1	16.7	1.2
	60歳以上	84	25.0	10.7	4.8	57.1	2.4

子どもの有無別にみると、子どもありでは「親と別居している（親は同じ市町村に住んでいる）」が37.8%と子どもなしより多く、子どもなし（未婚）の約6割は「親と同居している（配偶者の親も含む）」となっている。

年齢別にみると、20～29歳及び50～59歳では「親と同居している（配偶者の親も含む）」が4割台と、30～49歳では「親と別居している（親は同じ市町村に住んでいる）」が3割台と他の年齢より多くなっている。

(9) 家族構成

問9 あなたのご家庭の構成(同居)は、次のどれにあてはまりますか。(1つだけ○をつけてください。)



家族構成については、「自分(または夫婦)と子ども【2世代世帯】」が46.6%と最も多く、以下、「自分(または夫婦)と子どもと、自分(自分たち夫婦)の親【3世代世帯】」が23.5%となっている。そのほかの「自分と親」(7.0%)、「自分たち夫婦のみ」(6.2%)、「自分たち夫婦と親」(4.0%)、「1人世帯」(3.1%)、「自分(または夫婦)と子どもとその子(孫)【3世代世帯】」(1.3%)はそれぞれ1割未満に留まっている。

Ⅲ 調査結果

【子どもの有無別、年齢別】

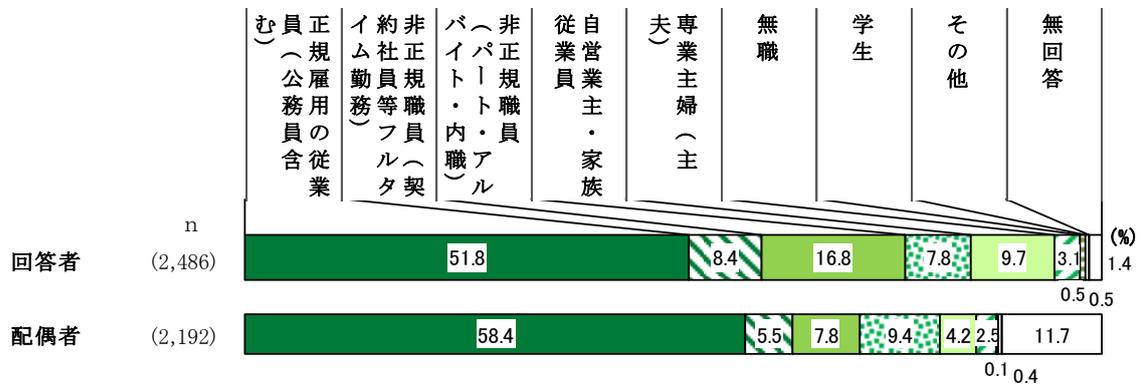
											(%)	
		調査数 (件)	1人 世帯	自分 と親	自分 たち 夫婦 のみ	自分 たち 夫婦 と親	【2 世代 世帯】 自分 (または 夫婦) と子ども	親 【3 世代 世帯】 自分 (または 夫婦) と子ども	自分 (または 夫婦) と子ども 【3 世代 世帯】	自分 (または 夫婦) と子ども	その 他の 世帯	無 回 答
全 体		2,486	3.1	7.0	6.2	4.0	46.6	23.5	1.3	5.3	3.0	
有 無 別 の 子 ど も	子どもあり	1,918	-	0.8	2.3	2.9	58.0	28.7	0.5	4.4	2.4	
	子どもなし(既婚)	308	1.3	5.2	35.4	14.3	15.3	10.4	7.8	4.9	5.5	
	子どもなし(未婚)	260	28.1	55.0	-	-	-	0.4	-	12.3	4.2	
年 齢 別	20歳未満	1	100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	
	20～29歳	243	11.5	24.7	10.3	4.5	25.1	9.9	-	9.1	4.9	
	30～39歳	814	2.3	5.8	6.4	2.8	53.2	22.0	0.1	5.8	1.6	
	40～49歳	966	1.3	3.9	3.0	2.5	53.6	28.8	0.3	3.8	2.7	
	50～59歳	347	4.3	7.8	11.2	10.1	32.9	24.5	1.2	3.2	4.9	
	60歳以上	84	1.2	1.2	7.1	3.6	28.6	13.1	29.8	11.9	3.6	

子どもの有無別にみると、子どもありでは「自分（または夫婦）と子ども【2世代世帯】」が約6割と多く、また、「自分（または夫婦）と子どもと、自分（自分たち夫婦）の親【3世代世帯】」も28.7%と子どもなしより多くなっている。子どもなし（既婚）では「自分たち夫婦のみ」が35.4%と、子どもなし（未婚）では「1人世帯」が28.1%、「自分と親」が55.0%と多くなっている。

年齢別にみると、20～29歳では「自分と親」が24.7%と他の年齢より多くなっている。30～49歳の約5割は「自分（または夫婦）と子ども【2世代世帯】」となっている。60歳以上では「自分（または夫婦）と子どもとその子（孫）【3世代世帯】」が最も多く約3割となっている。

(10) 就労状況

問10 あなたと配偶者のご職業について、それぞれお答えください。(それぞれあてはまる番号に○をつけてください。)



回答者の就労状況については、「正規雇用の従業員（公務員含む）」が 51.8%と最も多く、以下、「非正規職員（パート・アルバイト・内職）」（16.8%）、「専業主婦（主夫）」（9.7%）、「非正規職員（契約社員等フルタイム勤務）」（8.4%）などとなっている。

配偶者の職業については、「正規雇用の従業員（公務員含む）」が 58.4%と最も多く、以下、「自営業主・家族従業員」（9.4%）、「非正規職員（パート・アルバイト・内職）」（7.8%）、「非正規職員（契約社員等フルタイム勤務）」（5.5%）などとなっている。

【回答者の就業状況：子どもの有無別、回答者の性・年齢別】

		調査数(件)	正規雇用の従業員(公務員含む)	非正規職員(契約社員等フルタイム勤務)	非正規職員(パート・アルバイト・内職)	自営業主・家族従業員	専業主婦(主夫)	無職	学生	その他	無回答	
全体		2,486	51.8	8.4	16.8	7.8	9.7	3.1	0.5	0.5	1.4	
子どもの有無別	子どもあり	1,918	51.6	7.9	18.8	8.0	10.8	1.8	0.1	0.3	0.7	
	子どもなし(既婚)	308	45.5	9.7	14.0	10.4	10.7	6.2	-	1.9	1.6	
	子どもなし(未婚)	260	60.4	10.4	5.8	3.5	-	8.5	4.6	0.4	6.5	
回答者の性・年齢別	【男性】20歳未満	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	【男性】20～29歳	56	66.1	7.1	3.6	5.4	-	3.6	8.9	-	5.4	
	【男性】30～39歳	212	85.4	3.3	0.5	8.5	-	0.9	-	-	1.4	
	【男性】40～49歳	287	85.4	2.8	0.7	9.8	-	-	-	0.7	0.7	
	【男性】50～59歳	147	71.4	6.1	2.0	14.3	-	4.1	-	1.4	0.7	
	【男性】60歳以上	67	19.4	14.9	7.5	28.4	1.5	19.4	-	6.0	3.0	
	【女性】20歳未満	1	-	-	-	-	-	-	100.0	-	-	-
	【女性】20～29歳	186	48.9	14.0	19.4	1.6	7.5	3.8	2.7	-	2.2	
	【女性】30～39歳	601	43.6	9.8	24.0	6.2	12.3	2.7	0.2	-	1.3	
	【女性】40～49歳	679	39.5	9.6	24.7	6.5	16.2	2.4	0.1	0.3	0.7	
	【女性】50～59歳	200	34.0	8.5	23.5	8.0	18.0	5.0	-	1.5	1.5	
	【女性】60歳以上	17	23.5	-	23.5	5.9	17.6	17.6	-	-	11.8	

Ⅲ 調査結果

【配偶者の就業状況：回答者の性・年齢別】

(%)

		調査数 (件)	正規雇用の 従業員 (公務員含む)	非正規職員 (パート・アルバイト・ 内職)	非正規職員 (パート・アルバイト・ 内職)	自営業主・ 家族従 業員	専業主婦 (主夫)	無職	学生	その他	無回答	
全体		2,192	58.4	5.5	7.8	9.4	4.2	2.5	0.1	0.4	11.7	
回答者の性・ 年齢別	【男性】20歳未満	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	【男性】20～29歳	14	28.6	7.1	14.3	14.3	35.7	-	-	-	-	
	【男性】30～39歳	180	41.1	7.2	21.7	4.4	17.2	2.2	0.6	-	5.6	
	【男性】40～49歳	267	33.7	11.6	27.7	4.9	13.1	2.6	-	0.4	6.0	
	【男性】50～59歳	135	30.4	7.4	29.6	8.9	8.9	6.7	-	-	8.1	
	【男性】60歳以上	66	6.1	12.1	10.6	16.7	7.6	24.2	-	4.5	18.2	
	【女性】20歳未満	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	【女性】20～29歳	113	77.9	2.7	-	3.5	-	-	-	-	15.9	
	【女性】30～39歳	550	74.7	3.3	0.9	10.2	-	0.2	-	0.2	10.5	
	【女性】40～49歳	642	72.3	3.0	0.3	10.7	-	0.5	0.2	0.2	12.9	
	【女性】50～59歳	181	50.3	7.7	0.6	13.3	0.6	5.5	-	1.1	21.0	
【女性】60歳以上	17	-	11.8	11.8	17.6	-	17.6	-	-	41.2		

回答者の就労状況を子どもの有無別にみると、子どもありでは「非正規職員（パート・アルバイト・内職）」が18.8%と子どもなしより多く、子どもなし（未婚）では「正規雇用の従業員（公務員含む）」が約6割と他より多くなっている。

回答者の性・年齢別にみると、男性20～59歳では「正規雇用の従業員（公務員含む）」が6割以上と女性を大きく上回っており、特に男性30～49歳では8割以上を占めている。

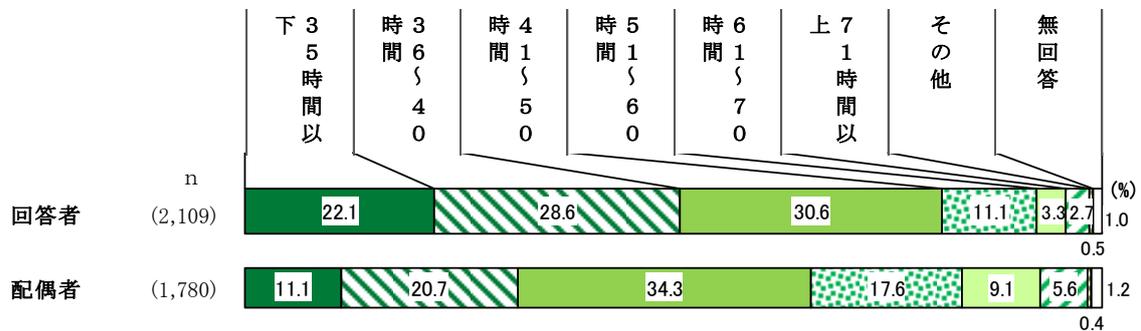
一方、女性では「正規雇用の従業員（公務員含む）」が5割未満に留まり、「非正規職員（パート・アルバイト・内職）」と「専業主婦（主夫）」がいずれの年齢も男性を上回り、「非正規職員（パート・アルバイト・内職）」は年齢が下がるほど多くなり、「専業主婦（主夫）」は年齢が上がるほど概ね多くなっている。

配偶者の就労状況を回答者の性・年齢別にみると、男性20～29歳では「専業主婦（主夫）」が35.7%と、男性30～59歳では「非正規職員（パート・アルバイト・内職）」が2割台と他の年齢より多くなっている。

また、男性60歳以上では「無職」が24.2%と女性60歳以上（17.6%）を上回っている。女性20～49歳では「正規雇用の従業員（公務員含む）」が7割以上となっている。

(11) 労働時間 ※就労している方

問11 あなたと配偶者の労働時間は、平均すると1週間でどのくらいですか。
(それぞれあてはまる番号に○をつけてください。)



回答者の労働時間については、「4.1～5.0時間」が30.6%と最も多く、以下、「3.6～4.0時間」(28.6%)、「3.5時間以下」(22.1%)などで、法定労働時間内の「4.0時間以下」の人は50.7%となっている。

配偶者の労働時間については、「4.1～5.0時間」が34.3%と最も多く、以下、「3.6～4.0時間」(20.7%)、「5.1～6.0時間」(17.6%)などで、法定労働時間内の「4.0時間以下」の人は31.8%となっている。

【回答者の労働時間：子どもの有無別、回答者の性・年齢別】

		調査数 (件)	3.5時間以下 (%)	3.6~4.0時間 (%)	4.1~5.0時間 (%)	5.1~6.0時間 (%)	6.1~7.0時間 (%)	7.1時間以上 (%)	その他 (%)	無回答 (%)
全体		2,109	22.1	28.6	30.6	11.1	3.3	2.7	0.5	1.0
子どもの有無別	子どもあり	1,656	24.2	29.3	29.2	10.5	3.0	2.5	0.4	0.8
	子どもなし(既婚)	245	18.0	24.9	36.3	9.8	5.3	2.4	0.8	2.4
	子どもなし(未婚)	208	10.1	27.4	34.6	17.3	3.8	4.3	1.0	1.4
回答者の性・年齢別	【男性】20歳未満	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	【男性】20~29歳	46	6.5	17.4	34.8	21.7	8.7	6.5	2.2	2.2
	【男性】30~39歳	207	3.9	24.2	41.1	17.9	7.2	4.3	-	1.4
	【男性】40~49歳	283	3.5	17.3	45.6	19.4	7.1	6.0	-	1.1
	【男性】50~59歳	138	1.4	29.7	34.8	18.8	5.8	3.6	2.2	3.6
	【男性】60歳以上	47	14.9	36.2	27.7	10.6	6.4	-	-	4.3
	【女性】20歳未満	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	【女性】20~29歳	156	24.4	34.0	30.1	8.3	0.6	2.6	-	-
	【女性】30~39歳	502	32.7	31.7	24.7	6.4	2.4	0.6	1.0	0.6
	【女性】40~49歳	545	31.9	33.9	24.0	7.2	0.6	1.8	0.4	0.2
	【女性】50~59歳	148	33.8	22.3	28.4	8.8	2.0	2.7	-	2.0
	【女性】60歳以上	9	44.4	-	44.4	11.1	-	-	-	-

Ⅲ 調査結果

【配偶者の労働時間：回答者の性・年齢別】

		(%)								
		調査数 (件)	3 5 時間 以下	3 6 ～ 4 0 時間	4 1 ～ 5 0 時間	5 1 ～ 6 0 時間	6 1 ～ 7 0 時間	7 1 時間 以上	その他	無 回 答
全 体		1,780	11.1	20.7	34.3	17.6	9.1	5.6	0.4	1.2
回 答 者 の 性 ・ 年 齢 別	【男性】20歳未満	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	【男性】20～29歳	9	33.3	33.3	11.1	11.1	-	11.1	-	-
	【男性】30～39歳	134	32.8	32.8	23.9	6.7	2.2	0.7	-	0.7
	【男性】40～49歳	208	35.6	29.8	22.6	7.7	1.4	1.0	0.5	1.4
	【男性】50～59歳	103	33.0	31.1	28.2	6.8	-	-	1.0	-
	【男性】60歳以上	30	26.7	40.0	13.3	13.3	6.7	-	-	-
	【女性】20歳未満	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	【女性】20～29歳	95	-	11.6	46.3	20.0	12.6	8.4	-	1.1
	【女性】30～39歳	490	2.0	15.1	39.4	23.3	11.2	7.1	0.6	1.2
	【女性】40～49歳	554	2.9	16.4	36.6	22.4	12.5	7.4	0.4	1.4
	【女性】50～59歳	130	4.6	22.3	39.2	14.6	10.8	6.9	0.8	0.8
【女性】60歳以上	7	14.3	71.4	-	-	-	-	-	14.3	

回答者の労働時間を子どもの有無別にみると、子どもありでは「35時間以下」が24.2%と子どもなしより多く、子どもなしでは「41～50時間」が3割台と子どもありより多くなっている。

また、子どもなし（未婚）は「51～60時間」（17.3%）も他の家庭より多い。

回答者の性・年齢別にみると、男性20～59歳では法定労働時間以上が女性より多く、特に男性30～49歳で「41～50時間」が4割台と女性を大きく上回っている。男性60歳以上では「36～40時間」が36.2%と他の年齢より多くなっている。

一方、女性は法定労働時間内の「40時間以下」が男性より多く、女性30～59歳では「35時間以下」が、女性20～49歳では「36～40時間」が3割台となっている。

また、女性20～29歳は「41～50時間」も約3割と女性の中で多くなっている。

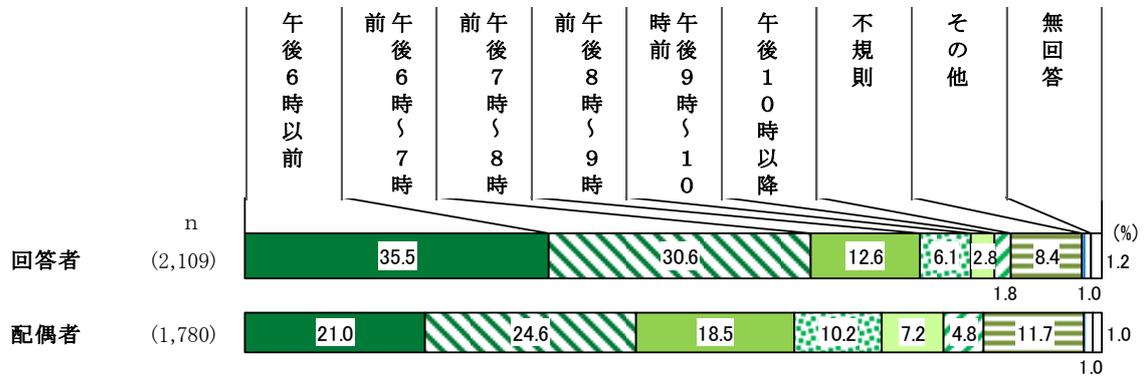
配偶者の労働時間を回答者の性・年齢別にみると、男性20～59歳では法定労働時間内の「40時間以下」が女性より多くなっている。

一方、女性20～59歳では法定労働時間以上が男性より多くなり、特に女性20～29歳では「41～50時間」が46.3%と他の年齢より多い。

また、女性20～49歳では「51～60時間」も約2割程度みられる。

(12) 帰宅時間 ※就労している方

問12 あなたと配偶者の帰宅時間(自宅で営業している場合は終業時間)は何時頃ですか。
(それぞれあてはまる番号に○をつけてください。)



回答者の帰宅時間については、「午後6時以前」(35.5%)と「午後6時～7時前」(30.6%)が多くなっている。

配偶者の帰宅時間については、「午後6時～7時前」が24.6%と最も多く、以下、「午後6時以前」(21.0%)、「午後7時～8時前」(18.5%)、「不規則」(11.7%)、「午後8時～9時前」(10.2%)などとなっており、「午後7時以降の帰宅」が回答者よりも多い。

【回答者の帰宅時間：子どもの有無別、回答者の性・年齢別】

		調査数(件)	午後6時以前	午後6時～7時	午後7時～8時	午後8時～9時	午後9時～10時	午後10時以降	不規則	その他	無回答
全体		2,109	35.5	30.6	12.6	6.1	2.8	1.8	8.4	1.0	1.2
子どもの有無別	子どもあり	1,656	38.8	30.6	12.1	5.4	2.5	1.4	7.4	1.0	0.8
	子どもなし(既婚)	245	30.2	26.9	12.2	8.2	3.3	2.9	12.2	1.2	2.9
	子どもなし(未婚)	208	15.9	35.6	16.8	9.6	4.3	3.4	11.5	1.0	1.9
回答者の性・年齢別	【男性】20歳未満	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	【男性】20～29歳	46	8.7	21.7	19.6	15.2	10.9	2.2	15.2	2.2	4.3
	【男性】30～39歳	207	13.0	26.1	17.9	12.1	6.8	4.8	15.9	1.4	1.9
	【男性】40～49歳	283	13.8	33.2	17.7	14.5	6.7	2.5	9.9	1.1	0.7
	【男性】50～59歳	138	23.2	26.1	21.0	9.4	5.1	2.2	7.2	2.2	3.6
	【男性】60歳以上	47	48.9	31.9	6.4	-	-	-	8.5	-	4.3
	【女性】20歳未満	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	【女性】20～29歳	156	44.2	28.2	10.9	3.8	1.9	1.3	9.0	0.6	-
	【女性】30～39歳	502	47.2	33.9	8.4	1.6	0.6	1.0	5.4	1.6	0.4
	【女性】40～49歳	545	44.8	31.0	10.6	3.9	0.7	1.1	6.6	0.4	0.9
	【女性】50～59歳	148	40.5	29.7	11.5	3.4	1.4	2.0	9.5	0.7	1.4
	【女性】60歳以上	9	44.4	-	-	33.3	-	-	11.1	-	11.1

Ⅲ 調査結果

【配偶者の帰宅時間：回答者の性・年齢別】

			(%)								
		調査数 (件)	午後 6時 以前	前 午後 6時 ～ 7時	前 午後 7時 ～ 8時	前 午後 8時 ～ 9時	時 午後 9時 ～ 10時	午後 10時 以降	不 規則	そ の 他	無 回 答
全 体		1,780	21.0	24.6	18.5	10.2	7.2	4.8	11.7	1.0	1.0
回 答 者 の 性 ・ 年 齢 別	【男性】20歳未満	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	【男性】20～29歳	9	55.6	33.3	-	-	11.1	-	-	-	-
	【男性】30～39歳	134	47.8	26.9	10.4	2.2	1.5	1.5	9.0	-	0.7
	【男性】40～49歳	208	49.5	26.9	11.1	2.9	1.9	-	6.3	1.0	0.5
	【男性】50～59歳	103	43.7	33.0	12.6	-	1.0	1.0	7.8	1.0	-
	【男性】60歳以上	30	50.0	30.0	10.0	-	-	3.3	3.3	3.3	-
	【女性】20歳未満	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	【女性】20～29歳	95	12.6	20.0	18.9	11.6	10.5	3.2	22.1	1.1	-
	【女性】30～39歳	490	8.8	21.8	21.6	14.7	9.8	6.7	14.5	1.4	0.6
	【女性】40～49歳	554	10.1	22.4	22.4	13.7	9.4	7.6	12.1	0.5	1.8
	【女性】50～59歳	130	20.8	32.3	18.5	8.5	5.4	3.1	10.0	0.8	0.8
【女性】60歳以上	7	14.3	14.3	-	14.3	-	-	14.3	28.6	14.3	

回答者の帰宅時間を子どもの有無別にみると、子どもありでは「午後6時以前」(38.8%)が子どもなしより多く、子どもなし(未婚)では「午後6時～7時前」(35.6%)と「午後7時～8時前」(16.8%)が他の家庭より多くなっている。

回答者の性・年齢別にみると、男性20～59歳では「午後7時～10時前」が女性より多く、男性60歳以上では「午後6時以前」が48.9%と他の年齢より多くなっている。

一方、女性はいずれの年齢も「午後6時以前」が4割台と多くなっている。

配偶者の帰宅時間を回答者の性・年齢別にみると、男性はいずれの年齢も「午後6時以前」が5割前後と女性を大きく上回っている。

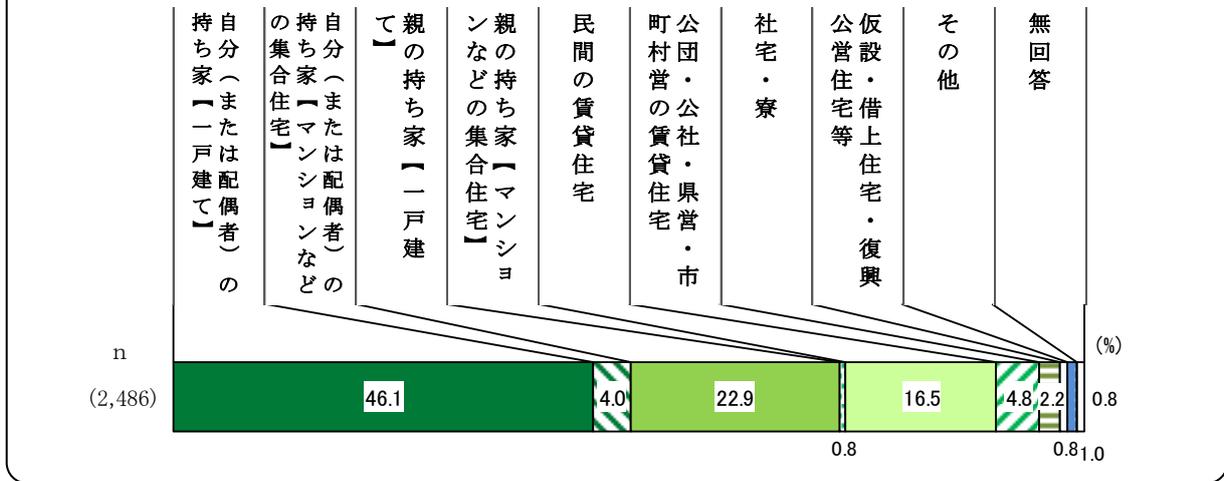
一方、女性は午後7時以降で男性を上回っており、特に女性30～49歳では「午後7時～9時前」が他の年齢より多くなっている。

また、女性20～29歳では「不規則」が22.1%と他の年齢より多い。

(13) 住居形態

問13 あなたの現在のお住まいは次のうちどれですか。

(1つだけ○をつけてください。)



住居形態については、「自分(または配偶者)の持ち家【一戸建て】」が46.1%と最も多く、以下、「親の持ち家【一戸建て】」(22.9%)、「民間の賃貸住宅」(16.5%)、「公団・公社・県営・市町村営の賃貸住宅」(4.8%) などとなっている。

【子どもの有無別、子どもの年齢別】

		調査数(件)	自分(または配偶者)の持ち家【一戸建て】	親の持ち家【一戸建て】	民間の賃貸住宅	公団・公社・県営・市町村営の賃貸住宅	社宅・寮	仮設・借上住宅・復興公営住宅等	その他	無回答
全体		2,486	46.1	22.9	16.5	4.8	2.2	0.8	0.8	0.8
子どもの有無別	子どもあり	1,918	49.2	20.3	16.2	5.2	2.0	0.8	0.6	0.6
	子どもなし(既婚)	308	58.1	14.3	14.9	3.2	2.9	1.3	1.6	0.3
	子どもなし(未婚)	260	9.2	52.7	20.4	3.5	3.1	0.8	3.5	3.1
子どもの年齢別	0～3歳未満	415	38.8	20.2	25.8	5.5	3.6	1.2	1.2	1.0
	3歳～小学校入学前	575	44.9	24.2	16.7	5.9	2.8	0.5	0.7	0.2
	小学生(1～3年生)	591	51.8	18.4	15.2	5.8	2.2	0.7	0.3	0.7
	小学生(4～6年生)	608	50.7	21.2	13.3	5.4	1.3	1.2	0.5	0.3
	中学生	685	53.6	19.3	13.0	5.0	1.6	0.7	0.9	0.9
	高校以上の学生	533	61.4	18.6	9.8	4.5	1.3	0.4	0.6	0.2
	就職している	347	68.9	15.0	6.3	4.3	0.9	0.6	1.7	0.6
	その他	54	74.1	9.3	3.7	5.6	-	-	1.9	1.9

子どもの有無別にみると、子どもあり及び子どもなし(既婚)では「自分(または配偶者)の持ち家【一戸建て】」が多く、子どもなし(未婚)では「親の持ち家【一戸建て】」(52.7%)と「民間の賃貸住宅」(20.4%)が多くなっている。

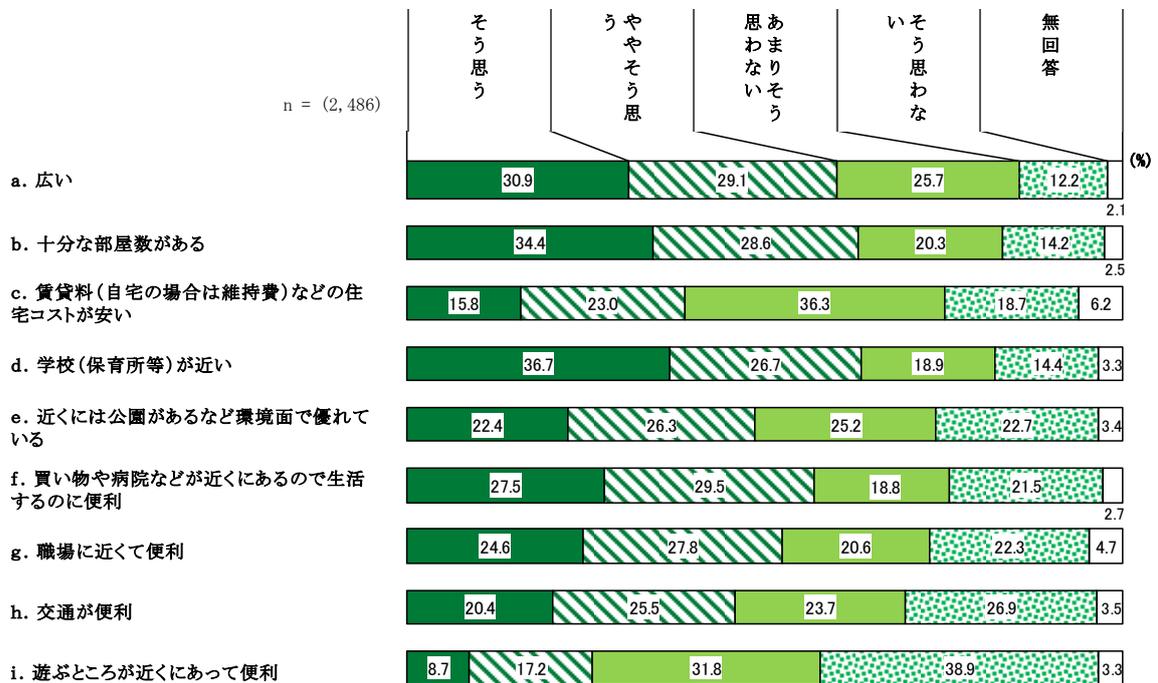
子どもの年齢別にみると、子どもの年齢が上がるほど「自分(または配偶者)の持ち家【一戸建て】」は概ね多くなり、高校以上の学生以上では6割を超える。「民間の賃貸住宅」は子どもの年齢が下がるほど多くなり、0～3歳未満で25.8%となっている。

Ⅲ 調査結果

(14) 住環境

問14 現在のお住まいについてどのように感じていますか。

(a～iのそれぞれについて、あてはまる番号に○をつけてください。)



現在の住環境については、「そう思う」と「ややそう思う」を合わせた『そう思う』が多い項目は、《広い》(60.0%)、《十分な部屋数がある》(63.0%)、《学校(保育所等)が近い》(63.4%)の3項目で約6割となっている。

一方、「あまりそう思わない」と「そう思わない」を合わせた『そう思わない』が多い項目は、《賃貸料(自宅の場合は維持費)などの住宅コストが安い》(55.0%)、《交通が便利》(50.6%)、《遊ぶところが近くにあって便利》(70.7%)の3項目で、特に《遊ぶところが近くにあって便利》の項目では約7割が『そう思わない』と回答している。

【子どもの有無別】

		調査数(件)	a ・ 広い	b ・ 十分な部屋数がある	c どの住宅コストが安い ・ 賃貸料(自宅の場合は維持費)など	d ・ 学校(保育所等)が近い	e 優れて近くには公園があるなど環境面で	f で生活するのに便利 ・ 買い物や病院などが近くにあるの	g ・ 職場に近くて便利	h ・ 交通が便利	i ・ 遊ぶところが近くにあつて便利
『 そう 思う』 有無別 子どもの	全体	2,486	60.0	63.0	38.8	63.4	48.7	57.0	52.4	45.9	25.9
	子どもあり	1,918	58.0	60.5	38.6	66.0	49.1	58.4	53.2	47.6	28.0
	子どもなし(既婚)	308	64.0	70.5	35.8	54.3	45.8	53.6	51.6	43.2	23.1
	子どもなし(未婚)	260	70.0	71.9	43.4	55.0	48.9	50.4	47.3	37.3	13.8
『 そう 思わない』 有無別 子どもの	全体	2,486	37.9	34.5	55.0	33.3	47.9	40.3	42.9	50.6	70.7
	子どもあり	1,918	40.4	37.6	56.6	31.9	48.5	39.5	43.5	49.9	69.6
	子どもなし(既婚)	308	33.4	25.7	53.9	39.7	47.1	42.5	39.9	50.3	70.7
	子どもなし(未婚)	260	24.6	22.3	45.4	37.3	44.6	43.5	41.9	55.0	79.2

子どもの有無別にみると、『そう思う』が多い項目は、子どもありでは《学校(保育所等)が近い》(66.0%)、《十分な部屋数がある》(60.5%)、《買い物や病院などが近くにあるので生活するのに便利》(58.4%)、《交通が便利》(47.6%)で、《十分な部屋数がある》以外は子どもなしより多くなっており、生活の利便性を重視していることがうかがえる。子どもなしでは《十分な部屋数がある》(既婚：70.5%、未婚：71.9%)、《広い》(既婚：64.0%、未婚：70.0%)、《学校(保育所等)が近い》(既婚：54.3%、未婚：55.0%)が多く、《十分な部屋数がある》と《広い》は子どもありより多くなっている。

また、子どもなし(未婚)は《賃貸料(自宅の場合は維持費)などの住宅コストが安い》が他の家庭より多くなっており、部屋の間取りやコスト面を重視していることがうかがえる。

一方で、『そう思わない』が多い項目は、子どもあり・子どもなしいずれも《遊ぶところが近くにあつて便利》が最も多く、特に子どもなし(未婚)では79.2%となっている。

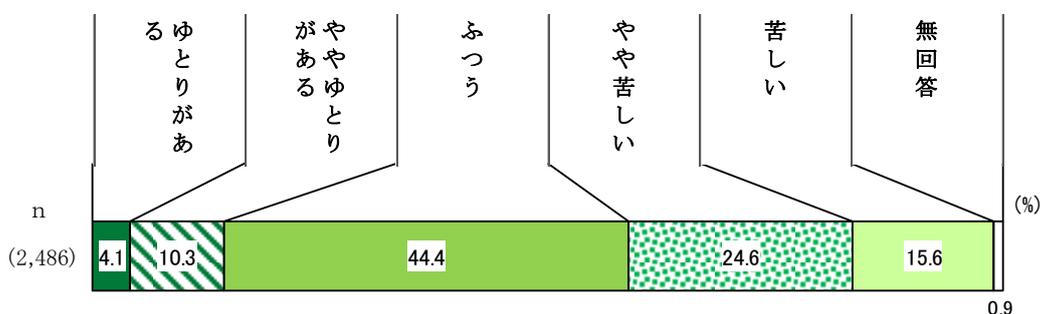
また、子どもあり及び子どもなし(既婚)では《賃貸料(自宅の場合は維持費)などの住宅コストが安い》が5割台と、子どもありでは《広い》と《十分な部屋数がある》が約4割と他の家庭より多くなっている。

Ⅲ 調査結果

(15) 経済的な生活状況

問15 経済的な生活状況をどのように感じていますか。主観で結構です。

(1つだけ〇をつけてください。)



経済的な生活状況については、「ふつう」が44.4%と最も多く、以下、「やや苦しい」(24.6%)、「苦しい」(15.6%)、「ややゆとりがある」(10.3%)、「ゆとりがある」(4.1%)となっており、「ゆとりがある」と「ややゆとりがある」を合わせた『ゆとりがある』人は14.4%に留まり、「やや苦しい」と「苦しい」を合わせた『苦しい』人は40.2%と、『ゆとりがある』人を上回っている。

【子どもの有無別、年齢別、子どもの年齢別】

		調査数 (件)	ゆとり がある	やや ゆとり がある	ふつ う	やや 苦しい	苦し い	無回 答
全 体		2,486	4.1	10.3	44.4	24.6	15.6	0.9
子 ど も の 有 無 別	子どもあり	1,918	3.9	9.9	43.1	25.6	16.9	0.7
	子どもなし(既婚)	308	4.5	11.4	58.4	17.9	7.5	0.3
	子どもなし(未婚)	260	5.8	11.9	38.1	25.0	16.2	3.1
年 齢 別	20歳未満	1	-	-	100.0	-	-	-
	20～29歳	243	4.5	8.2	43.2	23.0	17.7	3.3
	30～39歳	814	3.7	8.5	45.5	26.2	15.6	0.6
	40～49歳	966	4.5	11.8	42.4	25.4	15.4	0.5
	50～59歳	347	4.9	11.8	44.4	21.6	16.1	1.2
	60歳以上	84	2.4	9.5	60.7	20.2	7.1	-
子 ど も の 年 齢 別	0～3歳未満	415	2.7	9.4	47.7	25.3	13.7	1.2
	3歳～小学校入学前	575	4.5	10.1	44.9	25.0	14.4	1.0
	小学生(1～3年生)	591	4.2	11.7	42.5	24.4	16.4	0.8
	小学生(4～6年生)	608	4.3	9.4	41.8	28.9	15.3	0.3
	中学生	685	3.4	10.1	39.6	26.9	19.4	0.7
	高校以上の学生	533	2.6	11.4	38.5	28.7	18.4	0.4
	就職している	347	3.7	9.8	52.2	21.0	12.7	0.6
	その他	54	1.9	7.4	51.9	25.9	11.1	1.9

子どもの有無別にみると、子どもあり及び子どもなし(未婚)では『苦しい』人が約4割と、子どもなし(既婚)(25.4%)を大きく上回っている。子どもなし(既婚)では「ふつう」が多く58.4%となっている。

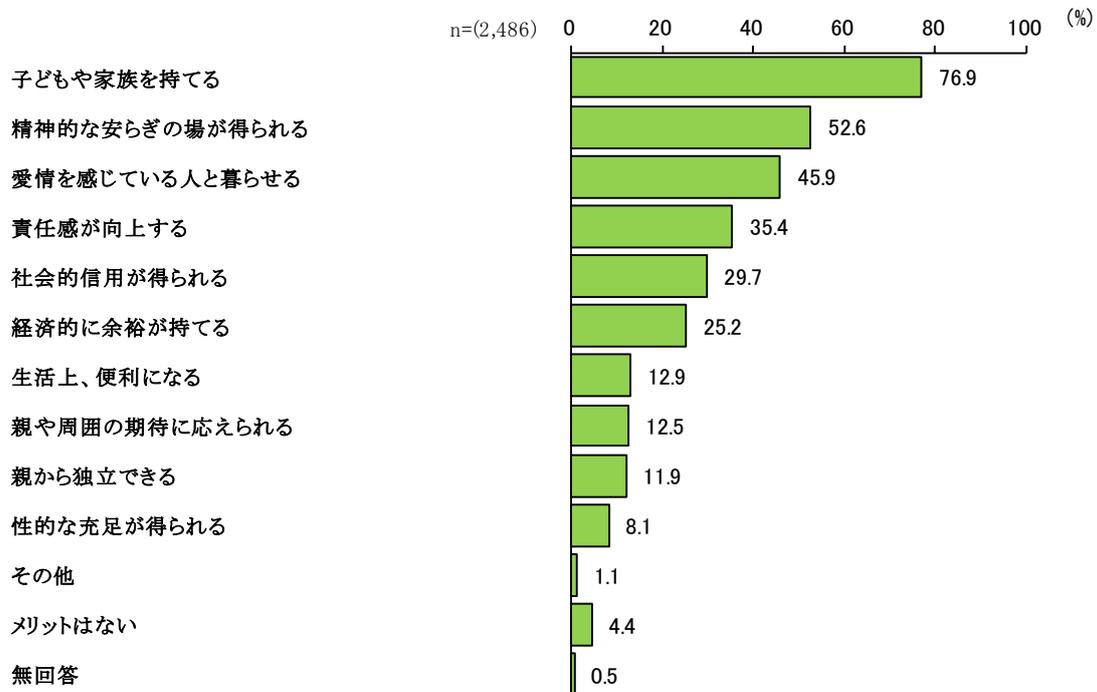
年齢別にみると、子育て世代である20～49歳で『苦しい』人が約4割と、50歳以上より多くなっている。60歳以上では「ふつう」が多く60.7%となっている。

子どもの年齢別にみると、子どもの年齢が上がるほど『苦しい』人は多くなり、小学生(1～3年生)～高校以上の学生で4割台となっている。

2. あなたの結婚や子どもに対する考えについて

(1) 結婚についてのメリット

問16 あなたは、結婚することについてどのようなメリットがあると思いますか。
 (あてはまる番号のすべてに○をつけてください。ただし、「メリットはない」を選んだ方は他に○をつけないでください。)



結婚のメリットについては、「子どもや家族を持てる」が76.9%と最も多く、以下、「精神的な安らぎの場が得られる」(52.6%)、「愛情を感じている人と暮らせる」(45.9%)、「責任感が向上する」(35.4%) などとなっている。

一方、「メリットはない」は4.4%に留まっている。

Ⅲ 調査結果

【子どもの有無別、性・年齢別】

(%)

	調査数(件)	経済的に余裕が持てる	社会的信用が得られる	精神的な安らぎの場が得られる	愛情を感じている人と暮らせる	責任感が向上する	子どもや家族を持てる	性的な充足が得られる	生活上、便利になる	親から独立できる	親や周囲の期待に応えられる	その他	メリットはない	無回答	
全体	2,486	25.2	29.7	52.6	45.9	35.4	76.9	8.1	12.9	11.9	12.5	1.1	4.4	0.5	
子どもの有無別	子どもあり	1,918	25.3	28.0	52.5	45.0	35.4	82.8	7.0	11.6	11.5	11.0	0.8	3.1	0.5
	子どもなし(既婚)	308	30.2	40.6	60.4	54.9	39.6	64.6	10.7	22.4	13.0	13.6	1.9	3.9	0.6
	子どもなし(未婚)	260	18.5	29.2	44.2	41.9	30.0	47.3	13.5	11.2	13.5	21.9	2.3	14.6	0.4
性・年齢別	【男性】20歳未満	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	【男性】20～29歳	56	8.9	33.9	44.6	48.2	48.2	53.6	17.9	5.4	10.7	12.5	-	8.9	-
	【男性】30～39歳	212	13.7	27.4	56.6	53.8	49.5	72.2	12.7	11.3	9.0	12.3	0.5	5.2	-
	【男性】40～49歳	287	12.5	35.5	56.4	49.1	46.0	79.1	12.9	14.3	8.7	12.5	1.0	3.8	-
	【男性】50～59歳	147	12.2	41.5	60.5	44.9	46.9	68.0	15.0	22.4	8.2	8.2	1.4	6.1	1.4
	【男性】60歳以上	67	14.9	50.7	50.7	47.8	56.7	77.6	22.4	25.4	9.0	19.4	4.5	3.0	3.0
	【女性】20歳未満	1	100.0	100.0	-	-	-	100.0	-	-	-	-	-	-	-
	【女性】20～29歳	186	25.3	17.7	52.7	54.8	28.0	73.7	8.1	14.5	22.6	14.0	1.1	7.0	0.5
	【女性】30～39歳	601	30.3	20.5	52.4	46.6	27.6	82.0	5.5	10.6	14.0	15.0	1.3	2.7	0.5
	【女性】40～49歳	679	31.8	31.5	49.3	40.5	29.7	78.6	4.1	11.6	11.3	12.1	0.7	4.6	0.3
	【女性】50～59歳	200	36.0	39.5	52.5	40.0	34.5	76.0	7.5	13.5	10.5	7.0	1.5	4.5	1.0
	【女性】60歳以上	17	23.5	29.4	52.9	52.9	52.9	70.6	-	11.8	5.9	5.9	-	5.9	-

子どもの有無別にみると、子どもありでは「子どもや家族を持てる」が子どもなしより多く、82.8%を占めている。子どもなし(既婚)では他の家庭より多い項目が多く、特に「社会的信用が得られる」(40.6%)と「生活上、便利になる」(22.4%)は他の家庭を10ポイント以上上回る。子どもなし(未婚)では「メリットはない」が14.6%と他の家庭より多くなっている。

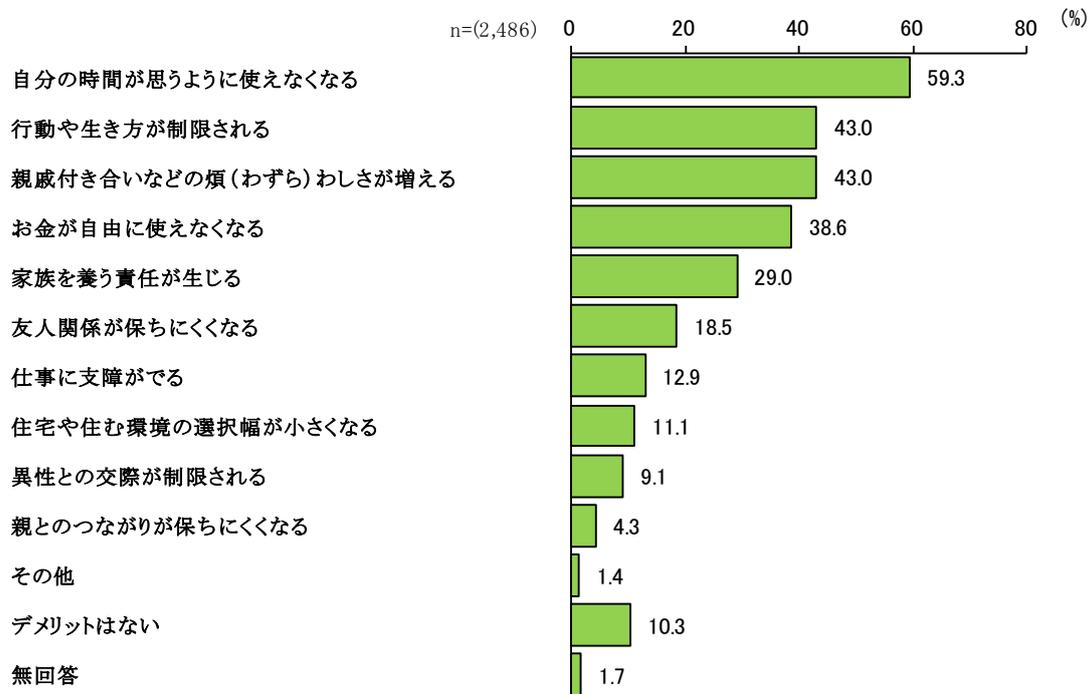
性・年齢別にみると、いずれの年齢も「子どもや家族を持てる」が最も多くなっており、特に男性40～49歳と女性30～49歳では約8割と他の年齢より多くなっている。

また、男性は「社会的信用が得られる」、「精神的な安らぎの場が得られる」、「愛情を感じている人と暮らせる」、「責任感が向上する」、「性的な充足が得られる」が女性より概ね多くなっており、男性50歳以上では「生活上、便利になる」が、男性60歳以上では「親や周囲の期待に応えられる」が他の年齢より多くなっている。

一方、女性は「経済的に余裕が持てる」が男性を上回っており、女性20～29歳では「親から独立できる」が他の年齢より多くなっている。

(2) 結婚についてのデメリット

問17 あなたは、結婚することについてどのようなデメリットがあると思いますか。
 (あてはまる番号のすべてに○をつけてください。ただし、「デメリットはない」を選んだ方は他に○をつけしないでください。)



結婚のデメリットについては、「自分の時間が思うように使えなくなる」が59.3%と最も多く、以下、「行動や生き方が制限される」(43.0%)、「親戚付き合いなどの煩(わずら)わしさが増える」(43.0%)、「お金が自由に使えなくなる」(38.6%)などとなっている。一方、「デメリットはない」は10.3%に留まっている。

Ⅲ 調査結果

【子どもの有無別、性・年齢別】

		調査数 (件)	行動や 生き方が 制限され る	異性との 交際が制 限される	お金の 自由に使 えなくな る	自分の 時間が思 うようにな くなる	住宅や住 む環境の 選択幅が 小さくな る	家族を 養う責任 が生じる	友人関係 が保ちに くくなる	親戚付き 合いなど の煩(わず ら)わし さが増え る	仕事に支 障がでる	親とのつ ながりが 保ちに くくなる	その他	デメリ ットは ない	無回 答
全 体		2,486	43.0	9.1	38.6	59.3	11.1	29.0	18.5	43.0	12.9	4.3	1.4	10.3	1.7
有 無 別	子どもあり	1,918	41.9	9.3	38.7	60.5	11.1	27.6	20.1	41.1	13.7	4.5	1.5	10.5	1.4
	子どもなし(既婚)	308	37.3	8.1	30.8	44.5	9.1	31.5	13.0	47.1	7.1	3.2	1.0	15.9	3.2
	子どもなし(未婚)	260	57.7	8.5	46.9	67.3	13.8	36.2	13.5	51.9	13.8	4.6	1.9	2.7	1.9
性 ・ 年 齢 別	【男性】20歳未満	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	【男性】20～29歳	56	58.9	16.1	57.1	66.1	21.4	42.9	21.4	35.7	7.1	7.1	-	5.4	1.8
	【男性】30～39歳	212	46.2	11.8	55.2	57.1	9.4	34.0	22.6	24.1	7.5	3.8	0.5	12.3	0.5
	【男性】40～49歳	287	39.4	9.4	45.3	53.0	7.7	30.3	17.8	27.2	6.6	4.5	0.7	15.3	3.1
	【男性】50～59歳	147	29.9	12.2	44.2	44.9	8.8	42.2	16.3	29.9	7.5	4.1	0.7	13.6	2.0
	【男性】60歳以上	67	34.3	17.9	20.9	32.8	6.0	43.3	3.0	19.4	-	-	1.5	26.9	6.0
	【女性】20歳未満	1	100.0	-	100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	【女性】20～29歳	186	44.6	10.2	40.9	59.1	15.6	33.3	20.4	47.3	16.7	4.3	2.2	9.1	1.1
	【女性】30～39歳	601	44.9	10.1	40.1	68.6	11.0	24.3	20.0	48.6	15.8	3.5	2.0	7.8	0.7
	【女性】40～49歳	679	43.3	5.6	30.3	60.4	11.5	23.0	17.4	50.4	15.9	4.9	1.8	9.0	1.2
	【女性】50～59歳	200	43.5	6.5	28.0	58.5	13.0	32.5	17.5	56.5	15.0	6.0	1.0	8.0	3.5
	【女性】60歳以上	17	35.3	-	11.8	52.9	5.9	35.3	23.5	52.9	5.9	-	-	5.9	11.8

子どもの有無別にみると、子どもなし(未婚)では「自分の時間が思うように使えなくなる」が67.3%と他の家庭より多くなっている。

また、「行動や生き方が制限される」(57.7%)、「親戚付き合いなどの煩(わずら)わしさが増える」(51.9%)、「お金が自由に使えなくなる」(46.9%)、「家族を養う責任が生じる」(36.2%)も他の家庭を上回っており、デメリットと感じている項目が多くなっている。

性・年齢別にみると、「自分の時間が思うように使えなくなる」は男性20～29歳及び女性30～49歳で6割以上と他の年齢より多くなっている。「行動や生き方が制限される」、「お金が自由に使えなくなる」は男性・女性ともに年齢が下がるほど概ね多くなり、男性の方が女性より多くなっている。

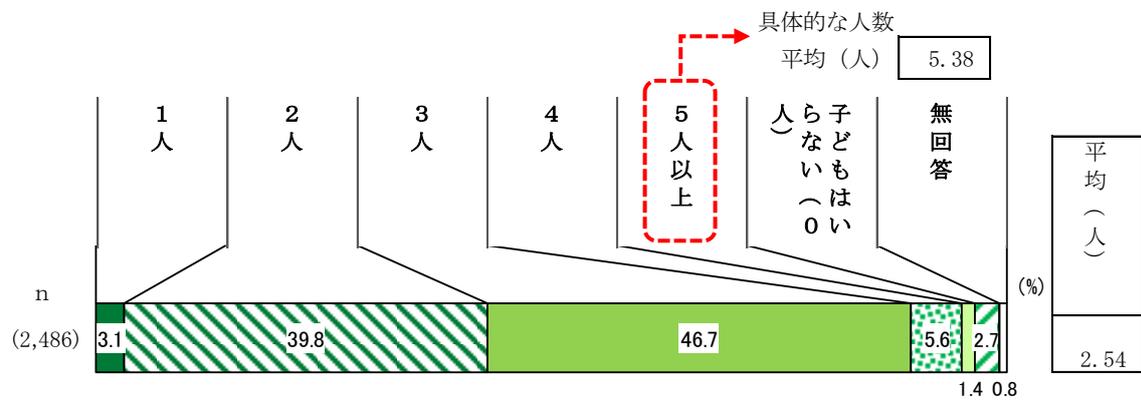
また、「家族を養う責任が生じる」でも男性が3～4割と女性を上回っている。

一方、女性はいずれの年齢も「親戚付き合いなどの煩(わずら)わしさが増える」が男性を上回り、女性40歳以上では5割以上となっている。

また、女性20～59歳では「仕事に支障がでる」も他の年齢より多く、男性を上回っている。

(3) 理想的な子どもの人数

問18 あなたにとって、理想的な子どもの人数は何人ですか。1つだけ○をつけてください。
 (「5人以上」に○をつけた方は、その具体的な人数も記入してください。)



理想的な子どもの人数については、「3人」が46.7%と最も多く、以下、「2人」(39.8%)、「4人」(5.6%)、「1人」(3.1%)などで、平均人数は2.54人となっている。

【子どもの有無別、年齢別、子どもの人数別】

		調査数(件)	1人	2人	3人	4人	5人以上	子どもはいらない	無回答
全体		2,486	3.1	39.8	46.7	5.6	1.4	2.7	0.8
子どもの有無別	子どもあり	1,918	2.7	38.5	49.6	6.5	1.7	0.4	0.5
	子どもなし(既婚)	308	3.9	39.6	47.4	3.6	0.3	3.6	1.6
	子どもなし(未婚)	260	5.4	49.6	23.8	1.2	-	18.1	1.9
年齢別	20歳未満	1	-	-	100.0	-	-	-	-
	20~29歳	243	3.7	51.9	33.7	3.3	0.8	5.3	1.2
	30~39歳	814	3.2	40.9	46.6	6.1	1.2	1.7	0.2
	40~49歳	966	3.5	39.2	47.5	5.4	1.7	1.9	0.8
	50~59歳	347	2.0	35.7	48.4	6.3	1.2	4.9	1.4
	60歳以上	84	-	19.0	69.0	6.0	2.4	1.2	2.4
子どもの人数別	1人	430	10.2	59.3	28.8	0.2	0.5	0.5	0.5
	2人	993	0.8	47.1	48.0	2.1	0.9	0.4	0.6
	3人	537	0.9	8.2	80.8	8.6	0.9	0.4	0.2
	4人以上	136	-	16.2	19.1	49.3	13.2	-	2.2

子どもの有無別にみると、子どもあり及び子どもなし(既婚)では「3人」が、子どもなし(未婚)では「2人」が最も多くなっているが、子どもなし(未婚)は「子どもはいらない」も約2割存在する。

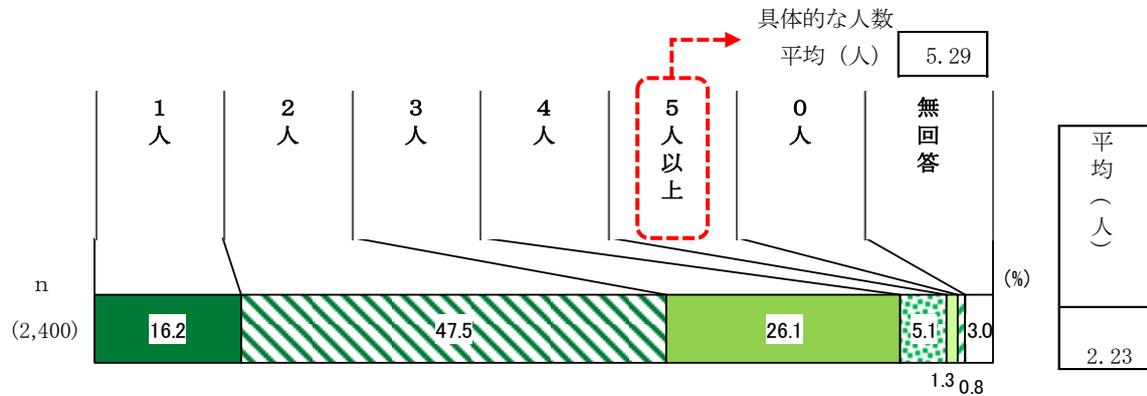
年齢別にみると、年齢が下がるほど「2人」は多くなり、年齢が上がるほど「3人」が多くなっている。

子どもの人数別にみると、現在の子どもの人数以上を理想としている人は、子どもが1人では、理想「2人」が59.3%、「3人」が28.8%、子どもが2人では「3人」が48.0%、子どもが4人以上では「5人以上」が13.2%となっている。

Ⅲ 調査結果

(4) 実際の子どもの予定人数

問19 問18で「1人」～「5人以上」を選んだ方にお聞きします。あなたは、実際には何人の子供（現在いる子供を含めて）を持つ予定ですか。1つだけ○をつけてください。（「5人以上」に○をつけた方は、その具体的な人数も記入してください。）



実際の子どもの予定人数については、「2人」が47.5%と最も多く、以下、「3人」(26.1%)、「1人」(16.2%)、「4人」(5.1%) などとなっている。平均人数は2.23人となっており、理想的な子どもの平均人数より0.31人下回っている。

【子どもの有無別、年齢別】

		調査数 (件)	1人	2人	3人	4人	5人以上	0人	無回答
全体		2,400	16.2	47.5	26.1	5.1	1.3	0.8	3.0
子どもの有無別	子どもあり	1,900	14.8	48.2	27.9	6.0	1.5	-	1.5
	子どもなし (既婚)	292	19.5	43.5	25.0	2.4	0.3	3.1	6.2
	子どもなし (未婚)	208	24.0	46.6	10.6	0.5	0.5	5.3	12.5
年齢別	20歳未満	1	-	-	100.0	-	-	-	-
	20～29歳	227	17.6	55.5	20.7	1.8	0.9	-	3.5
	30～39歳	798	14.5	50.6	26.1	5.4	1.5	0.4	1.5
	40～49歳	940	17.6	46.6	25.4	5.4	1.4	1.2	2.4
	50～59歳	325	16.6	40.6	27.7	5.8	0.9	1.8	6.5
	60歳以上	81	7.4	38.3	38.3	4.9	-	-	11.1

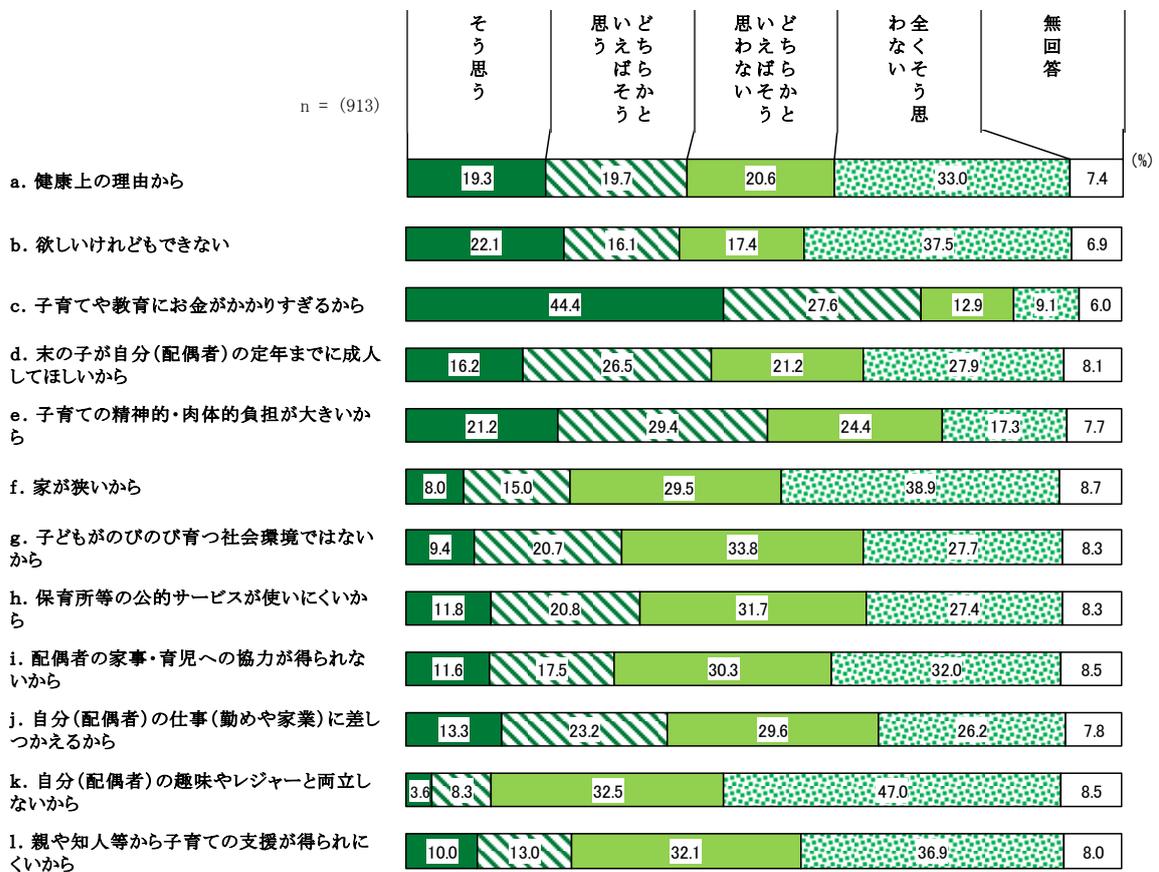
子どもの有無別にみると、子どもあり及び子どもなしいずれも「2人」が4割台と最も多く、次に多いのは、子どもあり及び子どもなし(既婚)では「3人」となっているが、子どもなし(未婚)では「1人」となっている。

年齢別にみると、ほとんどの年齢で「2人」が最も多く、また、年齢が下がるほど多くなり20～39歳では5割以上となっている。「3人」は年齢が上がるほど概ね多くなり、60歳以上では38.3%と他の年齢より多くなっている。

(5) 理想的な人数の子どもを持たない理由 ※実際の子どもの数が理想より少ない方

問20 理想的な人数の子どもを持たない理由についてお聞かせください。

(a~lのそれぞれについて、あてはまる番号に○をつけてください。)



理想的な人数の子どもを持たない理由について、「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」を合わせた『そう思う』が多い項目は、《子育てや教育にお金がかかりすぎるから》(72.0%)、《子育ての精神的・肉体的負担が大きいため》(50.6%)の2項目で、特に《子育てや教育にお金がかかりすぎるから》では約7割が『そう思う』と回答している。

一方、「どちらかといえばそう思わない」と「全くそう思わない」を合わせた『そう思わない』が多い項目は、《家が狭いから》(68.4%)、《自分(配偶者)の趣味やレジャーと両立しないから》(79.5%)、《親や知人等から子育ての支援が得られにくいから》(69.0%)の3項目で、特に《自分(配偶者)の趣味やレジャーと両立しないから》では約8割が『そう思わない』と回答している。

Ⅲ 調査結果

【子どもの有無別、性別、年齢別、子どもの人数別】

		調査数 (件)	a. 健康上の理由から	b. きない 欲しいけれども	c. 金がかかりすぎるから	d. 人としてほしくないから	e. 肉体的負担が大きいから	f. 家が狭いから	g. 育つ社会環境ではないから	h. サービスが使いにくいから	i. 児への協力が得られないから	j. 仕事(勤めや家業)に差しつかえるから	k. 趣味やレジャーと両立しないから	l. 子育ての支援が得られないから	(%)	
『 そう 思う』	全体	913	39.0	38.2	72.0	42.7	50.6	23.0	30.1	32.6	29.1	36.5	11.9	23.0		
	有無別	子どもあり	721	39.1	36.4	73.1	43.3	51.1	23.4	29.4	32.6	31.7	37.8	11.0	24.5	
		子どもなし(既婚)	118	33.9	48.4	64.4	38.1	41.6	17.8	29.6	25.5	20.4	23.7	7.6	15.2	
		子どもなし(未婚)	74	46.0	40.5	73.0	44.6	59.5	27.1	37.9	44.6	18.9	44.6	28.4	20.3	
	性別	男性	262	29.4	30.5	73.6	40.9	44.3	21.0	29.4	30.1	12.3	26.0	11.8	17.6	
		女性	649	43.0	41.2	71.3	43.4	53.3	23.9	30.4	33.8	36.1	40.7	12.1	25.3	
	年齢別	20歳未満	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
		20~29歳	68	16.2	26.4	92.6	47.1	72.1	36.8	48.5	48.5	33.8	44.2	26.4	29.4	
		30~39歳	299	32.1	32.8	76.6	38.4	55.5	28.1	31.8	38.1	30.1	44.9	12.0	24.1	
		40~49歳	380	47.9	42.6	69.4	45.0	50.2	20.3	28.7	29.7	29.8	33.7	10.8	23.6	
		50~59歳	125	44.0	45.6	61.6	49.6	34.4	15.2	23.2	24.0	27.2	27.2	10.4	19.2	
		60歳以上	32	25.0	25.0	59.4	28.2	31.3	12.5	15.6	15.6	12.5	9.4	0.0	9.4	
	子どもの人数別	1人	292	46.9	56.1	65.0	44.2	51.7	17.8	30.8	31.2	33.6	32.6	9.9	23.0	
		2人	443	33.4	24.4	75.8	42.7	49.7	25.7	28.9	31.9	29.1	38.4	10.8	23.5	
3人		47	27.6	19.2	78.7	38.3	38.3	25.6	27.7	36.2	32.0	40.4	12.7	25.5		
4人以上		7	28.6	14.3	71.4	28.6	28.6	14.3	0.0	14.3	28.6	28.6	0.0	28.6		
『 そう 思わない』	全体	913	53.6	54.9	22.0	49.1	41.7	68.4	61.5	59.1	62.3	55.8	79.5	69.0		
	有無別	子どもあり	721	54.4	57.9	21.6	49.8	42.2	69.2	63.4	60.2	60.9	55.5	81.4	68.6	
		子どもなし(既婚)	118	53.4	39.0	26.3	46.6	44.9	66.1	54.2	59.3	65.3	61.9	77.2	70.3	
		子どもなし(未婚)	74	46.0	51.4	18.9	47.3	32.4	63.5	55.4	47.3	71.6	48.7	64.9	71.6	
	性別	男性	262	62.9	61.9	20.6	51.5	46.6	69.9	61.9	60.7	79.0	65.7	79.4	73.6	
		女性	649	49.7	52.2	22.5	48.2	39.6	67.7	61.4	58.2	55.4	51.7	79.5	67.0	
	年齢別	20歳未満	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
		20~29歳	68	80.9	70.6	7.4	48.6	26.5	60.3	50.0	51.4	64.7	54.4	70.6	67.7	
		30~39歳	299	63.5	62.6	19.4	56.9	39.8	66.9	63.2	56.8	64.9	50.8	82.6	71.2	
		40~49歳	380	44.8	50.6	25.0	47.3	42.1	71.3	62.9	61.9	61.3	58.4	80.8	68.4	
		50~59歳	125	44.0	44.8	28.0	36.8	54.4	71.2	64.0	63.2	60.0	60.0	76.0	68.8	
		60歳以上	32	46.9	50.0	15.7	40.6	34.4	50.0	46.9	46.9	53.2	56.3	65.7	56.3	
	子どもの人数別	1人	292	47.3	39.7	30.5	50.0	42.5	76.0	63.3	63.0	59.6	62.0	83.9	71.6	
		2人	443	58.5	67.1	17.1	47.8	41.8	64.3	60.9	58.2	61.4	52.2	78.8	67.0	
3人		47	61.7	72.3	17.0	53.2	53.2	63.8	63.8	55.3	59.6	51.0	78.7	65.9		
4人以上		7	42.9	57.1	14.3	57.2	42.9	57.2	71.4	57.1	42.9	57.1	71.4	42.9		

子どもの有無別にみると、『そう思う』が多い項目は、子どもあり及び子どもなし(未婚)で《子育てや教育にお金がかかりすぎるから》、《末の子が自分(配偶者)の定年までに成人してほしいから》、《子育ての精神的・肉体的負担が大きいから》が子どもなし(既婚)より多くなっている。

また、子どもありでは《配偶者の家事・育児への協力が得られないから》、《親や知人等から子育ての支援が得られにくいから》も子どもなしより多い。

さらに、子どもなし(未婚)では《健康上の理由から》、《家が狭いから》、《子どもがのびのび育つ社会環境ではないから》、《保育所等の公的サービスが使いにくいから》、《自分(配偶者)の仕事(勤めや家業)に差しつかえるから》、《自分(配偶者)の趣味やレジャーと両立しないから》が他の家庭を上回っている。《欲しいけれどもできない》は子どもなし(既婚)でやや多くなっている。

性別にみると、女性は《健康上の理由から》、《欲しいけれどもできない》、《子育ての精神的・肉体的負担が大きいから》、《配偶者の家事・育児への協力が得られないから》、《自分（配偶者）の仕事（勤めや家業）に差しかえるから》が男性より多くなっている。

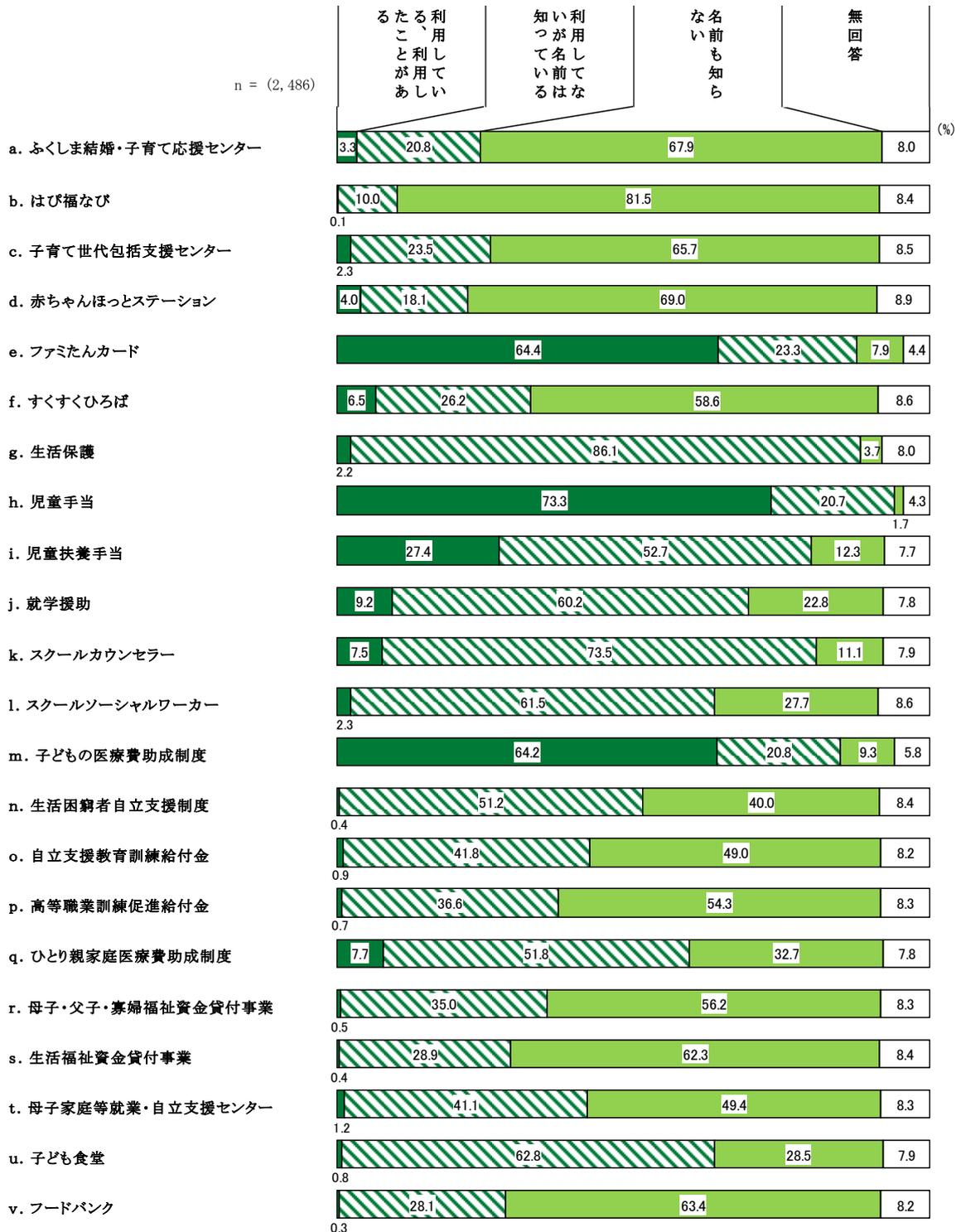
年齢別にみると、《健康上の理由から》、《欲しいけれどもできない》は40～59歳で、《末の子が自分（配偶者）の定年までに成人してほしいから》は20～29歳と40～59歳で他の年齢より多くなっている。それ以外の項目は年齢が下がるほど概ね多くなり、20～29歳では《子育ての精神的・肉体的負担が大きいから》が約7割、《子育てや教育にお金がかかりすぎるから》が約9割と、他の年齢を大きく上回っている。

子どもの人数別にみると、《健康上の理由から》、《欲しいけれどもできない》、《末の子が自分（配偶者）の定年までに成人してほしいから》、《子育ての精神的・肉体的負担が大きいから》、《子どもがのびのび育つ社会環境ではないから》は人数が少ないほど概ね多くなっている。子どもが2～3人では《子育てや教育にお金がかかりすぎるから》、《家が狭いから》、《自分（配偶者）の仕事（勤めや家業）に差しかえるから》が他より多くなっている。

3. あなたの結婚や子育てに関する環境について

(1) 施設・制度の利用状況

問21 次のa～vであなたは次の施策を利用した（または支援を受けた）ことがありますか。（a～vのそれぞれについて、あてはまる番号に○をつけてください。）



施設・制度利用について、「利用している、利用したことがある」が多いのは、《児童手当》(73.3%)、《ファミたんカード》(64.4%)、《子どもの医療費助成制度》(64.2%)の3項目で、特に《児童手当》は7割以上となっている。

また、「利用している、利用したことがある」と「利用していないが名前は知っている」を合わせた『知っている』が多い認知度が高い項目は、《児童手当》(94.0%)、《生活保護》(88.3%)、《ファミたんカード》(87.7%)、《子どもの医療費助成制度》(85.0%)、《スクールカウンセラー》(81.0%)、《児童扶養手当》(80.1%)の6項目で8割以上となっている。

一方、「名前も知らない」が多い認知度が低い項目は、《はぴ福なび》(81.5%)、《赤ちゃんほっとステーション》(69.0%)、《ふくしま結婚・子育て応援センター》(67.9%)、《子育て世代包括支援センター》(65.7%)、《フードバンク》(63.4%)、《生活福祉資金貸付事業》(62.3%)、《すくすくひろば》(58.6%)、《母子・父子・寡婦福祉資金貸付事業》(56.2%)、《高等職業訓練促進給付金》(54.3%)の9項目となっている。

Ⅲ 調査結果

【子どもの有無別】

《子どもあり》

	調査数 (件)	ある 利用 している が、	利用 している が、	名前 は知 つて いない が	名前 も知 らな い	(%) 無 回 答
a. ふくしま結婚・子育て応援センター	1,918	4.2	20.7	68.5	6.7	
b. はび福なび	1,918	-	9.0	83.9	7.1	
c. 子育て世代包括支援センター	1,918	3.0	23.5	66.2	7.2	
d. 赤ちゃんほっとステーション	1,918	5.1	19.1	68.2	7.6	
e. ファミたんカード	1,918	79.9	15.7	2.4	2.0	
f. すくすくひろば	1,918	8.2	28.0	56.4	7.4	
g. 生活保護	1,918	2.6	87.0	3.5	6.8	
h. 児童手当	1,918	90.3	7.0	0.5	2.3	
i. 児童扶養手当	1,918	33.2	48.8	11.7	6.4	
j. 就学援助	1,918	11.3	61.8	20.6	6.4	
k. スクールカウンセラー	1,918	8.8	75.0	9.8	6.5	
l. スクールソーシャルワーカー	1,918	2.4	63.0	27.4	7.1	
m. 子どもの医療費助成制度	1,918	79.9	11.9	4.4	3.8	
n. 生活困窮者自立支援制度	1,918	0.5	53.1	39.5	7.0	
o. 自立支援教育訓練給付金	1,918	1.0	44.2	47.9	7.0	
p. 高等職業訓練促進給付金	1,918	0.7	38.0	54.3	6.9	
q. ひとり親家庭医療費助成制度	1,918	9.4	55.2	29.1	6.3	
r. 母子・父子・寡婦福祉資金貸付事業	1,918	0.5	37.2	55.4	6.9	
s. 生活福祉資金貸付事業	1,918	0.4	30.3	62.3	7.0	
t. 母子家庭等就業・自立支援センター	1,918	1.4	42.6	49.0	7.0	
u. 子ども食堂	1,918	1.0	63.8	28.6	6.6	
v. フードバンク	1,918	0.4	28.2	64.5	6.9	

《子どもなし（既婚）》

	調査数 (件)	ある 利用 している が、	利用 している が、	名前 は知 つて いない が	名前 も知 らな い	(%) 無 回 答
	308	0.6	21.4	64.3	13.6	
	308	-	10.4	75.6	14.0	
	308	-	23.7	62.7	13.6	
	308	0.3	13.0	72.7	14.0	
	308	15.3	44.5	27.3	13.0	
	308	0.6	21.4	64.0	14.0	
	308	0.6	83.8	2.6	13.0	
	308	28.2	57.8	2.9	11.0	
	308	13.6	63.3	10.1	13.0	
	308	3.6	55.8	27.3	13.3	
	308	3.9	67.5	14.9	13.6	
	308	2.6	55.2	27.9	14.3	
	308	18.5	51.0	17.5	13.0	
	308	0.3	45.8	39.9	14.0	
	308	-	34.7	51.6	13.6	
	308	1.0	34.4	50.6	14.0	
	308	3.9	42.5	39.9	13.6	
	308	1.0	30.8	54.5	13.6	
	308	0.6	25.0	60.4	14.0	
	308	0.6	36.7	49.0	13.6	
	308	-	61.0	26.0	13.0	
	308	-	27.3	59.4	13.3	

《子どもなし（未婚）》

	調査数 (件)	ある 利用 している が、	利用 している が、	名前 は知 つて いない が	名前 も知 らな い	(%) 無 回 答
a. ふくしま結婚・子育て応援センター	260	-	20.8	67.7	11.5	
b. はび福なび	260	0.8	16.9	70.4	11.9	
c. 子育て世代包括支援センター	260	-	22.7	65.4	11.9	
d. 赤ちゃんほっとステーション	260	0.4	16.5	70.8	12.3	
e. ファミたんカード	260	8.5	54.2	25.8	11.5	
f. すくすくひろば	260	0.4	18.8	68.8	11.9	
g. 生活保護	260	0.8	81.9	6.5	10.8	
h. 児童手当	260	1.2	78.1	9.6	11.2	
i. 児童扶養手当	260	0.8	68.5	19.6	11.2	
j. 就学援助	260	0.4	53.8	33.5	12.3	
k. スクールカウンセラー	260	2.3	69.6	16.5	11.5	
l. スクールソーシャルワーカー	260	0.8	57.3	29.6	12.3	
m. 子どもの医療費助成制度	260	2.7	50.4	35.4	11.5	
n. 生活困窮者自立支援制度	260	-	44.2	43.8	11.9	
o. 自立支援教育訓練給付金	260	1.5	33.1	54.2	11.2	
p. 高等職業訓練促進給付金	260	-	29.2	58.8	11.9	
q. ひとり親家庭医療費助成制度	260	-	38.1	50.0	11.9	
r. 母子・父子・寡婦福祉資金貸付事業	260	-	23.8	63.8	12.3	
s. 生活福祉資金貸付事業	260	-	23.1	64.6	12.3	
t. 母子家庭等就業・自立支援センター	260	-	35.0	53.1	11.9	
u. 子ども食堂	260	-	57.7	30.8	11.5	
v. フードバンク	260	0.4	28.1	59.6	11.9	

※「子どもあり」については、0歳～高校以上の学生までの子どもが同居している方を対象としている。同居しているのが就職している子どものみの方については「子どもなし（既婚）」の対象としている。

子どもの有無別にみると、「利用している、利用したことがある」が多いのは、子どもありでは《児童手当》(90.3%)、《ファミたんカード》(79.9%)、《子どもの医療費助成制度》(79.9%)が8～9割を占め、その他、《児童扶養手当》が33.2%となっている。子どもなし(既婚)でも同項目の《児童手当》(28.2%)、《子どもの医療費助成制度》(18.5%)、《ファミたんカード》(15.3%)、《児童扶養手当》(13.6%)で、1～3割程度となっている。

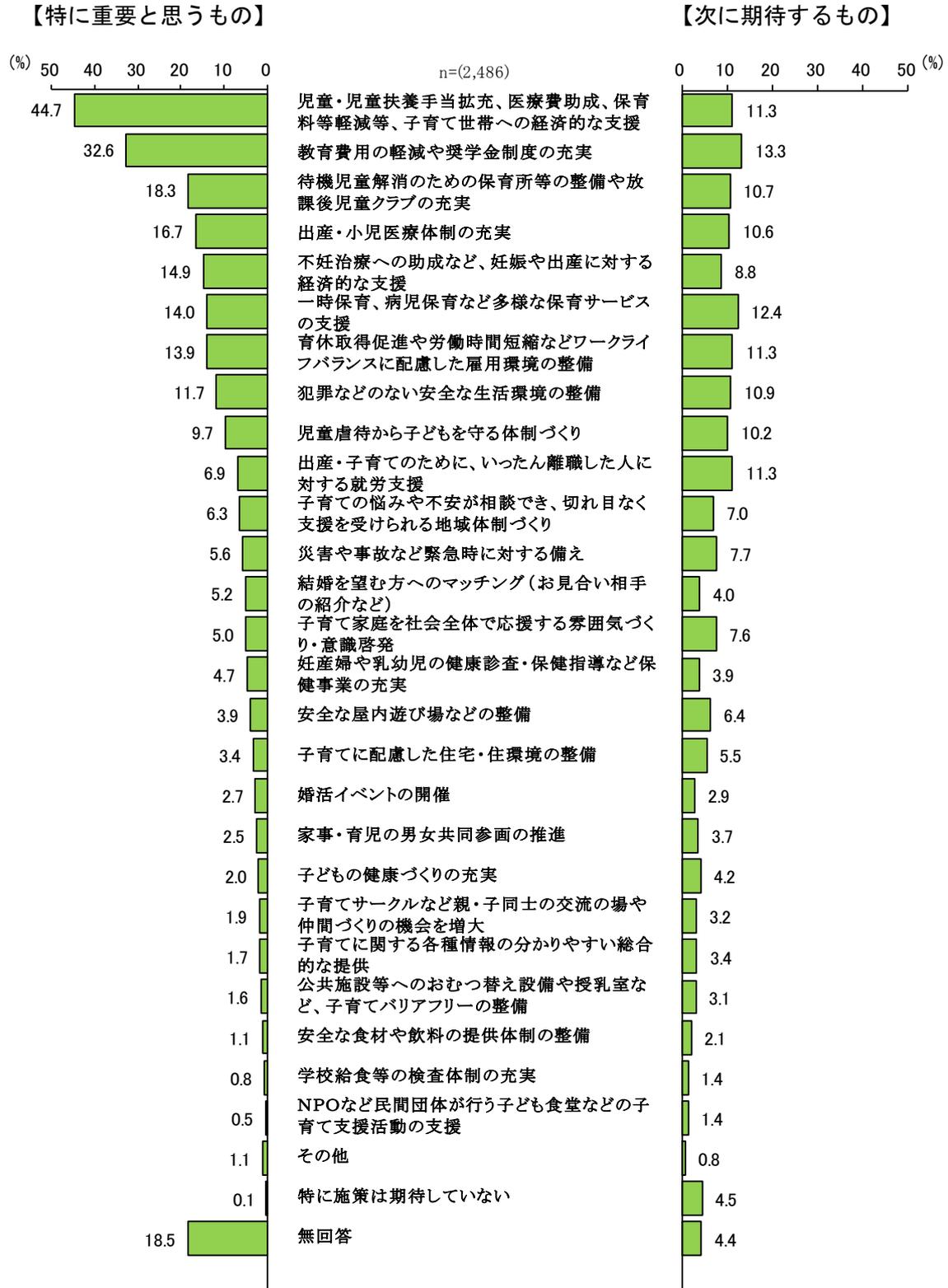
『知っている』が多い認知度が高い上位5項目は、順位はやや異なるものの、《児童手当》(子どもあり：97.3%、子どもなし既婚：86.0%、子どもなし未婚：79.3%)、《生活保護》(子どもあり：89.6%、子どもなし既婚：84.4%、子どもなし未婚：82.7%)、《スクールカウンセラー》(子どもあり：83.8%、子どもなし既婚：71.4%、子どもなし未婚：71.9%)となっている。その他、《ファミたんカード》は子どもあり(95.6%)と子どもなし(未婚)(62.7%)で、《子どもの医療費助成制度》は子どもあり(91.8%)と子どもなし(既婚)(69.5%)で、《児童扶養手当》は子どもなし(既婚)(76.9%)と子どもなし(未婚)(69.3%)となっている。

一方、「名前も知らない」が多い認知度が低い上位5項目は、順位はやや異なるものの、《はぴ福なび》(子どもあり：83.9%、子どもなし既婚：75.6%、子どもなし未婚：70.4%)、《ふくしま結婚・子育て応援センター》(子どもあり：68.5%、子どもなし既婚：64.3%、子どもなし未婚：67.7%)、《赤ちゃんほっとステーション》(子どもあり：68.2%、子どもなし既婚：72.7%、子どもなし未婚：70.8%)、《子育て世代包括支援センター》(子どもあり：66.2%、子どもなし既婚：62.7%、子どもなし未婚：65.4%)となっている。その他、《フードバンク》は子どもあり(64.5%)で、《すくすくひろば》は子どもなし(未婚)(68.8%)と子どもなし(既婚)(64.0%)となっている。

Ⅲ 調査結果

(2) 子育て環境の整備や少子化対策で期待すること

問22 子育て環境の整備や少子化対策について、国・県・市町村にどのような施策を期待しますか。(特に重要と思うものの番号に3つ◎を、次に期待するものの番号に2つ○をつけてください。ただし、「特に施策は期待していない」を選んだ方は他に○をつけなくてください。)



子育て環境の整備や少子化対策で行政に期待することの項目の中で、【特に重要と思うもの】については、「児童・児童扶養手当拡充、医療費助成、保育料等軽減等、子育て世帯への経済的な支援」が44.7%と最も多く、以下、「教育費用の軽減や奨学金制度の充実」(32.6%)、「待機児童解消のための保育所等の整備や放課後児童クラブの充実」(18.3%)、「出産・小児医療体制の充実」(16.7%)、「不妊治療への助成など、妊娠や出産に対する経済的な支援」(14.9%)、「一時保育、病児保育など多様な保育サービスの支援」(14.0%)などとなり、経済的負担軽減の2項目が上位1、2位となっている。

【次に期待するもの】については、「教育費用の軽減や奨学金制度の充実」が13.3%と最も多く、以下、「一時保育、病児保育など多様な保育サービスの支援」(12.4%)、「児童・児童扶養手当拡充、医療費助成、保育料等軽減等、子育て世帯への経済的な支援」「育児休業取得促進や労働時間の短縮などワークライフバランスに配慮した雇用環境の整備」「出産・子育てのために、いったん離職した人に対する就労支援」(いずれも11.3%)、「犯罪などのない安全な生活環境の整備」(10.9%)などとなり、上位1、3位となった教育費、児童手当等の経済的支援については、「特に重要と思うもの」でも上位項目となっていることから、特に行政に期待が高いことがうかがえる。

前回調査と比較すると、設問や選択肢が異なるため単純比較はできないが、前回1位の「費用負担の軽減」(前回：73.9%)は今回調査でも最も多く、経済的支援については、引き続き、行政に期待が高いことがうかがえる。前回2～3位の「預かり事業」(前回：64.0%)と「放課後児童クラブ」(前回：46.5%)も今回も引き続き上位となっている。

《参考：前回調査結果（県民アンケート調査）》

順位	選択肢	%
1	保育や教育にかかる費用負担の軽減	73.9
2	さまざまな場面で活用できる預かり事業	64.0
3	学童保育など放課後に小学生を預かる制度	46.5
4	母親に対する就労支援事業	39.7
5	0～2歳の子どもが必要に応じて保育所に入れる制度	30.7
6	保護者の就労の有無に関わらず幼児教育・保育を一体的に行う制度（認定こども園）	27.5
7	出産、子育てなどに関わる相談と支援事業	24.9
8	子育て中の親子の交流、子育てに関する相談・援助などを行う事業	20.1
9	青少年の居場所づくりや各種活動支援制度（スポーツ、文化的活動など）	20.1
10	出産育児休業などワークライフバランスに関わる施策	17.9
11	育児支援を受けたい人と援助したい人とが、相互に助け合うファミリーサポート事業	10.2
12	子どもや若者が施策づくりに参画できる制度や仕組み	8.5

Ⅲ 調査結果

子どもの年齢別にみると、高校以上の学生以下で「児童・児童扶養手当拡充、医療費助成、保育料等軽減等、子育て世帯への経済的な支援」は約5割と多くなっており、「教育費用の軽減や奨学金制度の充実」では小学生（4～6年生）～高校以上の学生で4割台となっている。「待機児童解消のための保育所等の整備や放課後児童クラブの充実」では年齢が下がるほど概ね多くなり、0歳～小学校入学前で2割半ばとなっている。

子どもの人数別にみると、子どもの人数が多くなるほど「児童・児童扶養手当拡充、医療費助成、保育料等軽減等、子育て世帯への経済的な支援」や「教育費用の軽減や奨学金制度の充実」、「出産・小児医療体制の充実」は多くなり、「待機児童解消のための保育所等の整備や放課後児童クラブの充実」は子どもの数が少ないほど多くなっている。

経済的な生活状況別にみると、苦しいと感じているほど「児童・児童扶養手当拡充、医療費助成、保育料等軽減等、子育て世帯への経済的な支援」と「教育費用の軽減や奨学金制度の充実」は多くなっている。

親との同居状況別にみると、「不妊治療への助成など、妊娠や出産に対する経済的な支援」、「待機児童解消のための保育所等の整備や放課後児童クラブの充実」、「一時保育、病児保育など多様な保育サービスの支援」、「児童・児童扶養手当拡充、医療費助成、保育料等軽減等、子育て世帯への経済的な支援」、「教育費用の軽減や奨学金制度の充実」、「育休取得促進や労働時間短縮などワークライフバランスに配慮した雇用環境の整備」では親と別居（同市町村・他市町村に居住）が親と同居を上回っている。

ひとり親世帯の状況別にみると、ひとり親世帯では「児童・児童扶養手当拡充、医療費助成、保育料等軽減等、子育て世帯への経済的な支援」と「教育費用の軽減や奨学金制度の充実」がそれ以外の世帯より多くなっている。

【次に期待するもの：子どもの有無別】

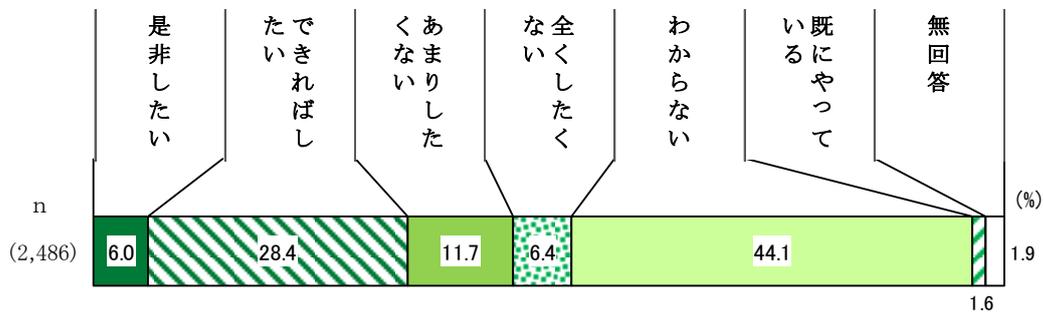
		調査数（件）	婚活イベントの開催	結婚を望む方への相手紹介など	産前・産後や乳幼児の健康指導など保健事業の充実	出産・小児医療体制の充実	妊婦や出産に対する経済的支援	不妊治療への助成など、妊娠や出産に対する経済的支援	子育ての悩みや不安を相談できる地域体制づくり	子育ての交流の場や仲間づくりの機会を増大	子ども同士の交流の場や親子クラブの充実	待機児童解消のための保育所等の整備や放課後児童クラブの充実	多様な保育サービスの提供	一時保育、病児保育などの経済的な支援	児童・児童扶養手当拡充、医療費助成、保育料等軽減等、子育て世帯への経済的な支援	児童・児童扶養手当拡充、医療費助成、保育料等軽減等、子育て世帯への経済的な支援	教育費用の軽減や奨学金制度の充実	子育て支援施設や授乳室などの整備	公共施設等へのおむつ替え設備	子育てに配慮した住宅・住環境の整備	子育てに配慮した住宅・住環境の整備	短縮など得やすくなる労働環境の整備	育休取得促進や労働時間短縮などワークライフバランスに配慮した雇用環境の整備	
全体		2,486	2.9	4.0	3.9	10.6	8.8	7.0	3.2	10.7	12.4	11.3	13.3	3.1	5.5	11.3								
有無別	子どもあり	1,918	2.6	3.5	3.6	10.5	9.2	6.7	3.1	11.4	12.9	11.8	13.7	3.0	5.6	12.0								
	子どもなし（既婚）	308	2.9	4.9	4.5	11.0	9.1	8.1	4.5	10.7	13.0	10.1	13.6	2.6	3.9	9.7								
	子どもなし（未婚）	260	4.6	6.5	5.4	10.8	5.8	7.3	1.9	5.8	8.1	9.6	10.0	4.6	6.5	8.1								
		すい出画家事支	産・推事・育	活・進進	支・援	支・援	支・援	支・援	支・援	支・援	支・援	支・援	支・援	支・援	支・援	支・援	支・援	支・援	支・援	支・援	支・援	支・援	支・援	支・援
全体		11.3	3.7	1.4	7.6	10.9	3.4	4.2	1.4	2.1	6.4	10.2	7.7	0.8	4.5	4.4								
有無別	子どもあり	11.2	3.2	1.3	7.8	11.7	3.3	4.4	1.5	2.3	7.4	10.7	8.3	0.7	2.9	3.8								
	子どもなし（既婚）	13.6	5.2	2.6	8.4	7.1	4.5	3.2	1.0	1.3	3.9	9.1	3.2	0.6	5.8	6.2								
	子どもなし（未婚）	9.2	5.4	0.8	5.0	9.2	2.3	3.5	1.2	1.5	2.7	7.3	8.1	1.5	14.6	7.3								

【次に期待するもの】については、子どもあり・子どもなし（既婚）で「待機児童解消のための保育所等の整備や放課後児童クラブの充実」、「一時保育、病児保育など多様な保育サービスの支援」が子どもなし（未婚）よりやや多くなっている。

一方、子どもなし（未婚）では「特に施策は期待していない」（14.6%）が他の家庭より多くなっている。

(3) 子育て支援活動への参加希望

問23 あなたは、子育て家庭のために子育て支援の活動をしたいと思いますか。
(1つだけ○をつけてください。)



子育て支援活動への参加希望については、「できればしたい」(28.4%)と「是非したい」(6.0%)を合わせた『活動したい』人が34.4%となっており、「あまりしたくない」(11.7%)と「全くしたくない」(6.4%)を合わせた『活動したくない』人の18.1%を大きく上回っている。

一方、最も多いのは「わからない」で44.1%となっている。

【子どもの有無別、性別、年齢別】

		調査数(件)	是非したい	できればしたい	あまりしたくない	全くしたくない	わからない	既にやっている	無回答
全体		2,486	6.0	28.4	11.7	6.4	44.1	1.6	1.9
子どもの有無別	子どもあり	1,918	5.9	29.0	12.1	5.7	44.0	1.6	1.7
	子どもなし(既婚)	308	5.5	29.2	11.7	5.5	44.2	1.3	2.6
	子どもなし(未婚)	260	6.5	22.3	8.8	12.3	45.0	2.3	2.7
性別	男性	779	5.5	27.1	12.3	9.0	42.4	1.7	2.1
	女性	1,702	6.2	29.0	11.5	5.1	44.9	1.6	1.8
年齢別	20歳未満	1	-	-	-	-	100.0	-	-
	20~29歳	243	7.0	30.0	9.1	7.0	44.0	0.8	2.1
	30~39歳	814	7.2	30.2	10.9	6.3	43.6	1.0	0.7
	40~49歳	966	5.6	26.3	13.9	7.1	43.7	2.0	1.4
	50~59歳	347	4.0	26.8	10.4	5.2	47.8	1.7	4.0
	60歳以上	84	3.6	36.9	9.5	2.4	33.3	6.0	8.3

子どもの有無別にみると、子どもあり及び子どもなし(既婚)では『活動したい』人が3割半ばと子どもなし(未婚)(28.8%)より多くなっているが、子どもなし(未婚)は「全くしたくない」(12.3%)が他の家庭よりやや多くなっている。

性別にみると、女性は『活動したい』人が35.2%と男性(32.6%)よりやや多くなっているが、男性は「全くしたくない」(9.0%)が女性(5.1%)よりやや多くなっている。

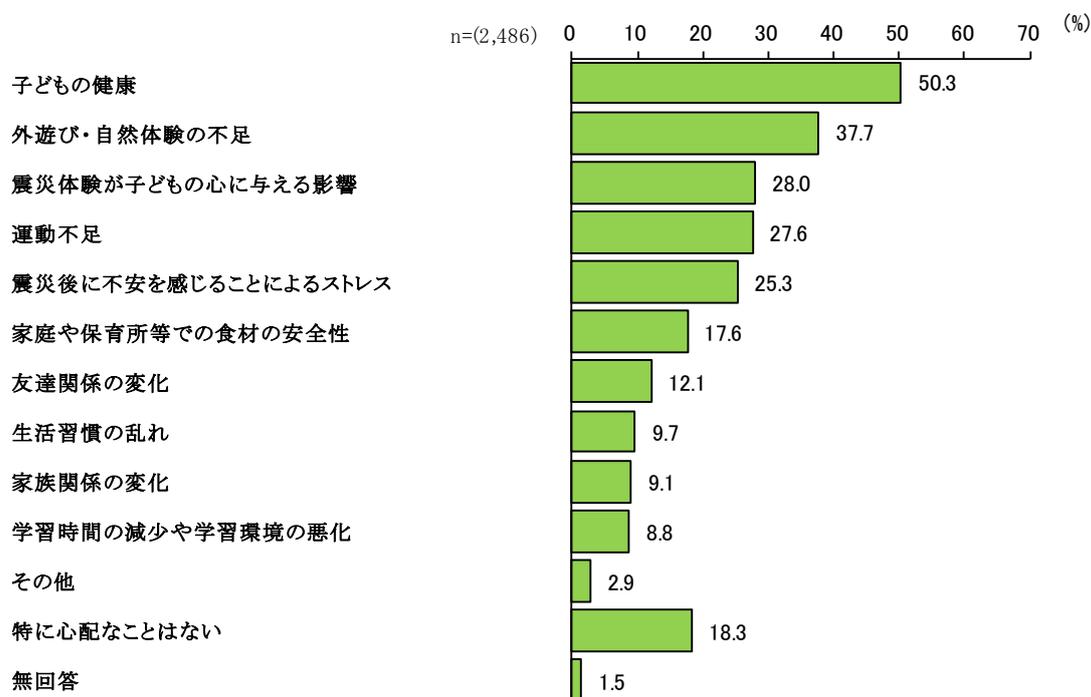
年齢別にみると、『活動したい』人は20~39歳、60歳以上で約4割と他の年齢より多くなっているが、40~49歳は『活動したくない』人が21.0%と他の年齢より多くなっている。

Ⅲ 調査結果

(4) 震災による子どもへの影響で心配なこと

問24 震災による子どもへの影響として、心配なことがありますか。

(あてはまる番号のすべてに○をつけてください。ただし、「特に心配なことはない」を選んだ方は他に○をつけしないでください。)



震災による子どもへの影響で心配なことについては、「子どもの健康」が50.3%と最も多く、以下、「外遊び・自然体験の不足」(37.7%)、「震災体験が子どもの心に与える影響」(28.0%)、「運動不足」(27.6%)などとなっている。

前回調査と比較すると、設問や選択肢が異なるため単純比較はできないが、前回と同様に「健康被害」(前回:61.7%)、「外遊び・自然体験の不足」(前回:57.9%)、「運動不足」(前回:35.3%)が上位にあげられており、引き続き、「子どもの健康」にかかる心配が多くなっている。また、前回4位の「震災体験が子どもの心に与える影響」(前回:29.1%)は、3位となったものの前回調査から微減に留まっている。「特に心配なことはない」(前回:5.8%)は今回調査では18.3%となっており、12.5ポイント増加している。

《参考：前回調査結果（県民アンケート調査）》

順位	選択肢	%
1	放射線による健康被害	61.7
2	外遊び・自然体験の不足	57.9
3	運動不足	35.3
4	震災体験が子どもの心に与える影響	29.1
5	放射線に不安を感じることによるストレス	24.6
6	放射線についての意見の相違などによる人間関係への影響	22.5
7	友達関係の変化	8.4
8	学習時間の減少や学習環境の悪化	8.1
9	家族関係の変化	6.4
10	特に心配なことはない	5.8

【居住地域別、子どもの年齢別】

		調査数 (件)	運動不足	の外遊び・自然体験の不足	学習環境の悪化	の震災体験が子どもに与える影響	友達関係の変化	家族関係の変化	子どもの健康	の家庭や保育所等での食材の安全性	ストレス	震災後に不安を感じる	生活習慣の乱れ	その他	ない特に心配なことは	無回答
全体		2,486	27.6	37.7	8.8	28.0	12.1	9.1	50.3	17.6	25.3	9.7	2.9	18.3	1.5	
居住地域別	県北	581	32.7	42.0	9.6	26.2	9.3	8.8	54.2	18.9	20.8	8.8	3.3	17.9	1.5	
	県中	664	29.1	37.2	6.2	26.5	9.0	7.8	52.4	16.9	25.9	8.7	3.5	17.6	0.9	
	県南	217	19.4	36.9	7.8	26.3	11.5	6.9	45.2	15.7	21.2	10.1	1.8	22.6	2.8	
	会津	341	19.9	29.9	11.4	32.6	17.9	10.6	42.2	16.4	31.4	11.1	3.2	23.2	2.6	
	南会津	59	18.6	25.4	5.1	27.1	13.6	10.2	40.7	8.5	32.2	6.8	1.7	32.2	-	
	相双	143	36.4	44.8	14.7	28.7	23.8	16.8	49.7	15.4	27.3	19.6	0.7	9.8	0.7	
	いわき	468	27.8	39.1	9.2	30.1	11.8	9.0	52.8	21.2	26.3	8.1	2.8	14.7	1.3	
	その他県外	10	-	10.0	-	30.0	20.0	-	30.0	-	10.0	20.0	-	30.0	-	
子どもの年齢別	0～3歳未満	415	24.3	42.7	7.2	25.8	9.9	7.2	53.0	22.2	22.2	10.8	2.2	21.0	0.7	
	3歳～小学校入学前	575	27.8	42.4	6.3	20.5	7.1	5.4	52.7	20.3	17.4	7.5	3.0	21.0	0.3	
	小学生（1～3年生）	591	32.7	43.8	8.1	21.0	5.9	5.6	56.7	21.3	16.8	5.6	3.2	19.1	0.5	
	小学生（4～6年生）	608	29.9	38.2	8.2	23.2	8.6	5.8	53.3	18.8	21.4	7.1	3.3	18.9	0.7	
	中学生	685	29.3	34.5	9.8	27.7	10.8	5.8	51.1	15.5	23.9	8.8	2.8	18.1	1.5	
	高校以上の学生	533	23.6	29.5	9.6	30.4	13.3	8.3	50.5	13.9	25.5	10.5	2.4	19.1	0.9	
	就職している	347	21.6	33.1	9.5	34.6	18.7	14.1	43.8	14.1	35.7	13.8	1.4	15.0	2.6	
	その他	54	25.9	35.2	20.4	29.6	24.1	18.5	40.7	14.8	37.0	16.7	-	18.5	1.9	
子どもの人数別	1人	430	25.6	36.5	7.7	30.9	10.7	7.2	55.3	22.3	27.4	10.0	2.6	19.5	0.7	
	2人	993	29.2	40.3	8.8	26.7	11.3	8.6	53.0	18.2	22.9	9.6	3.4	15.8	1.4	
	3人	537	27.4	35.9	9.1	23.5	12.1	7.6	49.3	15.6	22.5	8.6	2.4	21.0	0.7	
	4人以上	136	22.1	33.1	8.1	26.5	5.9	5.9	46.3	17.6	23.5	10.3	-	23.5	0.7	

居住地域別にみると、県北及び相双では「運動不足」と「外遊び・自然体験の不足」が、会津及びいわきは「震災体験が子どもの心に与える影響」が、県北・県中・いわきでは「子どもの健康」が、会津及び南会津は「震災後に不安を感じることによるストレス」が他の地域より多くなっている。

また、相双では「特に心配なことはない」は他の地区に比べ少なく、全体的に心配なことが多い傾向にあり、「子どもの健康」、「家庭や保育所等での食材の安全性」、「特に心配なことはない」以外の全ての項目で全体平均を上回っている。特に、「友達関係の変化」や「生活習慣の乱れ」は全体平均の約2倍となっている。

子どもの年齢別にみると、「外遊び・自然体験の不足」、「子どもの健康」、「家庭や保育所等での食材の安全性」は年齢が下がるほど概ね多くなり、小学生（1～3年生）以下で「外遊び・自然体験の不足」が4割台、小学生（4～6年生）以下で「子どもの健康」が5割以上、「家庭や保育所等での食材の安全性」が約2割と他の年齢より多くなっている。

「運動不足」は小学生～中学生で約3割、中学生以上では「震災体験が子どもの心に与える影響」が約3割と他の年齢より多くなっている。

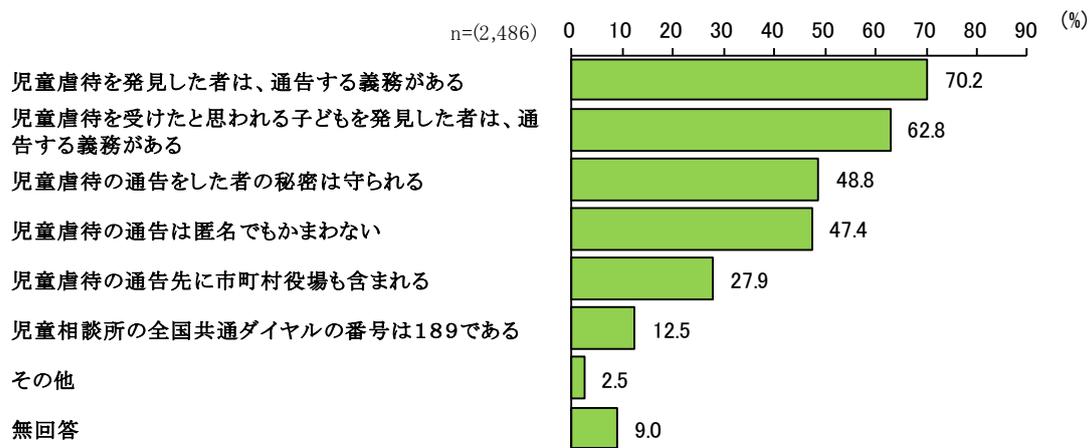
また、就職している子どもでは「震災後に不安を感じることによるストレス」（35.7%）が多くなっている。

子どもの人数別にみると、人数が少ないほど「子どもの健康」は多くなり、人数が多いほど「特に心配なことはない」は多くなっている。

Ⅲ 調査結果

(5) 児童虐待について知っていること

問25 あなたが、児童虐待について知っていることはどのようなことですか。
(あてはまる番号のすべてに○をつけてください。)



児童虐待について知っていることについては、「児童虐待を発見した者は、通告する義務がある」が70.2%と最も多く、以下、「児童虐待を受けたと思われる子どもを発見した者は、通告する義務がある」(62.8%)、「児童虐待の通告をした者の秘密は守られる」(48.8%)、「児童虐待の通告は匿名でもかまわない」(47.4%)などとなり、3位以下の認知度は半数以下となっている。

【子どもの有無別、性別、年齢別】

		(%)								
		調査数 (件)	は、児童虐待を 通告する義務 がある者	は、児童虐待を 受けたと思わ れる子どもを 発見した者	も児童虐待の 通告は匿名で かまわない	の児童虐待は 守られる	村児童虐待の 通告先に市町 役場も含まれる	ある児童相談 所の番号は全 国共通でダ イヤル	その他	無回答
全 体		2,486	70.2	62.8	47.4	48.8	27.9	12.5	2.5	9.0
子 ど も の 有 無 別	子どもあり	1,918	70.7	63.7	48.6	49.5	27.0	12.8	2.4	8.1
	子どもなし(既婚)	308	71.4	60.1	44.5	51.3	34.1	13.6	2.9	8.1
	子どもなし(未婚)	260	65.0	58.8	42.3	40.8	27.3	8.8	2.7	16.2
性 別	男性	779	65.3	55.5	40.8	43.4	30.6	10.1	3.1	10.8
	女性	1,702	72.3	66.0	50.4	51.2	26.7	13.6	2.2	8.2
年 齢 別	20歳未満	1	100.0	100.0	-	-	-	-	-	-
	20～29歳	243	67.9	64.6	48.6	49.4	28.4	13.2	0.8	15.2
	30～39歳	814	72.6	64.7	53.3	50.6	26.5	13.1	2.6	7.4
	40～49歳	966	72.8	64.5	47.0	48.6	27.0	12.1	2.3	7.8
	50～59歳	347	63.4	57.1	37.5	45.2	31.1	13.3	2.6	12.4
	60歳以上	84	48.8	39.3	35.7	45.2	36.9	10.7	8.3	7.1

子どもの有無別にみると、子どもあり及び子どもなし(既婚)では「児童虐待を発見した者は、通告する義務がある」が約7割、「児童虐待を受けたと思われる子どもを発見した者は、通告する義務がある」が約6割、「児童虐待の通告をした者の秘密は守られる」が約5割と、子どもなし(未婚)より多くなっている。子どもなし(既婚)では「児童虐待の通告先に市町村役場も含まれる」(34.1%)が他の家庭より多くなっている。

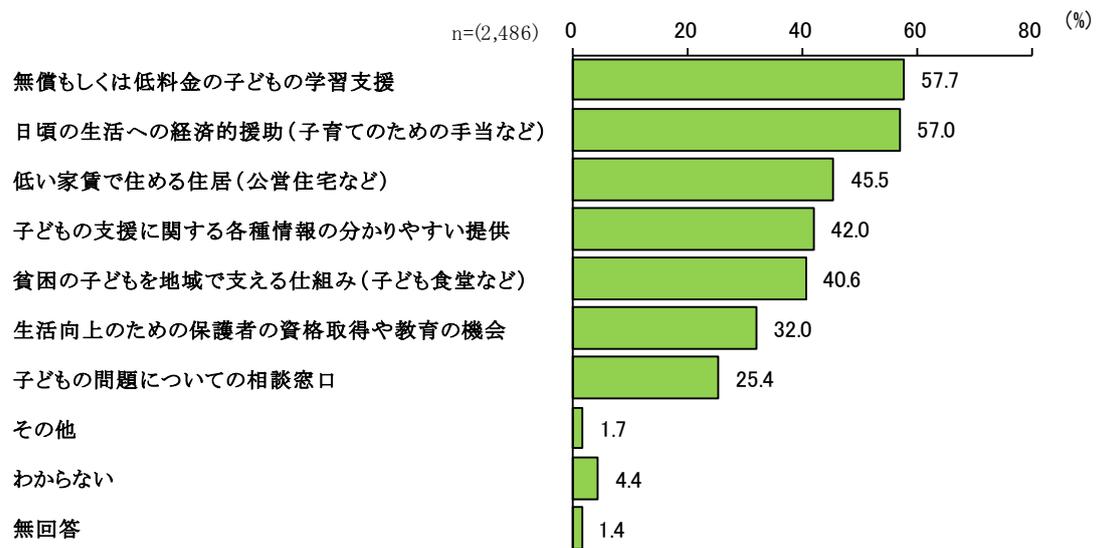
性別にみると、女性は「児童虐待を発見した者は、通告する義務がある」(72.3%)、「児童虐待を受けたと思われる子どもを発見した者は、通告する義務がある」(66.0%)、「児童虐待の通告は匿名でもかまわない」(50.4%)、「児童虐待の通告をした者の秘密は守られる」(51.2%)が男性より多くなっている。

年齢別にみると、30～49歳では「児童虐待を発見した者は、通告する義務がある」が約7割と他の年齢より多くなっている。20～49歳では「児童虐待を受けたと思われる子どもを発見した者は、通告する義務がある」が6割半ばと、20～39歳では「児童虐待の通告は匿名でもかまわない」と「児童虐待の通告をした者の秘密は守られる」が5割前後と他の年齢より多くなっている。

Ⅲ 調査結果

(6) 子どもの貧困対策のため充実が必要なこと

問26 あなたが、子どもの貧困対策のため充実が必要と思うことはどのようなことですか。
(あてはまる番号のすべてに○をつけてください。)



子どもの貧困対策のため充実が必要なことについては、「無償もしくは低料金の子どもの学習支援」(57.7%)と「日頃の生活への経済的援助(子育てのための手当など)」(57.0%)が約6割と多く、以下、「低い家賃で住める住居(公営住宅など)」(45.5%)、「子どもの支援に関する各種情報の分かりやすい提供」(42.0%)などとなっている。

【子どもの有無別、子どもの年齢別】

		調査数(件)	い各種情報提供	子どもの支援に関する	手当日頃(子育てのための経済的)	援助(子育てのための経済的)	食支貧困(子どもの生活への経済的)	支える仕組み(子どもを地域で)	子どもの学習支援	無償もしくは低料金の	(低家賃で住める住居(公営住宅など))	機会者の生活向上のための教育の保護	子どもの問題について	その他	わからない	無回答
全体		2,486	42.0	57.0	40.6	57.7	45.5	32.0	25.4	1.7	4.4	1.4				
有無別	子どもあり	1,918	41.4	60.1	40.5	60.1	45.6	32.0	24.0	1.5	3.6	1.0				
	子どもなし(既婚)	308	44.2	48.1	41.9	53.9	46.8	31.5	31.5	2.9	5.2	1.6				
	子どもなし(未婚)	260	43.5	45.0	39.6	44.6	43.5	32.7	28.5	1.5	9.6	4.2				
子どもの年齢別	0～3歳未満	415	42.2	65.8	44.8	62.4	48.7	31.8	23.4	1.2	4.6	1.0				
	3歳～小学校入学前	575	41.7	62.1	44.3	61.2	45.7	33.0	24.0	2.3	3.5	0.9				
	小学生(1～3年生)	591	44.5	60.6	39.4	62.4	43.1	33.2	22.7	1.4	3.2	0.8				
	小学生(4～6年生)	608	39.3	58.9	38.3	59.5	44.7	31.9	23.0	1.0	4.1	0.7				
	中学生	685	39.0	61.6	38.4	59.9	43.9	31.1	21.9	1.2	3.5	1.0				
	高校以上の学生	533	39.8	57.8	34.3	56.7	43.0	30.6	23.5	2.3	3.2	0.9				
	就職している	347	42.9	47.0	38.3	53.0	45.8	30.3	27.4	2.6	4.6	2.0				
	その他	54	50.0	46.3	37.0	59.3	46.3	25.9	31.5	1.9	1.9	3.7				

子どもの有無別にみると、子どもありでは「日頃の生活への経済的援助(子育てのための手当など)」と「無償もしくは低料金の子どもの学習支援」が約6割と子どもなしより多くなっている。子どもなしでは「子どもの問題についての相談窓口」が約3割と子どもありよりやや多くなっている。

子どもの年齢別にみると、0～3歳未満では「日頃の生活への経済的援助(子育てのための手当など)」(65.8%)、「低い家賃で住める住居(公営住宅など)」(48.7%)が他の年齢より多くなっている。また、小学校入学前以下で「貧困の子どもを地域で支える仕組み(子ども食堂など)」が4割台、小学生(1～3年生)以下で「無償もしくは低料金の子どもの学習支援」が6割台と、低い年齢で比較的多くなっている。

【経済的な生活状況別、子どもの人数別、ひとり親世帯の状況別】

		調査数(件)	い各種情報提供	子どもの支援に関する	手当日頃(子育てのための経済的)	援助(子育てのための経済的)	食支貧困(子どもの生活への経済的)	支える仕組み(子どもを地域で)	子どもの学習支援	無償もしくは低料金の	(低家賃で住める住居(公営住宅など))	機会者の生活向上のための教育の保護	子どもの問題について	その他	わからない	無回答
全体		2,486	42.0	57.0	40.6	57.7	45.5	32.0	25.4	1.7	4.4	1.4				
生活状況別	ゆとりがある	103	46.6	35.9	42.7	56.3	33.0	35.0	32.0	2.9	5.8	2.9				
	ややゆとりがある	256	38.3	44.1	43.0	48.4	43.0	35.9	27.7	1.2	4.3	0.8				
	ふつう	1,105	40.9	53.5	41.3	53.8	42.0	30.4	26.0	1.4	4.5	1.4				
	やや苦しい	611	43.5	62.7	39.9	63.2	48.1	32.4	25.2	1.8	5.1	1.3				
	苦しい	389	44.5	73.5	38.0	67.4	55.5	32.9	20.8	2.6	2.8	1.0				
子どもの人数別	1人	430	46.7	61.2	45.8	60.0	50.9	34.2	29.5	1.2	3.3	0.5				
	2人	993	42.1	56.8	41.3	57.8	45.3	32.0	24.8	1.5	4.2	1.3				
	3人	537	38.9	58.8	37.8	59.0	43.6	30.5	22.7	2.0	3.2	1.1				
	4人以上	136	37.5	64.7	34.6	66.2	42.6	28.7	16.9	1.5	3.7	0.7				
世帯の状況別	ひとり親世帯	268	43.3	66.0	39.9	63.4	54.5	35.8	19.4	1.1	1.9	1.1				
	それ以外の世帯	2,218	41.8	56.0	40.7	57.0	44.4	31.6	26.1	1.8	4.7	1.4				

Ⅲ 調査結果

経済的な生活状況別にみると、やや苦しい及び苦しいでは「日頃の生活への経済的援助（子育てのための手当など）」、「無償もしくは低料金の子どもの学習支援」、「低い家賃で住める住居（公営住宅など）」が他より多くなっているが、「貧困の子どもの地域を支える仕組み」と「子どもの問題についての相談窓口」は全体平均をやや下回っている。

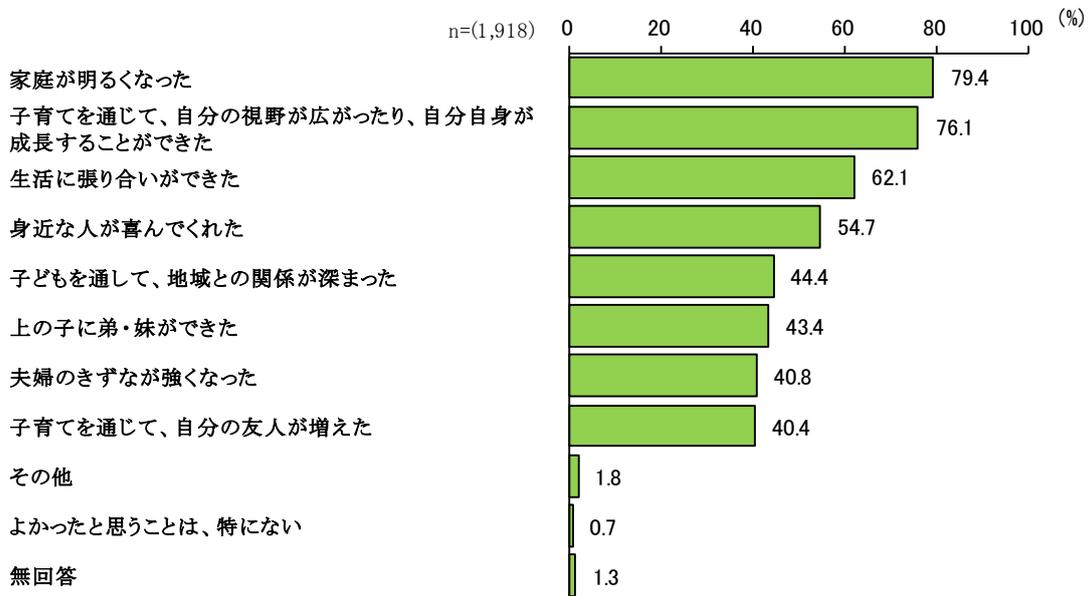
子どもの人数別にみると、子どもの人数が少ないほど「日頃の生活の経済的支援」と「無償もしくは低料金の子どもの学習支援」以外の項目で多くなっている。

ひとり親世帯の状況別にみると、ひとり親世帯では「貧困の子どもの地域を支える仕組み」と「子どもの問題についての相談窓口」以外の項目でそれ以外の世帯より多くなっている。

4. あなたの子育てに関する考えについて ※子どもがいる方

(1) 子どもがいてよかったと思うこと

問28 あなたは、子どもがいてよかったと思うことは、どのようなことですか。
 (あてはまる番号のすべてに○をつけてください。ただし、「よかったと思うことは、特にない」を選んだ方は他に○をつけしないでください。)



子どもがいてよかったと思うことについては、「家庭が明るくなった」(79.4%)と「子育てを通じて、自分の視野が広がったり、自分自身が成長することができた」(76.1%)が7割台と多く、以下、「生活に張り合いができた」(62.1%)、「身近な人が喜んでくれた」(54.7%)などとなっている。

Ⅲ 調査結果

【性別、年齢別、子どもの人数別、子どもの年齢別】

		調査数 (件)	家庭が 明るくな った	身近な 人が喜ん でくれた	生活に 張り合い ができた	夫婦の きずなが 強くな った	子ども を通して 、地域 との関係 が深ま った	自分の 視野が 広が ったり 、自分 自身が 成長 する こと が でき た	子育て を通じ て、自 分の 友人 が増 えた	上の 子に 弟・妹 が でき た	その他	よ か つ た と 思 う こ と は 、 特 に な い	無 回 答
全 体		1,918	79.4	54.7	62.1	40.8	44.4	76.1	40.4	43.4	1.8	0.7	1.3
性別	男性	545	81.1	48.6	65.7	46.4	45.0	68.4	28.1	36.1	0.9	0.7	1.5
	女性	1,369	78.7	57.3	60.8	38.6	44.2	79.2	45.3	46.3	2.2	0.7	1.2
年齢別	20歳未満	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	20～29歳	109	82.6	67.0	48.6	40.4	36.7	75.2	28.4	46.8	1.8	0.9	3.7
	30～39歳	684	82.7	59.2	55.6	41.4	40.6	75.3	37.4	50.1	2.0	0.9	0.3
	40～49歳	891	77.4	51.5	65.9	40.2	46.1	77.8	44.8	41.0	1.9	0.4	1.2
	50～59歳	182	75.3	49.5	73.6	45.6	54.4	74.7	39.6	31.9	1.1	0.5	2.2
	60歳以上	27	77.8	48.1	88.9	33.3	51.9	66.7	18.5	22.2	-	3.7	7.4
子どもの 人数別	1人	402	78.1	64.7	67.7	38.1	35.1	73.9	29.9	1.7	1.0	0.7	1.7
	2人	899	80.0	56.2	61.3	41.4	44.5	76.3	42.5	58.4	1.8	0.8	1.1
	3人	476	79.4	47.3	60.3	43.1	50.4	77.5	43.9	49.4	2.3	0.4	1.1
	4人以上	128	80.5	43.8	59.4	39.1	53.1	78.1	46.9	48.4	2.3	-	0.8
子どもの 年齢別	0～3歳未満	415	85.1	66.0	55.9	47.7	37.3	74.0	29.9	54.2	1.4	0.5	1.4
	3歳～小学校入学前	575	85.9	60.7	55.1	44.5	44.3	76.0	38.8	57.6	2.8	0.3	0.7
	小学生（1～3年生）	591	80.0	57.2	58.0	41.6	48.7	77.7	47.2	53.0	1.7	0.2	0.2
	小学生（4～6年生）	608	78.5	51.6	59.9	41.0	49.8	77.5	45.2	48.2	2.1	0.8	0.5
	中学生	685	76.4	45.1	64.2	36.9	46.0	77.5	45.3	43.9	2.0	0.4	1.5
	高校以上の学生	533	75.2	45.6	68.7	39.2	48.6	78.8	45.0	40.0	1.7	0.9	0.9
	就職している	158	72.8	38.0	62.0	36.1	47.5	72.8	39.9	38.6	1.3	1.3	1.9
	その他	32	68.8	34.4	75.0	37.5	40.6	65.6	18.8	28.1	-	-	9.4

性別にみると、男性は「生活に張り合いができた」（65.7%）と「夫婦のきずなが強くなった」（46.4%）が女性より多くなっており、女性は「子育てを通じて、自分の視野が広がったり、自分自身が成長することができた」（79.2%）、「身近な人が喜んでくれた」（57.3%）、「子育てを通じて、自分の友人が増えた」（45.3%）、「上の子に弟・妹ができた」（46.3%）が男性より多くなっている。

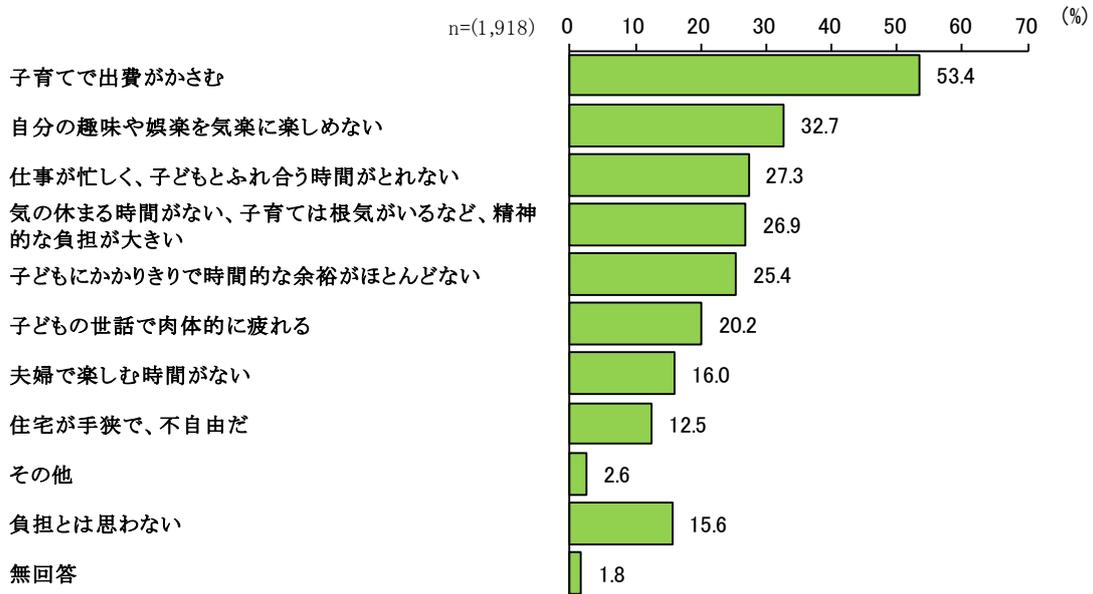
年齢別にみると、年齢が下がるほど「身近な人が喜んでくれた」が多くなり、「生活に張り合いができた」と「子どもを通して、地域との関係が深まった」は年齢が上がるほど概ね多くなっている。また、20～39歳では「家庭が明るくなった」が約8割、「上の子に弟・妹ができた」が約5割と他の年齢より多く、40～49歳では「子育てを通じて、自分の視野が広がったり、自分自身が成長することができた」（77.8%）、「子育てを通じて、自分の友人が増えた」（44.8%）が他の年齢を上回っている。

子どもの人数別にみると、子どもの人数が少なくなるほど「身近な人が喜んでくれた」と「生活に張り合いができた」は多くなり、子どもの人数が多くなるほど「子どもを通して、地域との関係が深まった」と「子育てを通じて、自分の友人が増えた」は多くなっている。

子どもの年齢別にみると、子どもの年齢が下がるほど「家庭が明るくなった」、「身近な人が喜んでくれた」、「夫婦のきずなが強くなった」は多くなり、子どもの年齢が上がるほど「生活に張り合いができた」は多くなっている。「子どもを通して、地域との関係が深まった」、「子育てを通じて、自分の視野が広がったり、自分自身が成長することができた」、「子育てを通じて、自分の友人が増えた」は小学生1年生～高校以上の学生で比較的多く、社会的なつながりや自身の成長にプラス面を感じている。

(2) 子どもがいて負担に思うこと

問29 あなたは、子どもがいて負担に思うことはどのようなことですか。
 (あてはまる番号のすべてに○をつけてください。ただし、「負担とは思わない」を選んだ方は他に○をつけしないでください。)



子どもがいて負担に思うことについては、「子育てで出費がかさむ」が53.4%と最も多く、以下、「自分の趣味や娯楽を気楽に楽しめない」(32.7%)、「仕事が忙しく、子どもとふれ合う時間がとれない」(27.3%)、「気の休まる時間がない、子育ては根気があるなど、精神的な負担が大きい」(26.9%)、「子どもにかかりきりで時間的な余裕がほとんどない」(25.4%)などとなっている。

Ⅲ 調査結果

【性別、年齢別、子どもの人数別、子どもの年齢別】

		調査数 (件)	子どもにかかりきりで時間的な余裕がほとんどない	夫婦で楽しむ時間がない	自分の趣味や娯楽を気楽に楽しめない	気が休まる時間がない、子育ては根気がいるなど、精神的な負担が大きい	子どもの世話で肉体的に疲れる	子育てで出費がかさむ	仕事やふれ合う時間がとれない	住宅が手狭で、不自由	その他	負担とは思わない	無回答
全体		1,918	25.4	16.0	32.7	26.9	20.2	53.4	27.3	12.5	2.6	15.6	1.8
性別	男性	545	18.2	24.0	31.2	16.1	11.4	51.7	27.9	10.3	1.7	18.5	2.8
	女性	1,369	28.3	12.9	33.5	31.3	23.7	54.1	27.1	13.3	3.0	14.5	1.4
年齢別	20歳未満	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	20～29歳	109	40.4	27.5	46.8	43.1	29.4	54.1	26.6	17.4	1.8	12.8	3.7
	30～39歳	684	32.6	22.5	40.6	33.8	25.6	54.7	32.9	14.6	2.9	10.2	0.3
	40～49歳	891	21.5	12.2	27.3	23.0	17.6	53.8	25.4	11.9	2.4	18.1	1.8
	50～59歳	182	12.6	5.5	24.2	14.8	8.8	48.4	16.5	7.1	2.7	24.7	4.9
	60歳以上	27	11.1	7.4	22.2	14.8	14.8	44.4	14.8	-	7.4	22.2	7.4
子どもの人数別	1人	402	23.1	15.9	36.6	28.9	23.6	41.5	29.1	12.2	3.5	16.7	2.0
	2人	899	26.0	15.5	32.4	27.8	21.6	52.3	26.3	10.8	2.3	15.9	1.7
	3人	476	25.4	16.0	31.1	24.8	15.3	62.8	28.4	14.9	1.9	14.5	1.5
	4人以上	128	28.1	20.3	31.3	21.9	17.2	64.8	24.2	16.4	4.7	14.8	0.8
子どもの年齢別	0～3歳未満	415	39.5	30.6	48.9	38.3	33.5	47.2	29.2	15.9	3.9	8.9	1.4
	3歳～小学校入学前	575	36.3	23.8	42.8	33.4	28.7	50.4	34.1	15.1	2.3	11.8	0.5
	小学生（1～3年生）	591	32.8	18.1	36.9	32.0	23.9	56.9	34.2	14.9	2.5	11.5	0.3
	小学生（4～6年生）	608	25.0	14.0	28.8	24.0	18.3	59.7	27.8	14.1	2.5	15.8	1.3
	中学生	685	17.7	9.2	23.8	21.8	12.7	59.4	23.8	13.4	2.8	19.1	2.2
	高校以上の学生	533	14.8	8.8	23.1	17.1	8.3	61.4	19.3	8.3	1.9	19.9	1.3
	就職している	158	11.4	5.7	20.3	9.5	7.0	57.0	16.5	7.0	1.9	23.4	3.2
	その他	32	-	12.5	28.1	3.1	6.3	37.5	18.8	6.3	3.1	25.0	15.6

性別にみると、男性は「夫婦で楽しむ時間がない」（24.0%）が女性より多く、女性は「子どもにかかりきりで時間的な余裕がほとんどない」と「気の休まる時間がない、子育ては根気がいるなど、精神的な負担が大きい」が約3割、「子どもの世話で肉体的に疲れる」が2割と男性より多くなっている。

年齢別にみると、いずれの項目も年齢が下がるほど概ね多くなるが、「子育てで出費がかさむ」、「仕事が忙しく、子どもとふれ合う時間がとれない」は30～39歳で他の年齢より多くなっている。

一方、50代以上では「負担とは思わない」が2割台と他の年齢より多くなっている。

子どもの人数別にみると、子どもの人数が少なくなるほど「自分の趣味や娯楽を気楽に楽しめない」と「気の休まる時間がない、子育ては根気がいるなど、精神的な負担が大きい」は多くなっている。

一方、人数が多くなるほど「子育てで出費がかさむ」は多くなり、3人以上では6割台となっている。

子どもの年齢別にみると、子どもの年齢が下がるほど「子どもにかかりきりで時間的な余裕がほとんどない」、「夫婦で楽しむ時間がない」、「自分の趣味や娯楽を気楽に楽しめない」、「気の休まる時間がない、子育ては根気がいるなど、精神的な負担が大きい」、「子どもの世話で肉体的に疲れる」は多くなり、特に0～3歳未満が他の年齢より多くなっている。3歳～小学生（1～3年生）では「仕事が忙しく、子どもとふれ合う時間がとれない」が3割半ばと、小学生（4～6年生）～高校以上の学生では「子育てで出費がかさむ」が約6割と他の年齢より多くなっている。

【子どもの人数別、経済的な生活状況別、親との同居状況別、職業別】

		調査数 (件)	子どもの時間的な余裕がほとんどない	夫婦で楽しむ時間がない	自分の趣味や娯楽を気軽に楽しめない	気が休まる時間がない、子育ては根気がいるなど、精神的負担が大きい	子どもの世話で肉体的に疲れる	子育てで出費がかさむ	仕事やふれ合う時間がとれない	住宅が手狭で、不自由	その他	負担とは思わない	無回答
全体		1,918	25.4	16.0	32.7	26.9	20.2	53.4	27.3	12.5	2.6	15.6	1.8
生活状況別	ゆとりがある	74	31.1	20.3	40.5	23.0	16.2	17.6	29.7	1.4	1.4	27.0	2.7
	ややゆとりがある	190	23.7	19.5	35.3	25.8	17.9	36.8	29.5	3.7	2.6	17.4	2.1
	ふつう	826	22.5	14.2	30.9	24.5	19.1	43.9	27.2	8.6	2.5	19.6	1.8
	やや苦しい	491	26.3	16.9	32.2	26.1	20.0	67.0	24.6	14.1	2.4	12.2	1.2
	苦しい	324	30.6	15.7	35.2	35.5	24.7	75.0	29.6	27.8	3.4	7.7	1.5
同居状況別	親と同居	691	23.0	16.8	31.3	23.2	16.5	52.8	27.5	9.6	2.2	18.2	1.3
	親と別居（同市町村に居住）	725	28.3	15.3	35.3	30.2	25.1	54.9	29.0	14.9	2.3	13.4	1.5
	親と別居（他市町村に居住）	408	26.5	17.2	32.4	27.9	19.1	51.5	25.0	13.5	3.9	15.4	1.5
	現在、親はいない	73	15.1	9.6	24.7	24.7	13.7	54.8	17.8	11.0	2.7	16.4	6.8
職業別	正規雇用×正規雇用	578	28.9	19.7	36.0	25.3	20.4	48.8	41.3	10.6	2.1	13.3	0.9
	正規雇用×非正規職員	542	24.5	15.1	33.2	28.8	19.2	60.0	22.5	15.3	2.0	14.4	1.5
	正規雇用×自営業	57	24.6	24.6	33.3	26.3	19.3	40.4	31.6	12.3	3.5	22.8	-
	正規雇用×専業主婦	275	21.5	19.6	33.8	29.1	22.5	50.2	9.8	9.5	4.4	19.3	2.2
	非正規職員×非正規職員	35	22.9	25.7	37.1	25.7	25.7	62.9	34.3	5.7	2.9	14.3	-
	非正規職員×自営業	38	26.3	18.4	28.9	18.4	7.9	57.9	18.4	15.8	2.6	15.8	2.6
	非正規職員×専業主婦	23	30.4	13.0	17.4	34.8	17.4	60.9	-	21.7	-	21.7	4.3
	自営業×自営業	98	24.5	16.3	27.6	28.6	24.5	50.0	24.5	5.1	2.0	19.4	2.0
	自営業×専業主婦	29	17.2	17.2	34.5	20.7	17.2	37.9	6.9	6.9	10.3	24.1	6.9
	専業主婦×専業主婦	8	-	-	-	-	-	12.5	-	-	12.5	50.0	25.0
	【配偶者なし】正規雇用	111	23.4	0.9	25.2	20.7	16.2	55.9	32.4	13.5	0.9	18.0	0.9
	【配偶者なし】非正規職員	80	25.0	1.3	30.0	30.0	25.0	61.3	35.0	26.3	1.3	10.0	3.8
	【配偶者なし】自営業	14	14.3	-	7.1	14.3	7.1	42.9	14.3	-	7.1	21.4	14.3
【配偶者なし】専業主婦	18	44.4	-	38.9	38.9	22.2	77.8	16.7	22.2	11.1	-	-	

経済的な生活状況別にみると、苦しいと感じるほど「夫婦で楽しむ時間がない」、「負担とは思わない」以外の項目で多くなっている。

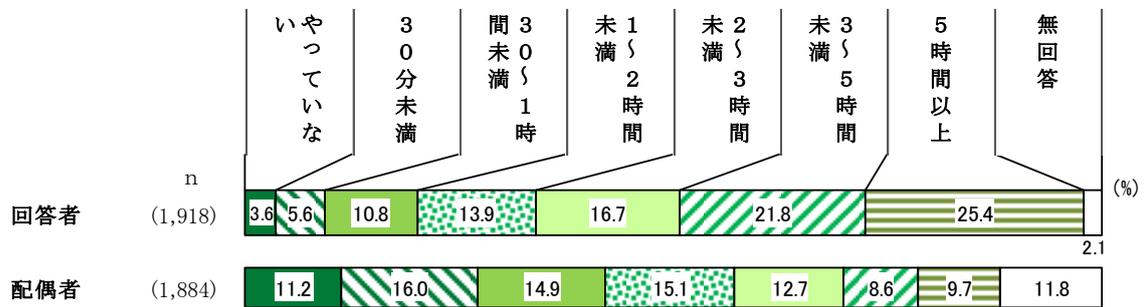
親との同居状況別にみると、「子どもにかかりきりで時間的な余裕がほとんどない」、「自分の趣味や娯楽を気軽に楽しめない」、「気の休まる時間がない、子育ては根気がいるなど、精神的負担が大きい」、「子どもの世話で肉体的に疲れる」、「住宅が手狭で、不自由だ」は親と別居（同市町村・他市町村に居住）が親と同居を上回っている。

職業別にみると、正規雇用×正規雇用では「仕事が忙しく、子どもとふれ合う時間がとれない」が、非正規職員×非正規職員では「夫婦で楽しむ時間がない」、「自分の趣味や娯楽を気軽に楽しめない」、「子どもの世話で肉体的に疲れる」、「子育てで出費がかさむ」が他より多くなっている。

Ⅲ 調査結果

(3) 家事・子育てにかかる時間（平日）

問30 あなた、およびあなたの配偶者は、平日、家事や子育てにかけている時間は、平均してどのくらいありますか。（それぞれ、あてはまる番号に○をつけてください。）



平日、家事・子育てにかかる時間については、回答者では「5時間以上」が25.4%と最も多く、以下、「3～5時間未満」（21.8%）、「2～3時間未満」（16.7%）、「1～2時間未満」（13.9%）となっている。

配偶者では「30分未満」（16.0%）、「1～2時間未満」（15.1%）、「30～1時間未満」（14.9%）など『2時間未満』が多くなっており、「やっていない」も11.2%と回答者を上回っている。

【回答者の平日、家事・子育てにかかる時間：回答者の性・年齢別、子どもの年齢別、職業別】

		調査数 (件)	やっていない	30分未満	未30分 1時間	満1 2時間未	満2 3時間未	満3 5時間未	5時間以上	無回答
全体		1,918	3.6	5.6	10.8	13.9	16.7	21.8	25.4	2.1
回答者の性・年齢別	【男性】20歳未満	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	【男性】20～29歳	12	-	16.7	25.0	25.0	16.7	16.7	-	-
	【男性】30～39歳	157	7.0	14.0	21.0	29.3	14.6	11.5	1.3	1.3
	【男性】40～49歳	260	14.2	15.4	36.2	18.5	11.5	2.3	0.8	1.2
	【男性】50～59歳	86	12.8	26.7	30.2	20.9	3.5	-	1.2	4.7
	【男性】60歳以上	23	13.0	13.0	21.7	47.8	-	-	-	4.3
	【女性】20歳未満	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	【女性】20～29歳	96	-	-	4.2	8.3	10.4	21.9	49.0	6.3
	【女性】30～39歳	527	-	0.2	2.5	8.7	16.9	29.0	41.6	1.1
	【女性】40～49歳	631	0.8	1.7	3.5	10.8	21.9	29.3	29.6	2.4
	【女性】50～59歳	96	3.1	2.1	4.2	12.5	22.9	29.2	24.0	2.1
	【女性】60歳以上	4	-	25.0	50.0	-	-	-	25.0	-
子どもの年齢別	0～3歳未満	415	1.9	2.7	7.5	12.5	13.3	19.8	39.5	2.9
	3歳～小学校入学前	575	1.6	3.0	8.3	13.9	16.0	24.0	31.5	1.7
	小学生（1～3年生）	591	1.9	5.6	9.6	11.3	16.1	24.0	30.3	1.2
	小学生（4～6年生）	608	3.0	4.9	12.3	13.3	15.8	24.2	25.5	1.0
	中学生	685	3.9	6.1	11.7	12.7	19.6	22.6	21.3	2.0
	高校以上の学生	533	7.5	9.4	14.1	14.8	18.6	19.7	14.8	1.1
	就職している	158	9.5	11.4	16.5	13.3	19.0	16.5	11.4	2.5
	その他	32	9.4	12.5	12.5	15.6	9.4	6.3	18.8	15.6
職業別	正規雇用の従業員（公務員含む）	990	5.4	7.6	16.2	19.3	18.6	18.9	12.8	1.3
	非正規職員	512	1.0	1.4	4.7	9.8	18.6	29.3	33.8	1.6
	自営業主・家族従業員	154	5.8	12.3	11.7	13.0	14.3	16.9	20.8	5.2
	専業主婦（主夫）、無職、学生、その他	249	1.2	2.4	2.0	1.6	7.2	21.3	61.8	2.4

回答者の平日、家事・子育てにかかる時間を回答者の性・年齢別にみると、男性は「2時間未満」が女性より多くなっており、特に男性40～59歳では「30～1時間未満」が3割台となっている。

一方、女性は「3時間以上」が男性より多く、女性20～39歳では「5時間以上」が4割台となっているが、女性40～59歳では「5時間以上」は2割台に留まり、「2～5時間未満」が多くなるなど、年齢が上がるにしたがい家事・子育てにかかる時間が短縮されている。

子どもの年齢別にみると、子どもの年齢が下がるほど「5時間以上」が多くなり、0～3歳未満では39.5%となっている。3歳～小学生（4～6年生）は「3～5時間未満」が2割半ばと、中学生以上は「2～3時間未満」が約2割と他の年齢より多くなっている。

職業別にみると、正規雇用では「1～2時間未満」が19.3%、非正規職員は「3～5時間未満」が29.3%と他の職業を上回っている。非正規職員、自営業、未就労者では「5時間以上」が最も多く、特に未就労者では61.8%と他の職業を大きく上回っている。

Ⅲ 調査結果

【配偶者の平日、家事・子育てにかかる時間：回答者の性・年齢別、子どもの年齢別、職業別】

		(%)								
		調査数 (件)	やっていない	30分未満	未30分 1時間	満1 2時間未	満2 3時間未	満3 5時間未	5時間以上	無回答
全体		1,884	11.2	16.0	14.9	15.1	12.7	8.6	9.7	11.8
回答者の性・年齢別	【男性】20歳未満	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	【男性】20～29歳	12	-	-	8.3	-	8.3	16.7	66.7	-
	【男性】30～39歳	157	-	-	1.3	8.9	17.8	17.2	49.0	5.7
	【男性】40～49歳	260	1.2	1.5	4.2	18.1	23.8	20.0	24.2	6.9
	【男性】50～59歳	86	4.7	3.5	5.8	23.3	24.4	15.1	16.3	7.0
	【男性】60歳以上	22	-	-	4.5	36.4	22.7	13.6	4.5	18.2
	【女性】20歳未満	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	【女性】20～29歳	89	9.0	11.2	13.5	15.7	14.6	10.1	1.1	24.7
	【女性】30～39歳	517	14.5	17.2	20.7	16.4	10.8	7.2	1.9	11.2
	【女性】40～49歳	619	16.3	27.1	18.7	13.2	7.8	2.7	1.0	13.1
	【女性】50～59歳	94	18.1	24.5	20.2	12.8	2.1	1.1	1.1	20.2
【女性】60歳以上	4	-	-	25.0	25.0	-	-	-	50.0	
子どもの年齢別	0～3歳未満	408	6.1	10.5	13.0	16.4	14.7	12.0	21.1	6.1
	3歳～小学校入学前	570	9.5	13.2	16.7	13.7	13.9	11.6	13.2	8.4
	小学生（1～3年生）	579	11.7	16.2	16.1	14.2	13.5	9.8	10.2	8.3
	小学生（4～6年生）	600	13.3	18.2	15.8	15.5	12.7	7.8	8.2	8.5
	中学生	674	13.1	20.0	14.1	14.4	12.2	6.8	7.0	12.5
	高校以上の学生	531	13.0	16.6	16.0	17.7	9.2	7.5	6.0	13.9
	就職している	157	13.4	14.6	14.0	16.6	10.8	7.6	6.4	16.6
	その他	32	6.3	15.6	6.3	18.8	3.1	9.4	15.6	25.0
職業別	正規雇用の従業員（公務員含む）	979	5.5	11.3	10.9	17.5	16.2	11.5	15.6	11.3
	非正規職員	499	18.6	20.8	20.0	13.0	7.0	4.2	1.8	14.4
	自営業主・家族従業員	153	9.8	8.5	15.7	15.7	15.7	12.4	11.8	10.5
	専業主婦（主夫）、無職、学生、その他	244	20.1	29.5	20.1	9.8	8.6	3.3	0.4	8.2

配偶者の平日、家事・子育てにかかる時間を回答者の性・年齢別にみると、男性は年齢が下がるほど「5時間以上」が多く、男性30～39歳では49.0%、男性20～29歳では66.7%となっている。男性50歳以上では「1～3時間」が多く2割以上となっている。

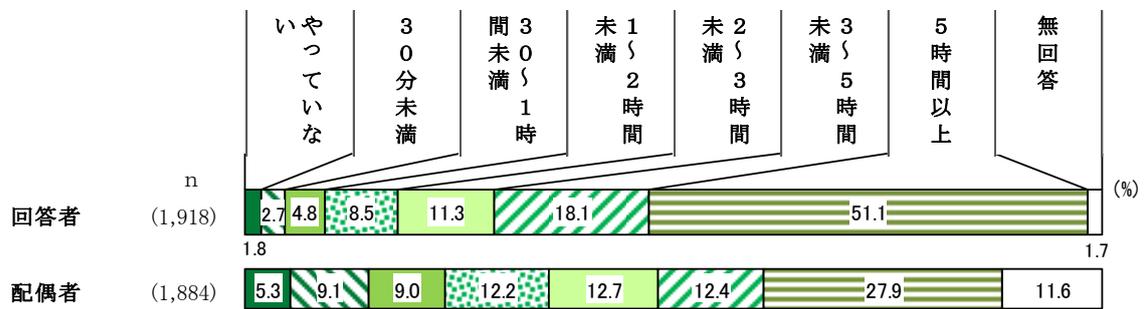
女性は年齢が上がるほど時間は少なくなり、女性20～29歳では「1～3時間未満」が1割半ばと最も多いが、女性30～39歳では「30～1時間未満」が約2割、女性40～59歳では「30分未満」が2割台となっている。

子どもの年齢別にみると、子どもの年齢が下がるほど「2時間以上」は多くなり、特に0～3歳未満では「5時間以上」が21.1%と他の年齢より多くなっている。

職業別にみると、正規雇用では「1～3時間未満」が、自営業では「30分～3時間未満」が多くなっているが、非正規職員と未就労者では「やっていない」、「30分未満」、「30分～1時間未満」が多く2～3割程度となっており、正規雇用と自営業より時間は少なくなっている。

(4) 家事・子育てにかかる時間（休日）

問31 あなた、およびあなたの配偶者は、休日、家事や子育てにかけている時間は、平均してどのくらいありますか。（それぞれ、あてはまる番号に○をつけてください。）



休日、家事・子育てにかかる時間については、回答者では「5時間以上」が51.1%を占め、平日を25.7ポイント上回っている。以下、「3～5時間未満」（18.1%）、「2～3時間未満」（11.3%）、「1～2時間未満」（8.5%）などとなっている。

配偶者では「5時間以上」が27.9%と最も多く、以下、「2～3時間未満」（12.7%）、「3～5時間未満」（12.4%）、「1～2時間未満」（12.2%）などとなっており、『3時間以上』が休日は40.3%と、平日（18.3%）を大きく上回っている。

Ⅲ 調査結果

【回答者の休日、家事・子育てにかかる時間：回答者の性・年齢別、子どもの年齢別】

		(%)								
		調査数 (件)	やっ つて いな い	3 0 分 未 満	3 0 分 ～ 1 時 間 未 満	1 時 間 ～ 2 時 間 未 満	2 時 間 ～ 3 時 間 未 満	3 時 間 ～ 5 時 間 未 満	5 時 間 以 上	無 回 答
全 体		1,918	1.8	2.7	4.8	8.5	11.3	18.1	51.1	1.7
回 答 者 の 性 ・ 年 齢 別	【男性】20歳未満	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	【男性】20～29歳	12	-	-	8.3	8.3	16.7	25.0	41.7	-
	【男性】30～39歳	157	2.5	3.8	10.8	8.3	17.8	20.4	35.0	1.3
	【男性】40～49歳	260	5.8	8.1	11.2	20.8	16.2	15.0	23.1	-
	【男性】50～59歳	86	5.8	15.1	20.9	19.8	17.4	7.0	8.1	5.8
	【男性】60歳以上	23	8.7	13.0	21.7	26.1	17.4	4.3	4.3	4.3
	【女性】20歳未満	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	【女性】20～29歳	96	-	-	2.1	3.1	3.1	7.3	79.2	5.2
	【女性】30～39歳	527	-	0.2	0.8	4.7	6.8	12.5	74.0	0.9
	【女性】40～49歳	631	0.5	0.6	1.6	5.5	11.1	26.0	53.1	1.6
	【女性】50～59歳	96	4.2	1.0	5.2	8.3	13.5	24.0	40.6	3.1
【女性】60歳以上	4	25.0	25.0	-	-	-	-	25.0	25.0	
子 ど も の 年 齢 別	0～3歳未満	415	0.7	0.5	1.7	5.5	8.4	10.6	70.4	2.2
	3歳～小学校入学前	575	0.3	1.4	2.6	5.6	7.3	14.1	67.7	1.0
	小学生（1～3年生）	591	0.5	1.0	3.2	6.8	8.8	17.9	60.4	1.4
	小学生（4～6年生）	608	0.7	2.0	4.1	9.2	13.5	18.1	51.3	1.2
	中学生	685	2.0	2.2	6.0	10.2	13.6	24.5	40.0	1.5
	高校以上の学生	533	4.5	4.9	8.4	12.9	16.7	21.2	30.6	0.8
	就職している	158	6.3	6.3	13.3	10.8	12.0	24.1	25.3	1.9
	その他	32	12.5	12.5	15.6	12.5	6.3	-	25.0	15.6

回答者の休日、家事・子育てにかかる時間を回答者の性・年齢別にみると、男性は年齢が下がるほど「3時間以上」が多くなり、男性20～29歳では「3～5時間未満」が25.0%、「5時間以上」は41.7%となっている。女性も年齢が下がるほど「5時間以上」は多くなり、女性20～39歳では7割以上となっている。女性40～59歳では「3～5時間未満」が2割半ばと他の年齢より多くなっている。

子どもの年齢別にみると、子どもの年齢が下がるほど「5時間以上」は多くなり、小学校入学前以下では約7割となっている。中学生以上では「3～5時間未満」が2割台と他の年齢より多くなっている。

【配偶者の休日、家事・子育てにかけ時間：回答者の性・年齢別、子どもの年齢別】

		調査数 (件)	や つ て い な い	3 0 分 未 満	3 0 分 ～ 1 時 間 未 満	1 時 間 ～ 2 時 間 未 満	2 時 間 ～ 3 時 間 未 満	3 時 間 ～ 5 時 間 未 満	5 時 間 以 上	無 回 答
全 体		1,884	5.3	9.1	9.0	12.2	12.7	12.4	27.9	11.6
回 答 者 の 性 ・ 年 齢 別	【男性】 20歳未満	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	【男性】 20～29歳	12	-	-	-	-	8.3	-	91.7	-
	【男性】 30～39歳	157	-	-	0.6	3.2	9.6	12.7	68.2	5.7
	【男性】 40～49歳	260	0.8	0.8	2.7	10.4	14.6	21.9	43.1	5.8
	【男性】 50～59歳	86	3.5	3.5	7.0	10.5	24.4	16.3	26.7	8.1
	【男性】 60歳以上	22	-	9.1	-	18.2	31.8	13.6	9.1	18.2
	【女性】 20歳未満	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	【女性】 20～29歳	89	3.4	3.4	5.6	10.1	6.7	12.4	32.6	25.8
	【女性】 30～39歳	517	5.6	8.5	9.5	11.6	13.5	11.6	28.6	11.0
	【女性】 40～49歳	619	7.1	15.5	14.4	16.0	10.7	10.2	13.6	12.6
	【女性】 50～59歳	94	16.0	16.0	12.8	14.9	12.8	2.1	5.3	20.2
	【女性】 60歳以上	4	25.0	-	-	25.0	-	-	-	50.0
子 ど も の 年 齢 別	0～3歳未満	408	2.0	3.9	5.6	7.4	9.8	12.0	53.7	5.6
	3歳～小学校入学前	570	2.8	5.6	7.2	10.9	11.1	13.9	40.4	8.2
	小学生（1～3年生）	579	5.4	7.9	8.6	12.6	11.6	13.6	31.8	8.5
	小学生（4～6年生）	600	5.5	10.7	11.3	11.8	14.5	13.7	23.8	8.7
	中学生	674	5.5	12.8	11.3	14.2	13.9	12.9	17.5	11.9
	高校以上の学生	531	7.5	13.7	11.5	15.8	14.1	10.4	13.2	13.7
	就職している	157	9.6	10.8	11.5	12.1	15.9	14.0	10.2	15.9
	その他	32	15.6	9.4	6.3	9.4	6.3	12.5	15.6	25.0

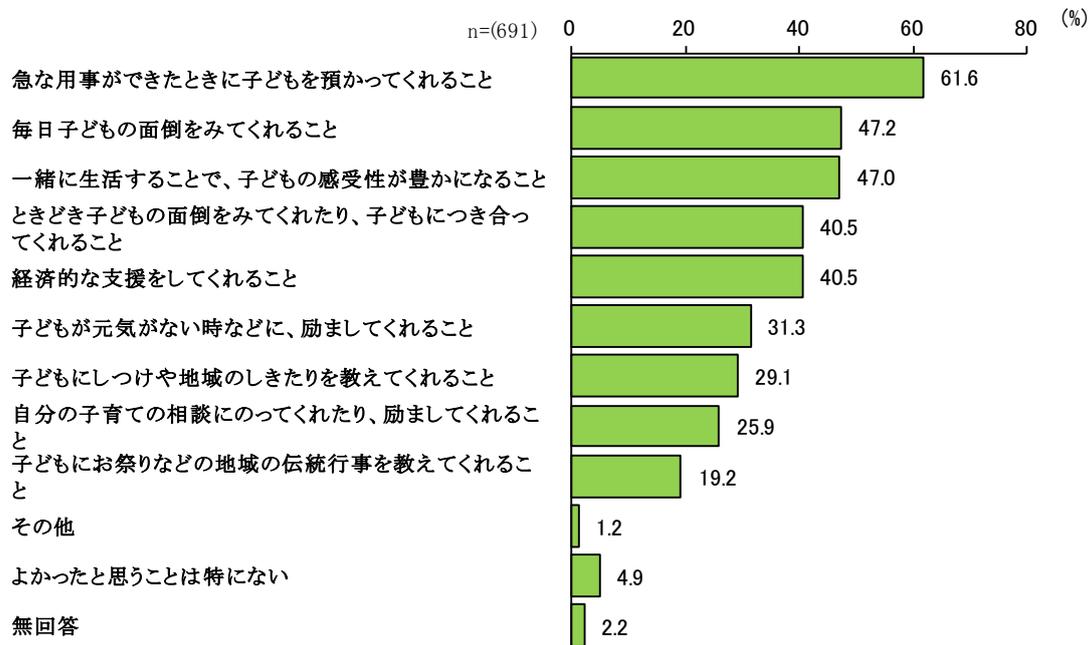
配偶者の休日、家事・子育てにかけ時間を回答者の性・年齢別にみると、男性・女性ともに年齢が下がるほど「5時間以上」は多くなり、女性20～29歳は32.6%と、男性20～29歳では約9割を占めている。男性50歳以上では「2～3時間未満」が2～3割と他の年齢より多くなっている。

子どもの年齢別にみると、子どもの年齢が下がるほど「5時間以上」は多くなり、3歳～小学校入学前では約4割、0～3歳未満では約5割となっている。

Ⅲ 調査結果

(5) 親と同居して良かったと思うこと ※親と同居している方

問32 あなたは、子育てするうえで、親と同居していて良かったと思うことはどんなことですか。(あてはまる番号のすべてに○をつけてください。ただし、「良かったと思うことは特にない」を選んだ方は他に○をつけしないでください。)



親と同居して良かったと思うことについては、「急な用事ができたときに子どもを預かってもらえること」が61.6%と最も多く、以下、「毎日子どもの面倒をみてくれること」(47.2%)、「一緒に生活することで、子どもの感受性が豊かになること」(47.0%)、「ときどき子どもの面倒をみてくれたり、子どもにつき合ってくれること」(40.5%)、「経済的な支援をしてもらえること」(40.5%) などとなっている。

【性別、年齢別、子どもの年齢別】

		調査数 (件)	毎日子どもの面倒をみ てくれること	ときどき子どもの面倒を みてくれたり、子どもに つき合ってくれること	ときどき子どもを預かっ てくれること	急な用事ができたときに 子どもを預かってくれる こと	一緒に生活することで、 子どもの感受性が豊か になること	地域の伝統行事を教え てくれること	子どもにお祭りなどの 行事を教えること	子どもに仕上げや地域 の行事を教えること	子どもが元気がない時 などに、励ましてくれ ること	自分の子育ての相談に のってくれたり、励まし てくれること	経済的な支援をして くれること	その他	よかつたと思うことは ない	無回 答
全体		691	47.2	40.5	61.6	47.0	19.2	29.1	31.3	25.9	40.5	1.2	4.9	2.2		
性別	男性	235	49.4	37.0	53.2	46.8	17.9	28.1	28.1	18.7	45.5	1.3	6.0	4.3		
	女性	454	46.0	42.5	66.1	46.9	19.8	29.5	32.8	29.5	37.9	1.1	4.4	1.1		
年齢別	20歳未満	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	20～29歳	39	41.0	59.0	76.9	46.2	15.4	28.2	30.8	46.2	38.5	-	-	2.6		
	30～39歳	226	49.1	42.5	69.0	48.2	18.6	27.4	37.2	28.8	38.9	0.9	4.0	1.8		
	40～49歳	330	47.3	37.6	58.5	45.5	20.6	30.9	29.1	23.3	41.5	1.2	6.7	1.2		
	50～59歳	81	43.2	35.8	48.1	44.4	19.8	28.4	24.7	17.3	39.5	1.2	3.7	6.2		
	60歳以上	6	83.3	50.0	50.0	83.3	16.7	16.7	33.3	33.3	50.0	-	-	-		
子どもの年齢別	0～3歳未満	133	49.6	43.6	68.4	51.9	15.8	27.8	30.1	34.6	38.3	1.5	1.5	0.8		
	3歳～小学校入学前	215	45.1	46.5	66.5	48.8	19.1	27.4	34.4	27.0	42.8	0.5	5.6	2.8		
	小学生（1～3年生）	208	45.2	41.8	66.3	46.6	21.2	32.2	35.1	27.4	37.5	-	5.8	2.4		
	小学生（4～6年生）	215	47.4	42.8	62.3	47.9	21.4	30.2	30.7	25.1	43.7	0.5	3.7	2.3		
	中学生	251	47.0	39.8	58.6	43.8	18.3	28.7	28.3	23.1	41.0	1.2	4.8	2.4		
	高校以上の学生	214	47.2	32.2	57.0	39.7	21.0	31.3	25.2	19.6	40.2	2.3	5.6	0.9		
	就職している	64	43.8	32.8	46.9	35.9	26.6	32.8	25.0	20.3	46.9	3.1	7.8	4.7		
	その他	16	25.0	31.3	62.5	31.3	6.3	12.5	25.0	12.5	12.5	-	18.8	12.5		

性別にみると、男性は「経済的な支援をしてくれること」が45.5%と女性より多い。女性は「急な用事ができたときに子どもを預かってくれること」（66.1%）、「ときどき子どもの面倒をみてくれたり、子どもにつき合ってくれること」（42.5%）、「子どもが元気がない時などに、励ましてくれること」（32.8%）、「自分の子育ての相談にのってくれたり、励ましてくれること」（29.5%）が男性より多くなっている。

年齢別にみると、年齢が下がるほど「急な用事ができたときに子どもを預かってくれること」は多くなり、20～29歳では76.9%となっている。

また、20～29歳は「ときどき子どもの面倒をみてくれたり、子どもにつき合ってくれること」（59.0%）、「自分の子育ての相談にのってくれたり、励ましてくれること」（46.2%）も他の年齢より多くなっている。30～39歳では「毎日子どもの面倒をみてくれること」（49.1%）、「一緒に生活することで、子どもの感受性が豊かになること」（48.2%）、「子どもが元気がない時などに、励ましてくれること」（37.2%）が他の年齢より多くなっている。

子どもの年齢別にみると、いずれの年齢も「急な用事ができたときに子どもを預かってくれること」が最も多く、子どもの年齢が下がるほど多くなり、0～3歳未満で約7割となっている。「一緒に生活することで、子どもの感受性が豊かになること」も子どもの年齢が下がるほど多くなり、0～3歳未満で51.9%となっている。

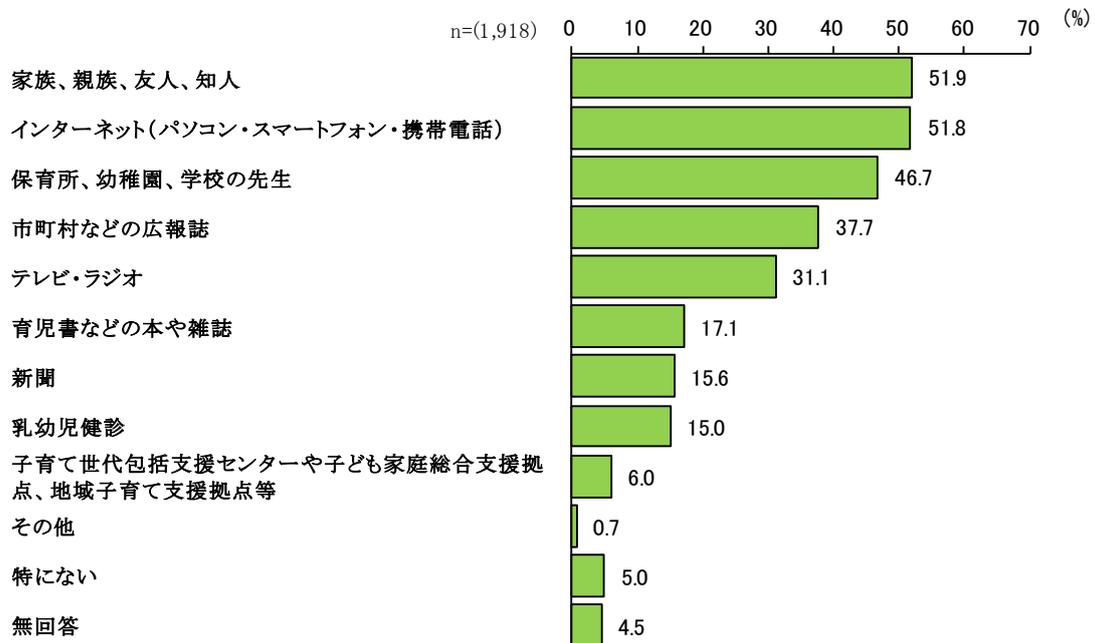
さらに、0～3歳未満は「自分の子育ての相談にのってくれたり、励ましてくれること」が34.6%と他の年齢より多くなっている。3歳～小学生（1～3年生）では「子どもが元気がない時などに、励ましてくれること」が3割半ばと、就職している子どもは「経済的な支援をしてくれること」が46.9%と他の年齢より多くなっている。

Ⅲ 調査結果

(6) 子育てや子育て支援情報の入手先

問33 子育てや子育て支援に関する情報について、どこから得ることが多いですか。

(あてはまる番号のすべてに○をつけてください。ただし、「特にない」を選んだ方は他に○をつけないでください。)



子育てや子育て支援情報の入手先については、「家族、親族、友人、知人」(51.9%)と「インターネット(パソコン・スマートフォン・携帯電話)」(51.8%)が約5割と比較的多くなっている。以下、「保育所、幼稚園、学校の先生」(46.7%)、「市町村などの広報誌」(37.7%)、「テレビ・ラジオ」(31.1%)などとなっている。

【性別、年齢別、子どもの年齢別】

		調査数 (件)	児童 育 児 書 な ど の 本 や 雑 誌	イン タ ー ネ ッ ト (パ ソ コ ン ・ ス マ ー ト フ ォ ン ・ 携 帯 電 話)	テ レ ビ ・ ラ ジ オ	新 聞	地 域 支 援 拠 点 等	子 育 支 援 拠 点 等	市 町 村 な ど の 広 報 誌	乳 幼 児 健 診	知 人 ・ 家 族 ・ 親 族 ・ 友 人	保 育 所 ・ 幼 稚 園 ・ 学 校 の 先 生	そ の 他	特 に な い	無 回 答
全 体		1,918	17.1	51.8	31.1	15.6	6.0	37.7	15.0	51.9	46.7	0.7	5.0	4.5	
性 別	男性	545	12.5	45.5	31.4	18.0	4.8	42.2	12.3	42.9	38.0	0.9	7.7	5.1	
	女性	1,369	18.8	54.3	31.0	14.8	6.5	35.9	16.0	55.4	50.2	0.7	3.9	4.2	
年 齢 別	20歳未満	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	20～29歳	109	22.0	63.3	26.6	1.8	9.2	24.8	32.1	54.1	53.2	0.9	4.6	6.4	
	30～39歳	684	16.2	60.5	27.9	7.7	6.7	35.4	19.7	56.0	53.5	0.7	4.4	2.9	
	40～49歳	891	17.1	49.7	32.4	19.5	5.3	39.3	9.3	50.4	43.7	0.7	5.4	4.8	
	50～59歳	182	17.0	29.1	40.1	34.1	4.9	47.8	15.9	46.7	33.5	1.1	4.9	4.9	
	60歳以上	27	11.1	14.8	29.6	22.2	-	37.0	7.4	29.6	33.3	-	3.7	14.8	
子 ど も の 年 齢 別	0～3歳未満	415	22.2	65.3	26.5	8.7	8.4	33.3	30.8	53.7	56.4	1.4	3.1	4.8	
	3歳～小学校入学前	575	18.6	61.0	29.7	10.3	7.8	35.5	19.1	53.2	61.6	0.7	2.6	4.0	
	小学生（1～3年生）	591	16.4	55.5	28.4	14.2	5.6	37.9	14.4	56.3	53.6	0.7	5.1	2.5	
	小学生（4～6年生）	608	13.7	49.3	34.4	16.9	4.6	41.0	10.5	54.3	47.9	0.5	5.3	4.8	
	中学生	685	14.5	45.7	35.0	20.3	4.4	39.7	9.3	50.9	40.0	0.1	5.7	4.4	
	高校以上の学生	533	16.1	37.7	33.0	19.3	4.5	40.0	10.1	47.8	35.8	0.8	6.4	4.9	
	就職している	158	14.6	34.8	38.6	19.6	3.2	41.8	10.8	43.0	37.3	0.6	10.1	3.8	
	その他	32	6.3	15.6	37.5	25.0	-	28.1	15.6	25.0	15.6	-	9.4	15.6	

性別にみると、男性は「市町村などの広報誌」が42.2%と女性より多い。女性は「インターネット（パソコン・スマートフォン・携帯電話）」、「家族、親族、友人、知人」、「保育所、幼稚園、学校の先生」が5割台と男性より多くなっている。

年齢別にみると、20～39歳では「インターネット（パソコン・スマートフォン・携帯電話）」が約6割と最も多く、次いで「家族、親族、友人、知人」、「保育所、幼稚園、学校の先生」も5割以上と他の年齢より多くなっている。

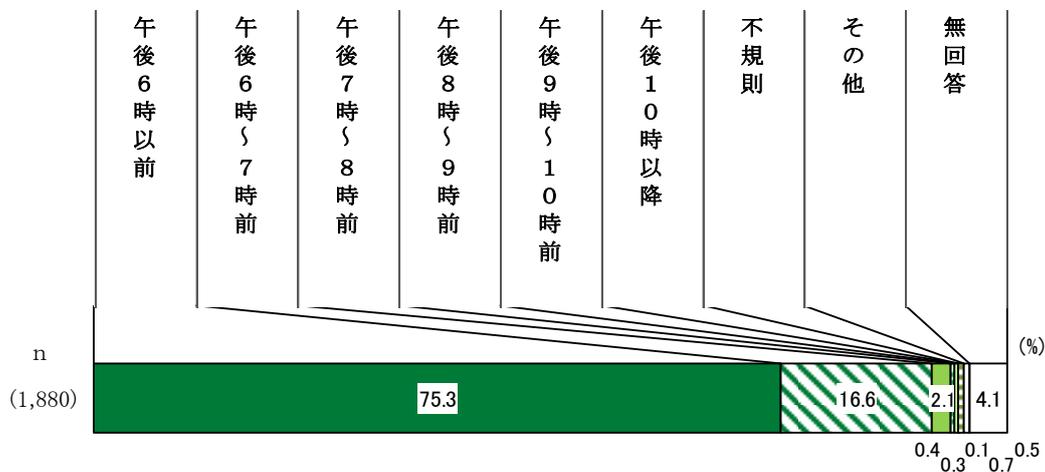
また、20～29歳は「乳幼児健診」も32.1%と他の年齢を上回っている。50～59歳では「テレビ・ラジオ」（40.1%）、「新聞」（34.1%）、「市町村などの広報誌」（47.8%）が他の年齢より多くなっている。

子どもの年齢別にみると、子どもの年齢が下がるほど「インターネット（パソコン・スマートフォン・携帯電話）」と「保育所、幼稚園、学校の先生」は多くなり、0歳～小学校入学前で6割前後となっている。小学生（1～6年生）では「家族、親族、友人、知人」が5割半ば、小学生（4～6年生）以上では「市町村などの広報誌」が約4割、就職している子どもでは「テレビ・ラジオ」が38.6%と他の年齢より多くなっている。

Ⅲ 調査結果

(7) 仕事と子育て両立のため理想とする帰宅時間帯 ※就労している方

問34 仕事と子育てを両立するため、あなたが理想とする帰宅時間帯は何時頃ですか。
(あてはまる番号に○をつけてください。)



仕事と子育て両立のため理想とする帰宅時間帯については、「午後6時以前」が75.3%と最も多く、「午後6時～7時前」が16.6%と続いている。

【性別、年齢別、子どもの年齢別、職業別】

			(%)								
		調査数 (件)	午後 6時 以前	前 午 後 6 時 ～ 7 時	前 午 後 7 時 ～ 8 時	前 午 後 8 時 ～ 9 時	時 午 後 9 時 ～ 1 0	午 後 1 0 時 以 降	不 規 則	そ の 他	無 回 答
全 体		1,880	75.3	16.6	2.1	0.4	0.3	0.1	0.7	0.5	4.1
性別	男性	538	63.9	28.1	3.7	0.4	0.4	-	0.7	0.4	2.4
	女性	1,338	79.8	12.0	1.3	0.4	0.2	0.1	0.7	0.6	4.9
年齢別	20歳未満	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	20～29歳	108	85.2	7.4	0.9	-	-	-	-	1.9	4.6
	30～39歳	673	80.5	14.1	1.2	0.4	0.4	0.1	0.4	0.1	2.5
	40～49歳	880	71.5	19.1	2.6	0.5	0.2	-	0.9	0.6	4.7
	50～59歳	174	68.4	19.5	3.4	-	-	-	0.6	1.1	6.9
	60歳以上	22	77.3	13.6	-	-	-	-	4.5	-	4.5
子どもの年齢別	0～3歳未満	410	79.8	14.9	1.5	-	-	-	-	0.5	3.4
	3歳～小学校入学前	570	82.6	12.3	1.2	0.5	-	-	0.4	0.4	2.6
	小学生（1～3年生）	583	81.6	12.3	1.5	0.3	-	-	0.9	0.2	3.1
	小学生（4～6年生）	604	74.8	16.7	1.7	0.7	0.3	0.2	0.8	0.5	4.3
	中学生	670	72.1	17.2	3.1	0.4	0.6	-	0.7	0.7	5.1
	高校以上の学生	527	69.3	21.4	2.7	0.2	0.4	-	1.3	0.9	3.8
	就職している	157	66.9	24.8	1.9	0.6	-	-	1.3	1.3	3.2
	その他	30	56.7	23.3	3.3	-	3.3	-	-	-	13.3
職業別	正規雇用の従業員×正規雇用の従業員（公務員含む）	578	81.7	16.3	1.4	0.2	-	-	-	-	0.5
	正規雇用の従業員×非正規職員	542	82.5	12.0	2.0	0.2	0.4	-	0.9	0.7	1.3
	正規雇用の従業員×自営業主・家族従業員	57	86.0	10.5	-	1.8	-	-	1.8	-	-
	正規雇用の従業員×専業主婦（夫）・無職・学生・その他	275	48.4	24.0	4.4	1.5	1.1	0.4	0.4	1.5	18.5
	非正規職員×非正規職員	35	74.3	20.0	2.9	-	-	-	-	2.9	-
	非正規職員×自営業主・家族従業員	38	86.8	13.2	-	-	-	-	-	-	-
	非正規職員×専業主婦（夫）・無職・学生・その他	23	43.5	39.1	13.0	-	-	-	4.3	-	-
	自営業主・家族従業員×自営業主・家族従業員	98	74.5	19.4	1.0	-	-	-	1.0	1.0	3.1
	自営業主・家族従業員×専業主婦（夫）・無職・学生・その他	29	51.7	20.7	-	-	-	-	3.4	-	24.1
	専業主婦（夫）・無職・学生・その他×専業主婦（夫）・無職・学生・その他	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	【配偶者なし】正規雇用の従業員（公務員含む）	111	71.2	20.7	2.7	-	-	-	1.8	-	3.6
	【配偶者なし】非正規職員	80	87.5	12.5	-	-	-	-	-	-	-
	【配偶者なし】自営業主・家族従業員	14	57.1	14.3	-	-	-	-	7.1	-	21.4
【配偶者なし】専業主婦（夫）・無職・学生・その他	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	

性別にみると、男性・女性ともに「午後6時以前」が最も多く、特に女性は79.8%と男性を上回っている。男性は「午後6時～7時前」が28.1%と女性より多くなっている。

年齢別にみると、いずれの年齢も「午後6時以前」が最も多く、特に20～39歳では8割以上となっている。40～59歳では「午後6時以前」が他の年齢よりやや少なくなり、「午後6時～7時前」が約2割と他の年齢より多くなっている。

子どもの年齢別にみると、子どもの年齢が下がるほど概ね「午後6時以前」は多くなり、小学生（1～3年生）以下では約8割を占める。「午後6時～7時前」は年齢が上がるほど概ね多くなり、高校以上では2割以上と他の年齢より多くなっている。

職業別にみると、いずれの職業も「午後6時以前」が最も多く、【正規雇用×正規雇用、非正規職員、自営業】と【非正規職員×自営業】は8割以上、【非正規職員×非正規職員】と【自営業×自営業】は7割半ばとなっている。

一方、【正規雇用、非正規職員×未就労者】では「午後6時以前」が5割未満に留まり、「午後6時～7時前」が他の職業より多くなっている。

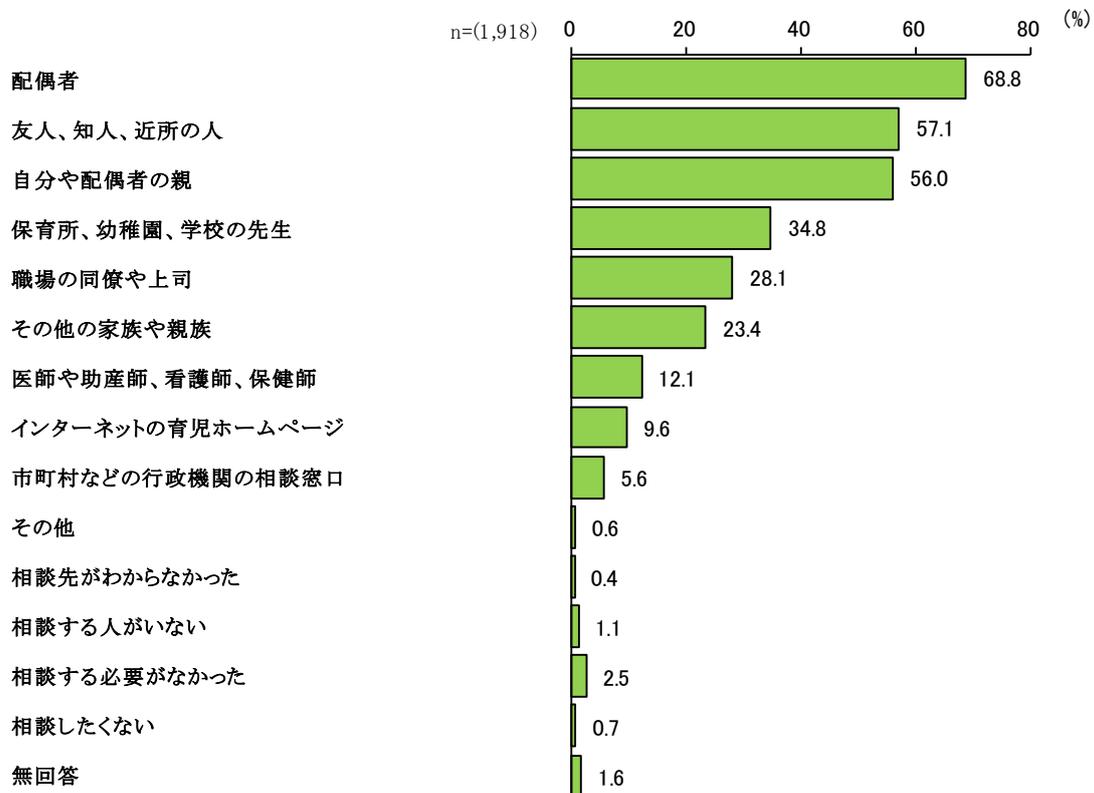
【配偶者なし：非正規職員】は「午後6時以前」が87.5%と【配偶者なし：正規雇用、自営業】より多くなっている。

Ⅲ 調査結果

(8) 子育てに関する相談先

問35 子育てについて、何か不安や悩みがある時、どなたに相談をしましたか。

(あてはまる番号のすべてに○をつけてください。ただし、「相談先がわからなかった」、「相談する人がいない」、「相談する必要がなかった」、「相談したくない」を選んだ方は他に○をつけしないでください。)



子育てに関する相談先については、「配偶者」が68.8%と最も多く、以下、「友人、知人、近所の人」(57.1%)、「自分や配偶者の親」(56.0%)、「保育所、幼稚園、学校の先生」(34.8%)などで、家族や友人等の身近な相手が多くなっている。

前回調査と比較すると、設問や選択肢が異なるため単純比較はできないが、前回2位であった「配偶者」(前回：72.5%)は1位に、前回3位の「友人・知人」(前回：69.5%)は2位に上昇した。前回1位の「自分や配偶者の父母」(前回：75.0%)は19ポイント減の3位となった。

《参考：前回調査結果（県民アンケート調査）》

順位	選択肢	%	順位	選択肢	%
1	自分や配偶者の父母（お子さんの祖父母）	75.0	9	近所の子育て経験者など	14.3
2	配偶者	72.5	10	市町村など行政機関の相談窓口	6.6
3	親しい友人や知人	69.5	11	子育てサークルの仲間	5.7
4	保育所、幼稚園、学校の先生	41.7	12	民間やインターネットなどの相談サービス	2.3
5	その他の家族や親族	32.7	13	子育てボランティアなど	2.2
6	職場の同僚や上司	22.6	14	民生委員・児童委員	0.8
7	医師や助産師、看護師	19.4	-	その他	2.1
8	保健師	17.2			

【性別、年齢別、子どもの年齢別】

		調査数 (件)	配偶者	自分や 配偶者の 親	その 他の 家族 や 親族	所 友 人、 知 人、 近 所 の 人	園、 保 育 所、 幼 稚 園、 学 校 の 先 生	口 政 機 関 の 相 談 の 窓	市 町 村 な ど の 行	看 護 師 や 助 産 師、 保 健 師	司 職 場 の 同 僚 や 上	ベ ー ジ の 育 児 ホ ー ム ネ ッ ト	イ ン タ ー ネ ッ ト	そ の 他	相 談 先 が わ か ら な か つ た	相 談 す る 人 が い な い	相 談 す る 必 要 が な か つ た	相 談 し た く な い	無 回 答
全 体		1,918	68.8	56.0	23.4	57.1	34.8	5.6	12.1	28.1	28.1	9.6	0.6	0.4	1.1	2.5	0.7	1.6	
性別	男性	545	71.6	44.2	14.5	39.3	21.5	3.5	9.4	27.5	27.5	6.4	0.4	0.9	1.1	6.2	0.9	2.2	
	女性	1,369	67.7	60.8	27.0	64.1	40.0	6.4	13.1	28.4	28.4	10.8	0.7	0.1	1.2	0.9	0.7	1.4	
年齢別	20歳未満	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	20～29歳	109	58.7	59.6	19.3	55.0	35.8	8.3	20.2	29.4	29.4	14.7	-	0.9	2.8	-	1.8	3.7	
	30～39歳	684	74.1	60.8	25.0	59.9	37.4	6.0	12.4	30.4	30.4	8.8	0.4	0.4	0.7	1.6	0.7	0.4	
	40～49歳	891	68.2	57.1	23.2	56.9	34.0	4.9	11.0	28.4	28.4	10.4	0.6	0.3	1.1	2.6	0.8	1.6	
	50～59歳	182	64.8	39.0	23.1	51.1	31.3	6.0	12.6	22.5	22.5	6.0	1.6	-	2.2	4.9	-	4.4	
	60歳以上	27	40.7	11.1	11.1	40.7	18.5	11.1	7.4	-	-	-	3.7	-	-	-	14.8	-	3.7
子どもの年齢別	0～3歳未満	415	77.8	66.7	24.3	56.9	37.1	7.0	18.1	28.2	28.2	11.8	0.7	-	0.5	1.7	0.2	1.0	
	3歳～小学校入学前	575	76.3	61.9	23.8	58.6	43.0	7.1	14.3	31.3	31.3	9.9	0.3	0.3	1.2	1.4	1.0	0.7	
	小学生（1～3年生）	591	73.1	61.6	27.1	60.7	41.5	5.9	12.2	26.7	26.7	9.3	0.2	0.2	0.8	1.7	1.0	0.8	
	小学生（4～6年生）	608	71.4	55.8	23.0	58.7	35.7	6.1	9.2	28.8	28.8	10.9	0.5	0.2	1.0	2.0	1.2	1.3	
	中学生	685	67.0	51.2	21.3	55.9	30.7	5.0	7.6	25.5	25.5	9.3	0.7	0.6	0.6	3.5	0.7	1.6	
	高校以上の学生	533	65.5	49.2	23.8	54.8	28.0	4.1	10.1	25.7	25.7	5.3	0.6	0.6	1.3	4.1	0.8	1.7	
	就職している	158	61.4	43.7	29.1	53.2	28.5	4.4	13.3	27.2	27.2	4.4	1.3	0.6	2.5	4.4	1.3	2.5	
その他	32	53.1	28.1	18.8	31.3	21.9	3.1	3.1	9.4	9.4	-	-	-	3.1	3.1	3.1	-	18.8	

性別にみると、女性は「自分や配偶者の親」（60.8%）、「その他の家族や親族」（27.0%）、「友人、知人、近所の人」（64.1%）、「保育所、幼稚園、学校の先生」（40.0%）が男性を12ポイント以上上回っている。

年齢別にみると、20～39歳では「自分や配偶者の親」が約6割、30～49歳では「配偶者」が7割前後と他の年齢より多くなっている。

また、20～49歳では「友人、知人、近所の人」が5割以上、「保育所、幼稚園、学校の先生」が3割半ばと他の年齢より多くなっている。

子どもの年齢別にみると、いずれの年齢も「配偶者」が最も多く、また、子どもの年齢が下がるほど多くなり、0歳～小学校入学前では7割半ばとなっている。「自分や配偶者の親」も子どもの年齢が下がるほど多くなり、0～3歳未満では66.7%となっている。

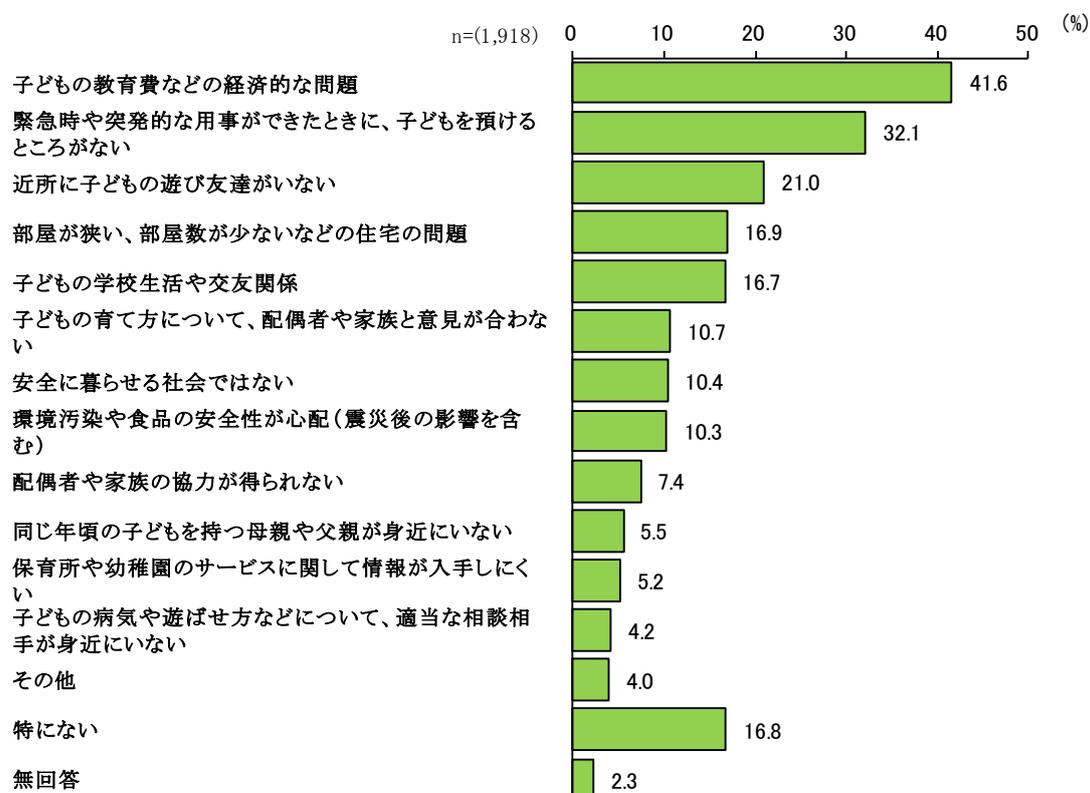
さらに、0～3歳未満は「医師や、助産師、看護師、保健師」が18.1%と他の年齢より多くなっている。「友人、知人、近所の人」は3歳～小学生（4～6年生）で約6割、「保育所、幼稚園、学校の先生」は3歳～小学生（1～3年生）で約4割と他の年齢より多くなっている。

Ⅲ 調査結果

(9) 子育てに関する困りごと

問36 子育てに関することで、困ると感じたことはどのようなことですか。

(あてはまる番号のすべてに○をつけてください。ただし、「特にない」を選んだ方は他に○をつけないでください。)



子育てに関する困りごとについては、「子どもの教育費などの経済的な問題」が41.6%と最も多く、以下、「緊急時や突発的な用事ができたときに、子どもを預けるところがない」(32.1%)、「近所に子どもの遊び友達がいない」(21.0%)、「部屋が狭い、部屋数が少ないなどの住宅の問題」(16.9%)、「子どもの学校生活や交友関係」(16.7%)などとなっている。

前回調査と比較すると、設問や選択肢が異なるため単純比較はできないが、前回1位の「経済的な問題」(前回：39.4%)が同様に1位となっており、経済的な問題が、引き続き、最も多い困りごととなっている。前回2位であった「食品の安全性」(前回：36.2%)は約26ポイント減少し8位となった。

《参考：前回調査結果（県民アンケート調査）》

順位	選択肢	%
1	子育てや教育などにかかる経済的な問題	39.4
2	環境汚染や食品の安全性への心配(放射線の影響などを含む)	36.2
3	緊急時や突発的な用事ができたときに、子どもを預けるところがない	30.0
4	近所に子どもの遊び友達がいない	23.6
5	部屋が狭い、部屋数が少ないなどの住宅の問題	21.8
6	近くに小児科や救急外来などの医療機関がない	17.5
7	子どもの保育園・幼稚園や学校での生活や交友関係	16.8
8	子育て支援や教育などの行政サービスに関して情報が入手しにくい	14.3
9	子どもの育て方について、配偶者や家族と意見が合わない	12.7
10	育児の要領などがわからなくて不安である	9.2
11	同じ年頃の子どもの持つ母親や父親が身近にいない	8.9
12	配偶者や家族の協力が得られない	7.1
13	子育てに関しての身近な相談相手がいない	4.4
14	発達障害などに対する支援や相談窓口がない	4.0
-	特に不安を感じることはない	10.6

【性別、年齢別、子どもの年齢別】

		調査数(件)	預けるところがない	緊急時や突発的な用事ができたときに、子どもを預けることができない	同じ年頃の子どもの遊び友達がいなくて、近所に子どもを預ける場所がない	談相手や身近にいない	子どもの病状や遊ばせ方などについて、適切な相談が受けられない	保育所や幼稚園のサービスに関する情報が入手しにくい	子どもを預ける方と意見が合わない	子どもを育て方について、周囲の意見が合わない	環境汚染や食品の安全性が心配(震災後の影響を含む)	子どもの教育費などの経済的な問題	部屋が狭い、部屋数が少ないなどの住宅の問題	配偶者や家族の協力が得られない	安全に暮らせる社会ではない	子どもの学校生活や交友関係	その他	特になし	無回答
全体		1,918	32.1	5.5	21.0	4.2	5.2	10.7	10.3	41.6	16.9	7.4	10.4	16.7	4.0	16.8	2.3		
性別	男性	545	28.3	7.5	20.7	5.1	4.8	8.8	7.3	37.4	16.0	2.4	8.6	15.0	3.1	20.6	2.9		
	女性	1,369	33.7	4.7	21.0	3.8	5.3	11.5	11.4	43.1	17.3	9.4	11.2	17.3	4.4	15.3	2.1		
年齢別	20歳未満	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	20～29歳	109	34.9	8.3	26.6	8.3	13.8	9.2	7.3	47.7	22.0	8.3	16.5	12.8	2.8	17.4	6.4		
	30～39歳	684	38.0	6.0	25.6	5.1	6.6	10.4	10.7	43.0	19.3	6.3	10.8	14.9	4.2	12.9	1.2		
	40～49歳	891	29.3	4.0	17.6	3.1	3.9	11.4	10.8	40.3	16.7	8.1	9.7	18.4	4.4	18.7	1.8		
	50～59歳	182	20.9	7.1	18.7	2.7	1.6	10.4	8.2	40.7	8.2	8.2	9.3	19.2	2.7	20.9	6.6		
	60歳以上	27	22.2	14.8	11.1	7.4	-	7.4	7.4	29.6	7.4	-	7.4	11.1	-	25.9	3.7		
子どもの年齢別	0～3歳未満	415	39.8	8.7	27.2	6.5	9.9	7.7	8.4	39.5	22.2	5.3	10.8	7.2	5.1	14.2	1.4		
	3歳～小学校入学前	575	35.8	5.6	27.0	3.5	6.4	8.7	9.4	39.8	19.7	6.3	11.7	15.1	5.4	15.0	1.9		
	小学生(1～3年生)	591	37.2	3.9	24.4	4.2	5.2	10.8	9.0	42.3	19.8	8.8	12.0	18.4	3.7	15.1	1.4		
	小学生(4～6年生)	608	33.7	3.9	17.1	3.1	3.6	12.3	10.4	43.1	20.2	7.1	8.1	20.7	4.3	14.5	1.8		
	中学生	685	30.5	3.8	15.5	3.4	3.1	12.3	11.1	45.4	18.1	7.7	8.3	20.0	3.4	19.0	2.3		
	高校以上の学生	533	23.5	5.4	14.6	3.4	2.1	12.0	8.8	46.0	12.6	7.3	9.2	18.4	3.0	18.9	2.4		
	就職している	158	25.9	5.1	17.7	2.5	1.3	12.0	7.0	46.2	13.3	8.2	5.7	14.6	2.5	17.7	3.2		
その他	32	21.9	9.4	9.4	6.3	3.1	12.5	3.1	21.9	9.4	3.1	12.5	15.6	-	21.9	21.9			

性別にみると、女性は「子どもの教育費などの経済的な問題」(43.1%)と「緊急時や突発的な用事ができたときに、子どもを預けることができない」(33.7%)が男性より多くなっている。

年齢別にみると、20～39歳では「緊急時や突発的な用事ができたときに、子どもを預けることができない」が3割台、「近所に子どもの遊び友達がいなくて、近所に子どもを預ける場所がない」が2割半ば、「子どもの教育費などの経済的な問題」が4割以上と他の年齢より多くなっている。

また、「保育所や幼稚園のサービスに関して情報が入手しにくい」、「部屋が狭い、部屋数が少ないなどの住宅の問題」、「安全に暮らせる社会ではない」でも年齢が下がるほどやや多くなる。40～59歳では「子どもの学校生活や交友関係」が約2割と他の年齢より多くなっている。

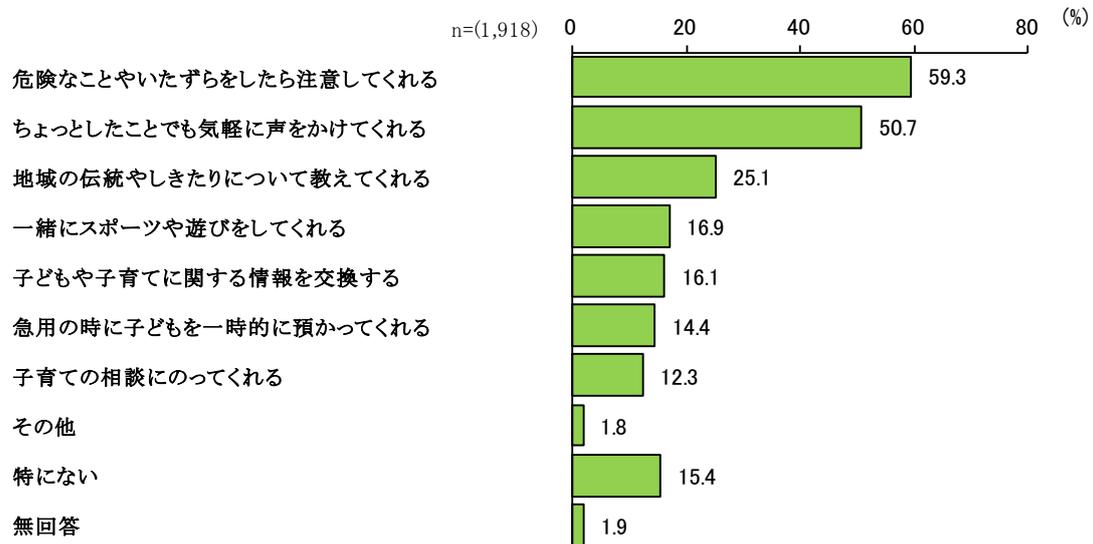
子どもの年齢別にみると、「緊急時や突発的な用事ができたときに、子どもを預けることができない」と「近所に子どもの遊び友達がいなくて、近所に子どもを預ける場所がない」は子どもの年齢が下がるほど概ね多くなり、0～3歳未満では「緊急時や突発的な用事ができたときに、子どもを預けることができない」が約4割と、0歳～小学校入学前では「近所に子どもの遊び友達がいなくて、近所に子どもを預ける場所がない」が約3割となっている。

一方、年齢が上がるほど「子どもの教育費などの経済的な問題」は多くなり、中学生以上では4割半ばとなっている。「子どもの学校生活や交友関係」は小学生～高校生以上の学生で約2割と他の年齢より多くなっている。

Ⅲ 調査結果

(10) 子育てするうえで近所・地域の人たちにしてほしいこと

問37 あなたは、子育てするうえで、近所や地域の人たちにはどのようなことをしてほしいと思いますか。(あてはまる番号のすべてに○をつけてください。ただし、「特にない」を選んだ方は他に○をつけしないでください。)



子育てするうえで近所・地域の人たちにしてほしいことについては、「危険なことやいたずらをしたら注意してくれる」(59.3%)と「ちょっとしたことでも気軽に声をかけてくれる」(50.7%)が5割以上となっている。以下、「地域の伝統やしきたりについて教えてくれる」(25.1%)、「一緒にスポーツや遊びをしてくれる」(16.9%)、「子どもや子育てに関する情報を交換する」(16.1%)などとなっている。

【性別、年齢別、子どもの年齢別】

			を	ち	注	た	か	急	の	交	に	子	れ	や	一	教	地	そ	特	無
		調	と	よ	意	危	も	用	子	換	子	の	や	緒	え	域	他	に	な	回
		査	か	つ	ず	険	も	の	つ	す	ど	の	一	に	た	の	そ	な	答	
		数	け	と	し	な	も	時	て	る	も	相	緒	に	り	の	他	い		
		(て	し	こ	こ	の	的	に	情	子	談	ス	ポ	し	の				
		件	く	た	と	と	に	に	子	報	育	を	ー	い	や					
)	れ	ら	こ	や	預	預	に	を	て	ツ	や	し						
			る	い	ら	ら	ど	ど	に	を	て		て	し						
全 体		1,918	50.7	59.3	14.4	12.3	16.1	16.9	25.1	1.8	15.4	1.9								
性 別	男性	545	53.9	60.2	13.6	11.6	14.7	20.2	27.9	1.3	13.8	2.2								
	女性	1,369	49.5	59.1	14.8	12.6	16.7	15.7	24.0	2.0	15.9	1.8								
年 齢 別	20歳未満	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-								
	20～29歳	109	44.0	56.9	12.8	16.5	22.0	19.3	17.4	-	23.9	2.8								
	30～39歳	684	52.3	60.8	13.9	14.3	19.3	19.0	26.0	1.8	15.8	0.7								
	40～49歳	891	51.1	61.3	13.9	10.4	13.6	15.6	26.0	2.0	14.3	1.9								
	50～59歳	182	47.8	48.4	17.0	13.2	14.8	15.4	22.5	2.2	14.3	4.9								
	60歳以上	27	48.1	48.1	18.5	7.4	14.8	14.8	14.8	3.7	18.5	7.4								
子 ども の 年 齢 別	0～3歳未満	415	54.5	58.6	12.3	14.0	20.7	19.8	24.1	1.9	12.5	1.7								
	3歳～小学校入学前	575	53.9	62.8	14.8	15.0	19.0	20.7	27.0	2.4	15.0	1.0								
	小学生（1～3年生）	591	56.3	66.2	16.8	13.4	17.4	18.6	29.3	1.9	11.2	0.7								
	小学生（4～6年生）	608	52.3	62.0	14.5	9.4	12.0	14.6	27.0	2.5	13.8	1.5								
	中学生	685	48.0	58.1	14.0	10.5	13.1	15.0	23.4	1.3	17.4	2.3								
	高校以上の学生	533	48.6	57.2	14.6	10.1	14.1	15.9	23.6	1.3	18.8	2.1								
	就職している	158	49.4	56.3	13.9	10.8	12.0	12.0	20.3	2.5	20.3	2.5								
	その他	32	46.9	50.0	12.5	15.6	18.8	15.6	18.8	-	12.5	15.6								

性別にみると、男性は「ちょっとしたことでも気軽に声をかけてくれる」（53.9%）と「一緒にスポーツや遊びをしてくれる」（20.2%）が女性よりやや多くなっている。

年齢別にみると、30～49歳では「危険なことやいたずらをしたら注意してくれる」が約6割、「ちょっとしたことでも気軽に声をかけてくれる」が約5割と他の年齢より多くなっている。

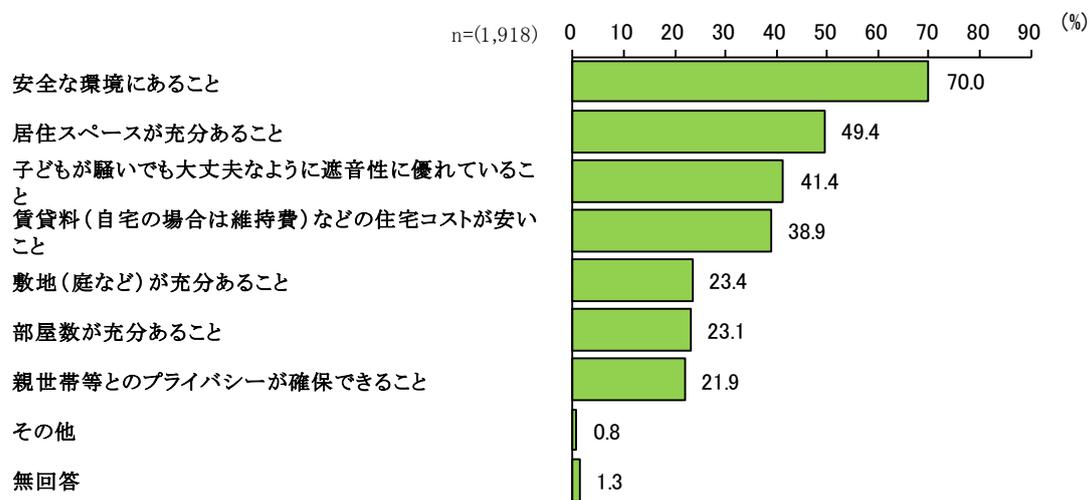
子どもの年齢別にみると、いずれの年齢も「危険なことやいたずらをしたら注意してくれる」が最も多くなっており、3歳～小学生（4～6年生）では6割以上となっている。

また、3歳～小学生（4～6年生）は「地域の伝統やしきたりについて教えてくれる」が約3割と他の年齢より多くなっている。「ちょっとしたことでも気軽に声をかけてくれる」は0歳～小学生（4～6年生）で5割台と他の年齢より多くなっている。

5. 子育てに関する環境について ※子どもがいる方

(1) 子育てするうえで重要な住宅要素

問38 あなたにとって、子育てするうえで重要だと考える住宅の要素は、どのような点ですか。(特に重要だと考える番号3つに○をつけてください。)



子育てするうえで重要な住宅要素については、「安全な環境にあること」が最も多く70.0%を占める。以下、「居住スペースが充分あること」(49.4%)、「子どもが騒いでも大丈夫なように遮音性に優れていること」(41.4%)、「賃貸料(自宅の場合は維持費)などの住宅コストが安いこと」(38.9%)などとなっている。

【性別、年齢別、子どもの年齢別】

		調査数 (件)	居住スペースが 充分あること	部屋数が充分あるこ と	子どもが騒いでも大 丈夫なように遮音性 に優れていること	子どもが騒いでも大 丈夫なように遮音性 に優れていること	賃貸料(自宅の場合 は維持費)などの住 宅コストが安いこと	親世帯等とのプ ライバシーが確保 できること	敷地(庭など) が充分あること	安全な環境に あること	その他	無回答
全 体		1,918	49.4	23.1	41.4	38.9	21.9	23.4	70.0	0.8	1.3	
性別	男性	545	53.2	29.0	29.0	32.8	18.3	29.2	66.6	0.6	2.0	
	女性	1,369	47.9	20.7	46.3	41.3	23.2	21.1	71.5	0.9	1.0	
年齢別	20歳未満	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	20～29歳	109	43.1	29.4	54.1	48.6	23.9	26.6	55.0	-	2.8	
	30～39歳	684	50.0	24.4	47.7	40.6	23.2	25.4	68.9	0.4	0.4	
	40～49歳	891	50.5	22.2	37.7	38.0	19.8	22.4	72.6	1.3	1.2	
	50～59歳	182	46.7	21.4	29.1	35.2	25.8	18.7	72.5	-	2.7	
	60歳以上	27	44.4	18.5	22.2	22.2	11.1	29.6	63.0	-	7.4	
子どもの年齢別	0～3歳未満	415	55.2	25.1	48.0	39.8	19.3	25.3	65.8	0.2	1.4	
	3歳～小学校入学前	575	51.1	24.5	48.7	37.0	20.3	27.5	68.2	1.2	1.0	
	小学生(1～3年生)	591	51.3	22.7	44.0	37.4	23.2	26.1	70.6	0.5	0.8	
	小学生(4～6年生)	608	49.8	23.5	41.8	38.0	20.7	23.4	70.4	0.8	1.0	
	中学生	685	48.8	24.2	34.5	38.7	21.2	24.2	69.6	0.6	1.3	
	高校以上の学生	533	46.7	23.1	30.4	40.3	24.2	21.8	72.2	1.1	1.3	
	就職している	158	48.7	22.8	33.5	36.1	22.2	20.9	70.9	-	1.9	
	その他	32	50.0	18.8	34.4	31.3	28.1	18.8	46.9	-	9.4	

性別にみると、男性は「居住スペースが充分あること」が53.2%、「敷地（庭など）が充分あること」と「部屋数が充分あること」が約3割と女性より多い。女性は「子どもが騒いでも大丈夫なように遮音性に優れていること」と「賃貸料（自宅の場合は維持費）などの住宅コストが安いこと」が4割台と男性より多くなっている。

年齢別にみると、いずれの年齢も「安全な環境にあること」が最も多く、特に30～59歳では約7割となっている。

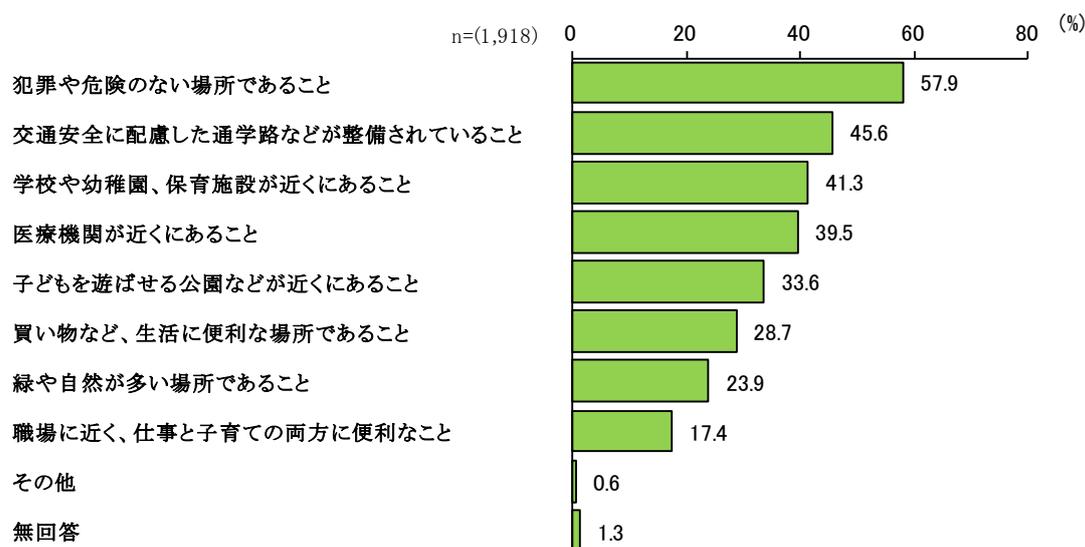
また、30～49歳では「居住スペースが充分あること」が約5割と他の年齢より多くなっている。「部屋数が充分あること」、「子どもが騒いでも大丈夫なように遮音性に優れていること」、「賃貸料（自宅の場合は維持費）などの住宅コストが安いこと」は年齢が下がるほど多くなり、20～29歳は他の年齢より多くなっている。

子どもの年齢別にみると、子どもの年齢が下がるほど概ね「居住スペースが充分あること」と「子どもが騒いでも大丈夫なように遮音性に優れていること」は多くなり、「居住スペースが充分あること」は0～3歳未満で55.2%、「子どもが騒いでも大丈夫なように遮音性に優れていること」は0歳～小学校入学前で約5割となっている。「敷地（庭など）が充分あること」は小学生（1～3年生）以下で2割半ばと他の年齢より多くなっている。

Ⅲ 調査結果

(2) 子育てするうえで重要な住環境

問39 あなたにとって、子育てするうえで重要だと考える住環境とは、どのような環境ですか。(特に重要だと考える番号3つに○をつけてください。)



子育てするうえで重要な住環境については、「犯罪や危険のない場所であること」が57.9%と最も多く、以下、「交通安全に配慮した通学路などが整備されていること」(45.6%)、「学校や幼稚園、保育施設が近くにあること」(41.3%)、「医療機関が近くにあること」(39.5%)などとなっている。

前回調査と比較すると、設問や選択肢が異なるため単純比較はできないが、前回4位の「犯罪などの心配が少ない」(前回：53.8%)は1位に、前回8位の「周辺道路の安全」(前回：25.4%)は2位に順位が上がった。前回3位の「教育施設が近くにある」(前回：57.5%)は同順であるが、前回5位の「医療施設等が整っている」(前回：47.3%)も4位となった。

《参考：前回調査結果（県民アンケート調査）》

順位	選択肢	%
1	買い物などに便利	62.2
2	交通の便が良い	60.2
3	子どもの保育所や幼稚園、学校など教育施設が近くにある	57.5
4	治安が良く、犯罪などの心配が少ない	53.8
5	近くに医療施設や福祉施設が整っている	47.3
6	仕事に都合がよい	41.7
7	騒音などが少なく、静かである	27.5
8	家の周辺道路が安全なこと（交通量、歩道、段差などの点で）	25.4
9	親や親戚が近くに住んでいる	24.3
10	自然が豊かである	19.3
11	子どもが遊ぶ場所がたくさんある	18.0
12	近所づきあいがよい	15.9
13	近隣に同世代の子育て家庭がいる	15.8

【性別、年齢別、子どもの年齢別】

(%)

		調査数(件)	所緑や自然が多い場所	ある公園などが近くに	子どもを遊ばせる公園	学校や幼稚園、保育施設が近くに	交通安全に配慮した通学路などが整備されていること	医療機関が近くにあること	犯罪や危険のない場所であること	便利子育ての両方に便利なこと	職場に近く、仕事と子育ての両方に便利なこと	買い物など、生活に便利な場所であること	その他	無回答
全体		1,918	23.9	33.6	41.3	45.6	39.5	57.9	17.4	28.7	0.6	1.3		
性別	男性	545	31.4	33.6	36.7	41.1	44.0	56.3	13.4	24.6	0.6	1.8		
	女性	1,369	20.9	33.7	43.2	47.3	37.8	58.4	19.0	30.4	0.6	1.1		
年齢別	20歳未満	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	20～29歳	109	22.9	48.6	38.5	45.9	37.6	46.8	20.2	29.4	-	2.8		
	30～39歳	684	22.5	39.0	39.9	46.5	34.9	59.4	21.2	29.8	0.4	0.6		
	40～49歳	891	24.6	29.9	43.3	46.9	40.4	59.4	15.7	27.4	0.9	1.0		
	50～59歳	182	25.3	27.5	41.8	34.6	50.5	51.1	12.1	30.8	-	3.3		
	60歳以上	27	33.3	14.8	37.0	48.1	51.9	51.9	7.4	18.5	-	7.4		
子どもの年齢別	0～3歳未満	415	23.6	40.2	40.2	45.5	37.3	54.2	22.4	27.0	0.2	1.4		
	3歳～小学校入学前	575	24.7	39.8	40.7	47.8	32.9	57.4	21.2	26.4	0.7	1.2		
	小学生(1～3年生)	591	23.9	39.4	39.9	48.1	35.5	58.5	17.9	28.6	0.7	0.5		
	小学生(4～6年生)	608	24.8	35.0	39.3	47.4	34.9	62.3	15.0	28.9	0.7	0.8		
	中学生	685	23.9	28.6	41.9	45.8	40.6	59.7	14.7	30.1	0.4	1.2		
	高校以上の学生	533	24.2	25.9	40.9	43.3	48.6	56.7	14.8	31.7	0.8	1.3		
	就職している	158	27.8	22.8	43.0	39.2	49.4	51.9	15.2	31.6	0.6	2.5		
	その他	32	25.0	34.4	21.9	43.8	40.6	46.9	12.5	25.0	-	9.4		

性別にみると、男性は「緑や自然が多い場所であること」(31.4%)、「医療機関が近くにあること」(44.0%)が女性より多くなっている。女性は「学校や幼稚園、保育施設が近くにあること」(43.2%)、「交通安全に配慮した通学路などが整備されていること」(47.3%)、「買い物など、生活に便利な場所であること」(30.4%)が男性より多くなっている。

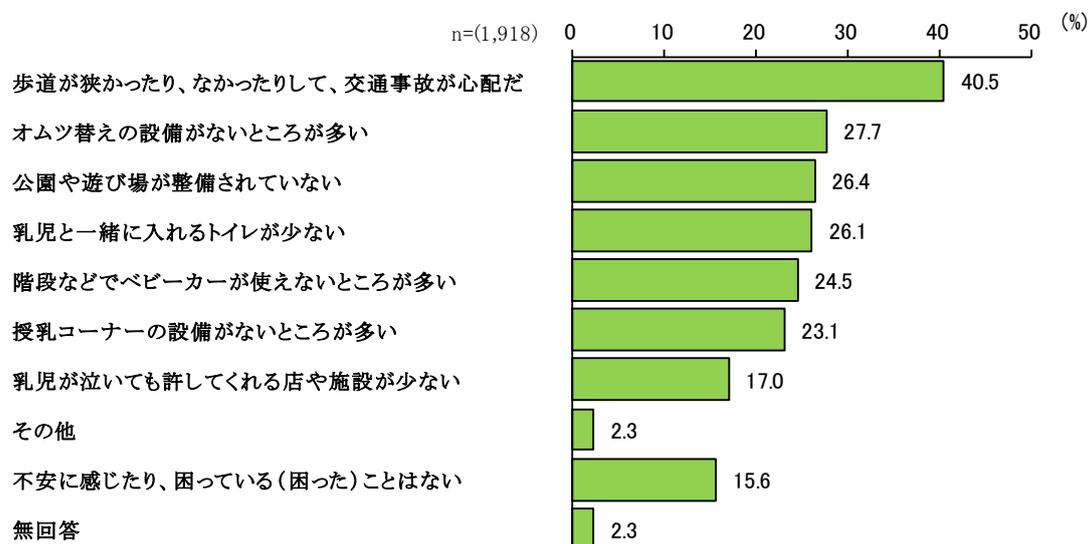
年齢別にみると、年齢が下がるほど「子どもを遊ばせる公園などが近くにあること」は多くなり、20～29歳では48.6%となっている。「医療機関が近くにあること」は年齢が上がるほど多くなり、50歳以上では約5割となっている。「犯罪や危険のない場所であること」は30～49歳で約6割と多く、「職場に近く、仕事と子育ての両方に便利なこと」は20～39歳で約2割と他の年齢より多くなっている。

子どもの年齢別にみると、子どもの年齢が下がるほど「子どもを遊ばせる公園などが近くにあること」は多くなり、0歳～小学生(1～3年生)では約4割となっている。「職場に近く、仕事と子育ての両方に便利なこと」も年齢が下がるほど概ね多くなり、小学校入学前では約2割と他の年齢より多い。「交通安全に配慮した通学路などが整備されていること」は3歳～小学生(4～6年生)で約5割と、「犯罪や危険のない場所であること」は小学生(1～3年生)～中学生で約6割と他の年齢より多くなっている。中学生以上になると「医療機関が近くにあること」が4割以上となり、「買い物など、生活に便利な場所であること」も約3割と他の年齢より多くなっている。

Ⅲ 調査結果

(3) 乳児を連れて外出する時の不安や困りごと

問40 あなたは、乳児を連れて外出する時に不安を感じたり、困っていること（または過去に困ったこと）は、どのようなことですか。（選択肢1～8のうち、特に困っている項目の番号を3つまで○をつけてください。ただし、「9. 不安を感じたり、困っている（困った）ことはない」を選んだ方は他に○をつけないでください。）



乳児を連れて外出する時の不安や困りごとについては、「歩道が狭かったり、なかったりして、交通事故が心配だ」が40.5%と最も多く、以下、「オムツ替えの設備がないところが多い」（27.7%）、「公園や遊び場が整備されていない」（26.4%）、「乳児と一緒に入れるトイレが少ない」（26.1%）などとなっている。

前回調査と比較すると、設問や選択肢が異なるため単純比較はできないが、前回3位の「歩道が狭い・ない」（前回：33.1%）は約7ポイント増加し1位に上昇し、前回1位の「公園や遊び場が少ない」（前回：34.9%）は約8ポイント減少し3位となった。

《参考：前回調査結果（県民アンケート調査）》

順位	選択肢	%
1	公園や遊び場が少ない	34.9
2	乳児と一緒に入れるトイレやオムツ替えや授乳コーナーの設備がないところが多い	34.1
3	歩道が狭かったり、なかったりする	33.1
4	公園や遊び場などに休憩施設（屋根がある、手が洗えるなど）がない	31.0
5	小さい子を連れて入れるレストランやカフェがない	28.2
6	階段などでベビーカー（バギー）が使えないところが多い	19.9
-	特にこまる（こまった）ことはない	17.2

【性別、年齢別、子どもの年齢別】

			調査数 (件)	な歩 事故か 道が狭 かつた りして 、交 通事故 が心配 だ	ろカ 階段 が多用 い使 えな いこ こ	ト乳 児と 一緒 に入 れる トイ レが 少な い	なオ ムツ 替え の設 備が ない とこ ろが 多い	が授 乳コ ーナ ーの 設 備 が ない とこ ろが 多い	少て なく れが 泣い てる 店や 施設 が許 しが し	さ公 園や 遊び 場が 整備 されて いな い	そ 他	た困 っ てい るこ とは ない	不安 に感 じたり 、困 っ てい るこ とは ない	無 回 答
全体			1,918	40.5	24.5	26.1	27.7	23.1	17.0	26.4	2.3	15.6	2.3	
性別	男性		545	44.0	23.3	22.8	31.4	16.5	14.1	26.6	1.5	16.5	2.9	
	女性		1,369	39.2	24.9	27.5	26.3	25.7	18.2	26.2	2.7	15.3	2.0	
年齢別	20歳未満		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	20～29歳		109	49.5	24.8	45.0	34.9	31.2	13.8	26.6	3.7	7.3	3.7	
	30～39歳		684	39.2	26.0	27.6	33.8	27.5	15.9	27.0	2.9	14.0	1.9	
	40～49歳		891	40.1	24.1	24.1	24.5	21.0	17.8	24.0	1.6	18.5	1.1	
	50～59歳		182	41.2	20.3	20.9	18.7	15.9	20.9	31.3	3.3	12.6	6.6	
	60歳以上		27	33.3	22.2	14.8	22.2	7.4	7.4	37.0	3.7	25.9	11.1	
子どもの年齢別	0～3歳未満		415	39.3	28.4	39.3	41.0	33.7	17.1	24.1	4.3	7.0	1.4	
	3歳～小学校入学前		575	40.2	24.0	35.0	36.2	28.2	15.8	28.0	1.7	12.9	1.2	
	小学生（1～3年生）		591	41.6	25.4	27.9	29.3	26.2	16.6	26.4	2.0	14.6	1.5	
	小学生（4～6年生）		608	39.5	23.4	23.0	22.0	19.9	16.1	25.7	1.3	19.9	1.5	
	中学生		685	40.0	24.1	19.7	21.0	18.2	16.9	28.9	1.6	18.2	2.6	
	高校以上の学生		533	38.6	20.3	18.6	21.8	18.8	17.3	27.6	1.9	19.3	2.6	
	就職している		158	41.1	25.3	18.4	18.4	20.3	19.0	23.4	1.9	17.7	3.2	
	その他		32	28.1	25.0	21.9	25.0	12.5	9.4	46.9	-	12.5	18.8	

性別にみると、男性は「オムツ替えの設備がないところが多い」（31.4%）が女性より多く、女性は「授乳コーナーの設備がないところが多い」（25.7%）が男性より多くなっている。

年齢別にみると、20～29歳では「歩道が狭かったり、なかったりして、交通事故が心配だ」が49.5%と他の年齢より多くなっている。

また、年齢が下がるほど概ね「乳児と一緒に入れるトイレが少ない」、「オムツ替えの設備がないところが多い」、「授乳コーナーの設備がないところが多い」は多くなり、20～39歳では3～4割程度となっている。「公園や遊び場が整備されていない」は50歳以上で3割台と他の年齢よりやや多くなっている。

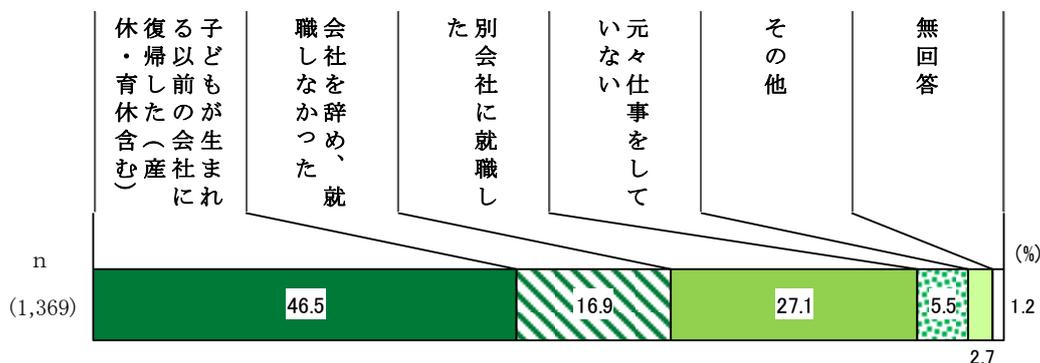
子どもの年齢別にみると、いずれの年齢も「歩道が狭かったり、なかったりして、交通事故が心配だ」が約4割と多くなっている。「乳児と一緒に入れるトイレが少ない」、「オムツ替えの設備がないところが多い」、「授乳コーナーの設備がないところが多い」は年齢が下がるほど概ね多くなり、小学校入学前以下で3～4割程度となっている。

また、0～3歳未満は「階段などでベビーカーが使いえないところが多い」が28.4%と他の年齢より多くなっている。

Ⅲ 調査結果

(4) 出産後の就職状況 ※女性の方

問41 出産後のあなたの就職状況を教えてください。(1つだけ○をつけてください。)



出産後の就職状況については、「子どもが生まれる以前の会社に復帰した(産休・育休含む)」が46.5%と最も多くなっている。以下、「別会社に就職した」(27.1%)、「会社を辞め、就職しなかった」(16.9%)、「元々仕事をしていない」(5.5%)となっている。

【年齢別、職業別】

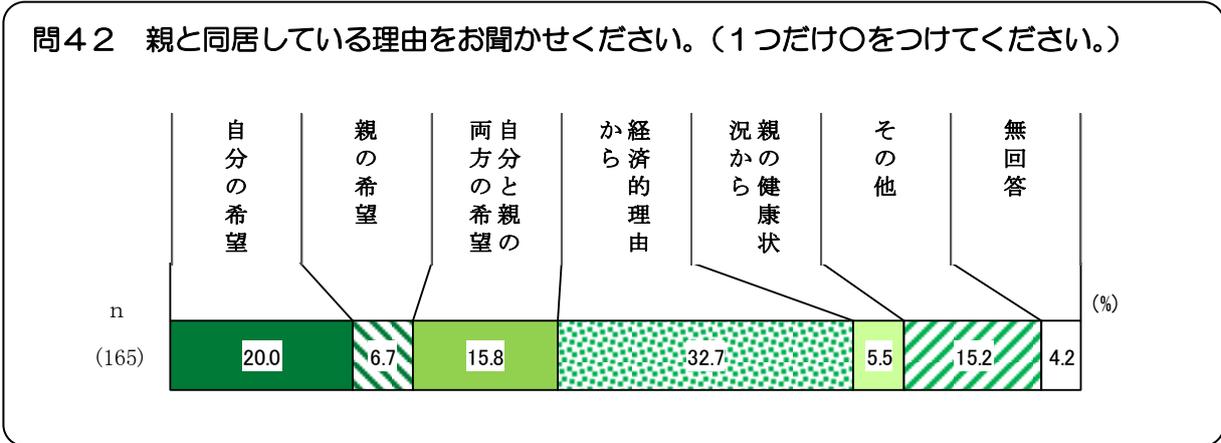
		調査数(件)	子どもが生まれる以前の会社に復帰した(産休・育休含む)	会社を辞め、就職しなかった	別会社に就職した	元々仕事をしていない	その他	無回答
全体		1,369	46.5	16.9	27.1	5.5	2.7	1.2
年齢別	20歳未満	-	-	-	-	-	-	-
	20～29歳	96	47.9	9.4	26.0	6.3	6.3	4.2
	30～39歳	527	50.3	16.1	28.3	3.6	1.3	0.4
	40～49歳	631	44.1	18.4	27.6	6.3	3.0	0.6
	50～59歳	96	38.5	19.8	22.9	9.4	5.2	4.2
	60歳以上	4	25.0	-	-	-	-	75.0
職業別	正規雇用の従業員(公務員含む)	544	75.0	2.9	19.3	0.6	1.3	0.9
	非正規職員	487	31.2	13.8	47.6	4.5	2.5	0.4
	自営業主・家族従業員	88	64.8	8.0	11.4	4.5	9.1	2.3
	専業主婦(主夫)、無職、学生、その他	240	7.9	58.8	8.3	19.2	4.2	1.7

年齢別にみると、年齢が下がるほど概ね「子どもが生まれる以前の会社に復帰した(産休・育休含む)」が多くなり、20～39歳では約5割となっている。「会社を辞め、就職しなかった」は年齢が上がるほど多くなり、40～59歳で約2割となっている。

職業別にみると、正規雇用では「子どもが生まれる以前の会社に復帰した(産休・育休含む)」が75.0%と最も多くなっている。非正規職員では「別会社に就職した」が47.6%、「子どもが生まれる以前の会社に復帰した(産休・育休含む)」が31.2%となっている。未就労者では「会社を辞め、就職しなかった」が多く、出産を機に未就労となった人が約6割となっている。

6. あなたご自身のことについて ※未婚で子どもがいない方

(1) 親と同居している理由 ※親と同居している方



親と同居している理由については、「経済的理由から」が32.7%と最も多く、以下、「自分の希望」(20.0%)、「自分と親の両方の希望」(15.8%) などとなっている。

また、「その他」(15.2%) の内容としては、“学生のため” や “特に理由はない” などとなっている。

【年齢別】

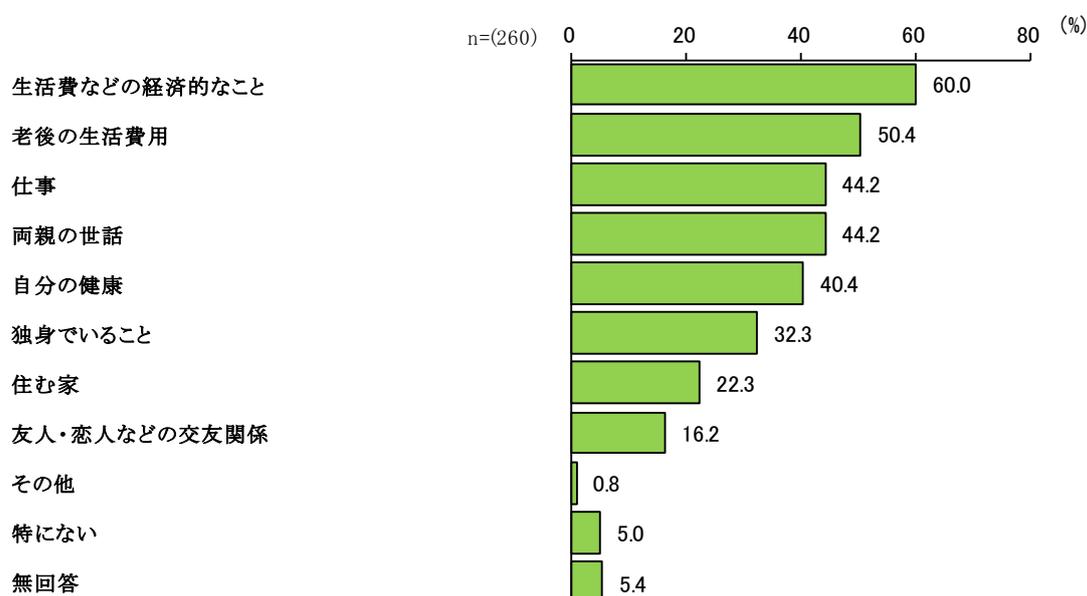
		(件)	自分の希望	親の希望	両方の方と親の希望	経済的理由から	親からの健康状況	その他	無回答
全体		165	20.0	6.7	15.8	32.7	5.5	15.2	4.2
年齢別	20歳未満	-	-	-	-	-	-	-	-
	20～29歳	68	20.6	5.9	11.8	41.2	1.5	14.7	4.4
	30～39歳	49	20.4	10.2	20.4	24.5	6.1	10.2	8.2
	40～49歳	29	24.1	3.4	20.7	31.0	6.9	13.8	-
	50～59歳	16	12.5	6.3	6.3	31.3	18.8	25.0	-
	60歳以上	-	-	-	-	-	-	-	-

年齢別にみると、20～29歳では「経済的理由から」が41.2%と最も多く、他の年齢を上回っている。30～49歳では「自分と親の両方の希望」が約2割、50～59歳では「親の健康状況から」が約2割と他の年齢を上回っている。

Ⅲ 調査結果

(2) 将来への不安

問43 あなたは、ご自分の将来について不安に思っていることがありますか。
 (あてはまる番号のすべてに○をつけてください。ただし、「特にない」を選んだ方は他に○をつけないでください。)



将来への不安については、「生活費などの経済的なこと」が60.0%と最も多く、以下、「老後の生活費用」(50.4%)、「仕事」(44.2%)、「両親の世話」(44.2%)、「自分の健康」(40.4%)などとなっている。

【性別、年齢別】

		調査数(件)	生活費などの経済的なこと	住む家	仕事	両親の世話	自分の健康	友人・恋人などの交友関係	独身でいること	老後の生活費用	その他	特にない	無回答
全体		260	60.0	22.3	44.2	44.2	40.4	16.2	32.3	50.4	0.8	5.0	5.4
性別	男性	108	60.2	25.0	53.7	46.3	40.7	20.4	30.6	45.4	0.9	8.3	4.6
	女性	151	60.3	20.5	37.7	43.0	40.4	13.2	33.8	54.3	0.7	2.6	5.3
年齢別	20歳未満	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	100.0	-
	20～29歳	108	61.1	23.1	52.8	36.1	28.7	22.2	25.9	37.0	-	3.7	7.4
	30～39歳	74	59.5	16.2	43.2	51.4	40.5	18.9	37.8	56.8	1.4	6.8	5.4
	40～49歳	45	53.3	31.1	33.3	51.1	51.1	-	37.8	66.7	2.2	6.7	4.4
	50～59歳	29	65.5	24.1	37.9	44.8	72.4	13.8	37.9	62.1	-	-	-
	60歳以上	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

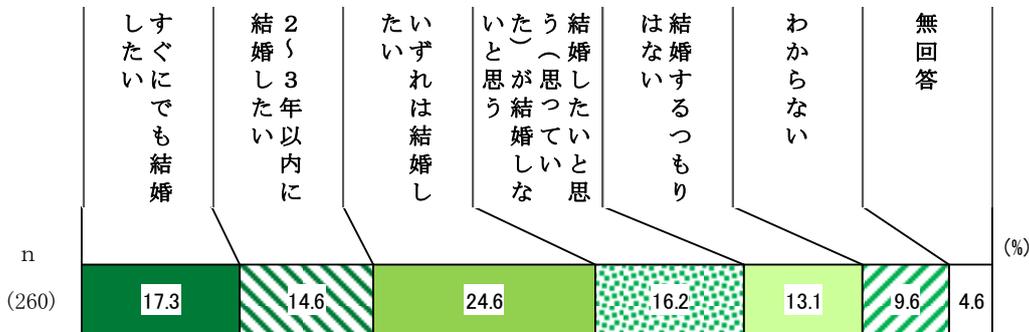
性別にみると、男性・女性ともに生活費、両親の世話、自分の健康が多く、その他、男性は「仕事」(53.7%)が顕著に現れており、「友人・恋人などの交友関係」(20.4%)も女性を上回っている。女性は「老後の生活費用」(54.3%)が男性より多くなっている。

年齢別にみると、年齢が下がるほど概ね「仕事」が多くなり、年齢が上がるほど「自分の健康」と「老後の生活費用」が多くなる傾向となっている。「両親の世話」では30～49歳で約5割と他の年齢より多く、「独身でいること」では30～59歳でやや多く約4割となっている。

7. あなたの結婚に対する考えについて ※未婚で子どもがいない方

(1) 結婚に対する考え

問44 一生を通して考えた場合、あなたの結婚に対するお考えは、次のうちいずれにもっとも近いですか。(1つだけ〇をつけてください。)



結婚に対する考えについては、「いずれは結婚したい」が24.6%と最も多く、以下、「すぐにも結婚したい」(17.3%)、「結婚したいと思う(思っていた)が結婚しないと思う」(16.2%)、「2~3年以内に結婚したい」(14.6%)となっており、『結婚したい』人は72.7%となっている。

一方、「結婚するつもりはない」は13.1%となっており、「わからない」は9.6%となっている。

【性別、年齢別】

		調査数(件)	すぐにも結婚したい	2~3年以内に結婚したい	いずれは結婚したい	結婚したいと思う(思っていた)が結婚しないと思う	結婚するつもりはない	わからない	無回答
全体		260	17.3	14.6	24.6	16.2	13.1	9.6	4.6
性別	男性	108	14.8	12.0	23.1	19.4	18.5	9.3	2.8
	女性	151	19.2	16.6	25.8	13.9	9.3	9.9	5.3
年齢別	20歳未満	1	-	-	100.0	-	-	-	-
	20~29歳	108	14.8	24.1	36.1	9.3	6.5	3.7	5.6
	30~39歳	74	27.0	14.9	20.3	16.2	8.1	8.1	5.4
	40~49歳	45	15.6	2.2	11.1	24.4	26.7	15.6	4.4
	50~59歳	29	3.4	-	13.8	31.0	27.6	24.1	-
	60歳以上	-	-	-	-	-	-	-	-

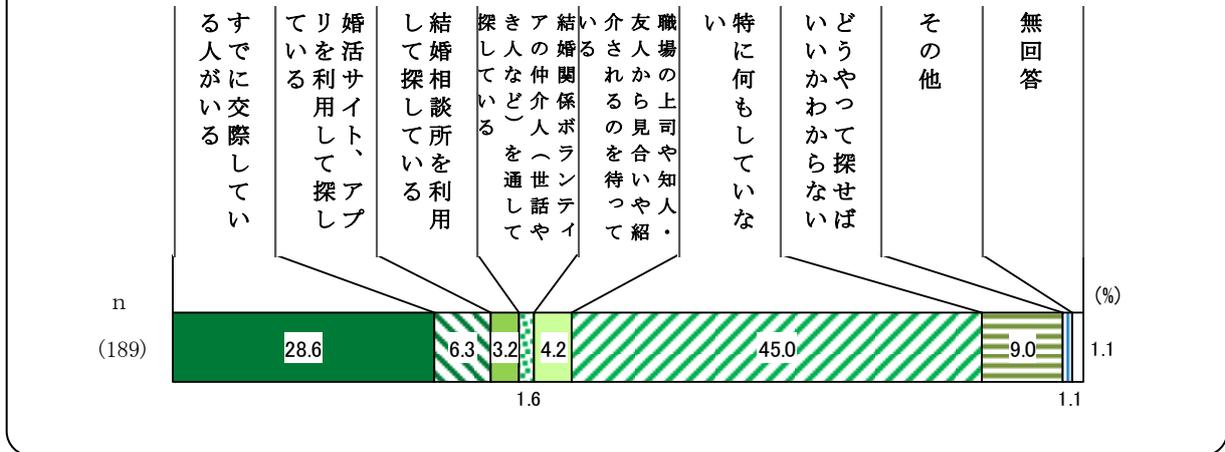
性別にみると、女性の『結婚したい』人は75.5%に対し、男性は69.3%と少なく、「結婚するつもりはない」が18.5%と女性より多くなっている。

年齢別にみると、20~29歳では『結婚したい』人は84.3%、30~39歳では78.4%となっているが、40~49歳では53.3%、50~59歳では48.2%に留まり、40~59歳は「結婚するつもりはない」や「わからない」が多くなる。

Ⅲ 調査結果

(2) 結婚相手を探すためにしていること ※結婚したい方

問45 あなたは、結婚相手を探すためにどのようなことをしていますか(していましたか)。
(最もあてはまると思われる番号1つだけ○をつけてください。)



結婚相手を探すためにしていることについては、「特に何もしていない」が45.0%と最も多く、「すでに交際している人がある」も28.6%と多くなっている。

一方、婚活サイトや仲介人など何らかの手段で『探している』人は11.1%、「どうやって探せばいいかわからない」は9.0%となっている。

【性別、年齢別】

		調査数(件)	すでに交際している人がある	婚活サイト、アプリを利用している	結婚相談所を利用している	仲介人(世話やアの人など)を通して探している	職場の上司や知人・友人から見合いや紹介されるのを待っている	特に何もしていない	どうかやってみて探せばいいかわからない	その他	無回答
全体		189	28.6	6.3	3.2	1.6	4.2	45.0	9.0	1.1	1.1
性別	男性	75	18.7	8.0	5.3	1.3	4.0	46.7	10.7	2.7	2.7
	女性	114	35.1	5.3	1.8	1.8	4.4	43.9	7.9	-	-
年齢別	20歳未満	1	-	-	-	-	-	100.0	-	-	-
	20~29歳	91	37.4	4.4	2.2	2.2	1.1	41.8	9.9	-	1.1
	30~39歳	58	22.4	10.3	1.7	1.7	8.6	39.7	12.1	3.4	-
	40~49歳	24	16.7	4.2	8.3	-	4.2	62.5	4.2	-	-
	50~59歳	14	14.3	7.1	7.1	-	7.1	57.1	-	-	7.1
	60歳以上	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

性別にみると、男性・女性ともに「特に何もしていない」が4割台と最も多くなっているが、女性は「すでに交際している人がある」が35.1%と次いで多くなっている。男性は「特に何もしていない」と「どうやって探せばいいかわからない」が女性よりやや多くなっている。

年齢別にみると、40~59歳では「特に何もしていない」が約6割と他の年齢より多くなっている。20~39歳は「すでに交際している人がある」が他の年齢よりやや多くなっているものの、「どうやって探せばいいかわからない」がそれぞれ約1割存在する。

【結婚に対する考え別】

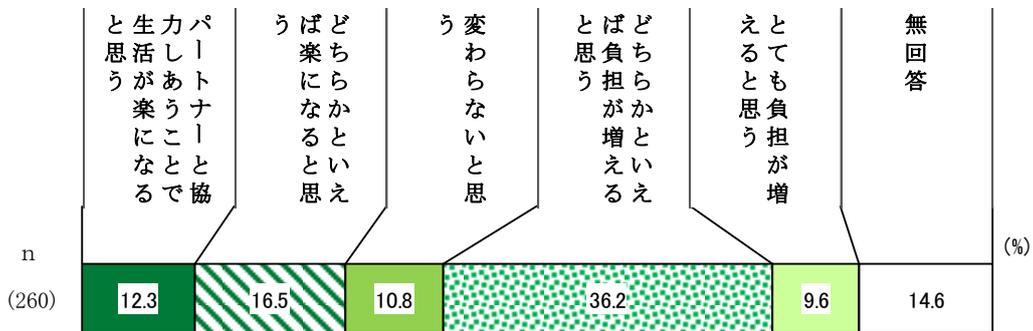
		(%)											
		調査数 (件)	すでに交際している人が	婚活サイトで探しているアプリを利用	結婚相談所を利用して探	仲介人(世話やキティアのど)を通して探している	結婚関係ボランティアの	のを見合いや紹介される	職場の上司や知人・友人	特に何もしていない	わかからない	その他	無回答
全 体		189	28.6	6.3	3.2	1.6	4.2	45.0	9.0	1.1	1.1		
結 婚 に 対 す る 考 え 別	すぐにでも結婚したい	45	48.9	4.4	4.4	-	13.3	17.8	8.9	2.2	-		
	2～3年以内に結婚したい	38	47.4	13.2	-	-	2.6	21.1	10.5	2.6	2.6		
	いずれは結婚したい	64	18.8	3.1	-	3.1	1.6	65.6	7.8	-	-		
	結婚したいと思う(思っていた)が結婚しないと思う	42	4.8	7.1	9.5	2.4	-	64.3	9.5	-	2.4		

結婚に対する考え別にみると、すぐにでも結婚したい及び2～3年以内に結婚したいでは「すでに交際している人がいる」が約5割と最も多く、また、2～3年以内に結婚したいは「婚活サイト、アプリを利用して探している」が他より多くなっている。いずれは結婚したい及び結婚したいと思う(思っていた)が結婚しないと思うでは「特に何もしていない」が最も多く6割以上となっている一方で、結婚したいと思う(思っていた)が結婚しないと思うは、婚活サイトや仲介人など何らかの手段で『探している』人が19.0%と他より多くなっている。

Ⅲ 調査結果

(3) 結婚後の生活変化の考え

問46 あなたは、結婚すると、生活にどのような変化があると思いますか。
(1つだけ○をつけてください。)



結婚後の生活変化の考えについては、「どちらかといえば負担が増えると思う」が36.2%と最も多く、「とても負担が増えると思う」(9.6%)を合わせた『負担が増えると思う』人は45.8%となっている。

一方、「パートナーと協力しあうことで生活が楽になると思う」(12.3%)と「どちらかといえば楽になると思う」(16.5%)を合わせた『楽になると思う』人は28.8%に留まっている。
なお、「変わらないと思う」は10.8%となっている。

【性別、年齢別】

		調査数 (件)	が楽になると思う生活	パートナーと協力しあうことで生活が楽になると思う	どちらかといえば楽になると思う	変わらないと思う	どちらかといえば負担が増えると思う	とても負担が増えると思う	無回答
全体		260	12.3	16.5	10.8	36.2	9.6	14.6	
性別	男性	108	11.1	17.6	11.1	29.6	15.7	14.8	
	女性	151	13.2	15.9	10.6	41.1	5.3	13.9	
年齢別	20歳未満	1	-	100.0	-	-	-	-	
	20～29歳	108	13.0	15.7	12.0	41.7	6.5	11.1	
	30～39歳	74	9.5	21.6	13.5	35.1	9.5	10.8	
	40～49歳	45	15.6	8.9	4.4	31.1	17.8	22.2	
	50～59歳	29	13.8	13.8	10.3	31.0	6.9	24.1	
	60歳以上	-	-	-	-	-	-	-	

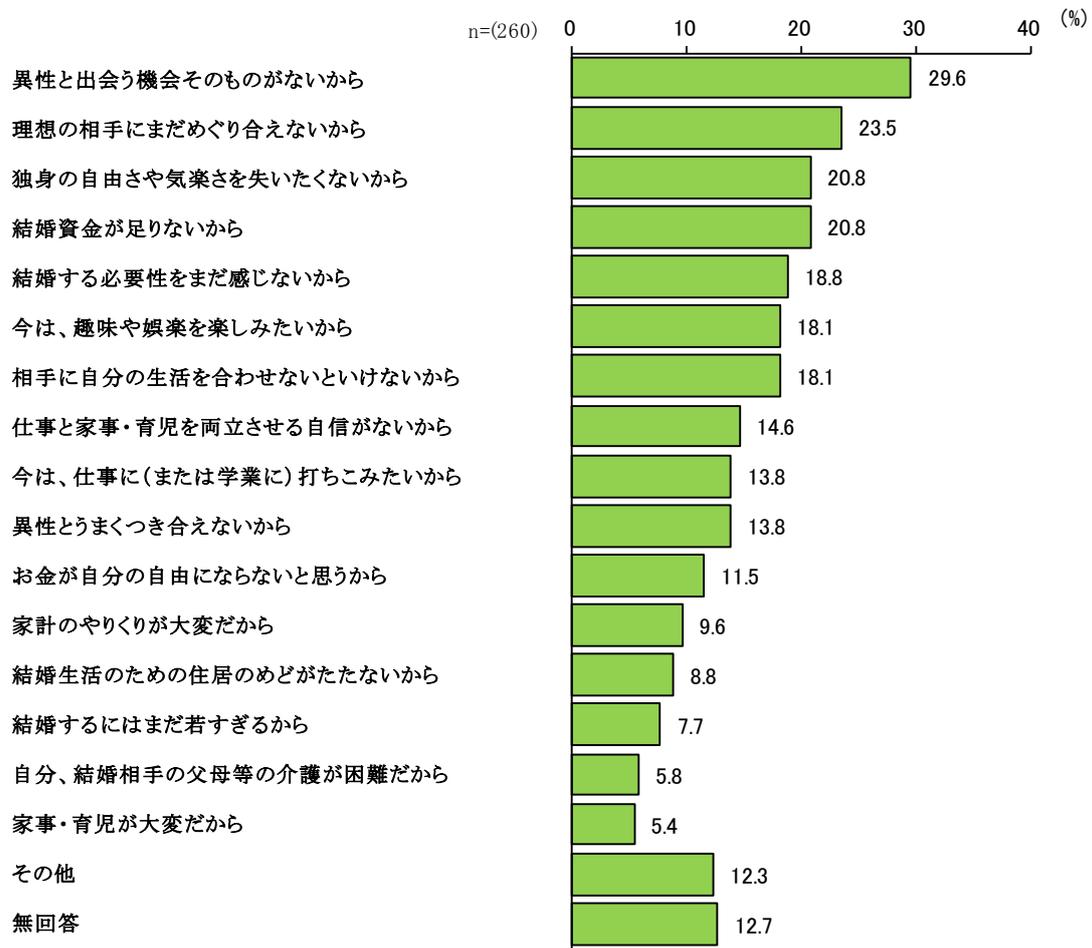
性別にみると、男性・女性ともに『負担が増えると思う』人は4割台となっているが、女性は「どちらかといえば負担が増えると思う」が41.1%と男性より多く、男性は「とても負担が増えると思う」が15.7%と女性より多くなっている。

年齢別にみると、20～29歳と40～49歳の『負担が増えると思う』人は約5割と他の年齢よりやや多く、20～29歳では「どちらかといえば負担が増えると思う」が41.7%、40～49歳では「とても負担が増えると思う」が17.8%と他の年齢より多くなっている。

(4) 現在独身でいる理由

問47 あなたが現在独身でいる理由は、次のうちどれですか。

(ご自分の気持ちにあてはまると思われる番号すべてに○をつけてください。)



現在独身でいる理由については、「異性と出会う機会そのものがないから」が29.6%と最も多く、以下、「理想の相手にまだめぐり合えないから」(23.5%)、「独身の自由さや気楽さを失いたくないから」(20.8%)、「結婚資金が足りないから」(20.8%)、「結婚する必要性をまだ感じないから」(18.8%)などとなっている。

Ⅲ 調査結果

【性別、年齢別】

			(%)									
		調査数(件)	若結婚するからまだ	結婚する必要性をまだ感じないから	こは、学業に(または)打ちこみたいから	今は、趣味や娯楽を楽しみたいから	い楽さを失いたくないから	独身の自由さや気楽さを失いたくないから	らめ理想の相手がいないから	らそのものがないから	合異性とうまくつき合えないから	い結か資金が足りない
全体		260	7.7	18.8	13.8	18.1	20.8	23.5	29.6	13.8	20.8	
性別	男性	108	9.3	18.5	12.0	17.6	20.4	24.1	33.3	21.3	32.4	
	女性	151	6.6	19.2	15.2	18.5	21.2	23.2	27.2	8.6	12.6	
年齢別	20歳未満	1	100.0	-	100.0	-	-	-	-	-	-	
	20～29歳	108	17.6	25.9	22.2	29.6	22.2	19.4	27.8	13.9	29.6	
	30～39歳	74	-	18.9	13.5	14.9	20.3	29.7	37.8	16.2	17.6	
	40～49歳	45	-	11.1	2.2	4.4	22.2	26.7	24.4	17.8	6.7	
	50～59歳	29	-	6.9	-	6.9	13.8	20.7	27.6	3.4	17.2	
	60歳以上	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	

		な住居のめどがたないから	大家計のやりくりが大変だから	だ家事・育児が大変だから	がを両立させないから	難だ、等、結婚相手が手	自父母、等、結婚相手が手	けな合に自分の生活	を合に自分の生活	相手を合に自分の生活	かからなら自分の自由	お金がないから	その他	無回答
全体		8.8	9.6	5.4	14.6	5.8	18.1	11.5	12.3	12.7				
性別	男性	14.8	16.7	4.6	13.0	5.6	17.6	15.7	11.1	9.3				
	女性	4.6	4.6	6.0	15.9	6.0	18.5	8.6	13.2	14.6				
年齢別	20歳未満	-	-	-	-	-	-	-	-	-				
	20～29歳	11.1	13.0	6.5	18.5	3.7	15.7	11.1	8.3	11.1				
	30～39歳	10.8	6.8	5.4	13.5	4.1	20.3	10.8	14.9	8.1				
	40～49歳	2.2	4.4	-	11.1	8.9	17.8	11.1	15.6	20.0				
	50～59歳	6.9	10.3	10.3	10.3	13.8	24.1	13.8	17.2	17.2				
	60歳以上	-	-	-	-	-	-	-	-	-				

性別にみると、男性・女性ともに「異性と出会う機会そのものがないから」が最も多く3割前後となっており、男性は次いで、「結婚資金が足りないから」(32.4%)、「理想の相手にまだめぐり合えないから」(24.1%)となっている。女性は次いで、「理想の相手にまだめぐり合えないから」(23.2%)、「独身の自由さや気楽さを失いたくないから」(21.2%)となっている。

また、男性は「結婚資金が足りないから」、「異性とうまくつき合えないから」、「結婚生活のための住居のめどがたないから」、「家計のやりくりが大変だから」、「お金が自分の自由にならないと思うから」が女性より多くなっている。

年齢別にみると、20～29歳では「今は、趣味や娯楽を楽しみたいから」と「結婚資金が足りないから」が約3割と最も多く、「結婚するにはまだ若すぎるから」、「結婚する必要性をまだ感じないから」、「今は、仕事に(または学業に)打ちこみたいから」、「仕事と家事・育児を両立させる自信がないから」でも他の年齢より多くなっている。30～49歳では「理想の相手にまだめぐり合えないから」、「異性と出会う機会そのものがないから」が多く、特に30～39歳は「異性と出会う機会そのものがないから」が37.8%となっている。「異性とうまくつき合えないから」も30～49歳が他の年齢より多くなっている。50～59歳では「相手に自分の生活を合わせないといけなから」が24.1%と他の年齢より多くなっている。

【結婚に対する考え別】

		調査数 (件)	結婚するからまだ	まだ感じないから	こみは学業に打ち	今は、仕事に(または学業に)打ちこみ	今は、趣味や娯楽	独身の自由さや気	めぐりの相手をい	理想の相手をい	その他	異性とうまくつき	合えないから	結婚資金が足りない
全体		260	7.7	18.8	13.8	18.1	20.8	23.5	29.6	13.8	20.8			
結婚に対する考え別	すぐにでも結婚したい	45	-	-	6.7	2.2	-	26.7	31.1	11.1	26.7			
	2～3年以内に結婚したい	38	10.5	7.9	13.2	21.1	18.4	21.1	34.2	13.2	31.6			
	いずれは結婚したい	64	20.3	34.4	32.8	37.5	28.1	34.4	32.8	14.1	21.9			
	結婚したいと思う(思っていた)が結婚しないと思う	42	-	26.2	9.5	16.7	33.3	16.7	52.4	26.2	23.8			
	結婚するつもりはない	34	2.9	29.4	2.9	11.8	32.4	17.6	5.9	17.6	8.8			
	わからない	25	8.0	12.0	8.0	12.0	16.0	24.0	20.0	-	12.0			

		ない居から	住居の生活がため	大家計のやりくり	だ家事・育児が大変	が両立させざる・育児	仕事を家事・育児	難だから	自分、結婚相手が困	けを合かせないとい	を相手に自分の生活	かから	お金の自由	その他	無回答
全体		8.8	9.6	5.4	14.6	5.8	18.1	11.5	12.3	12.7					
結婚に対する考え別	すぐにでも結婚したい	11.1	4.4	2.2	6.7	2.2	6.7	2.2	22.2	2.2					
	2～3年以内に結婚したい	15.8	10.5	5.3	21.1	7.9	15.8	7.9	10.5	2.6					
	いずれは結婚したい	4.7	7.8	3.1	17.2	4.7	18.8	14.1	4.7	-					
	結婚したいと思う(思っていた)が結婚しないと思う	9.5	16.7	7.1	19.0	9.5	31.0	14.3	21.4	2.4					
	結婚するつもりはない	11.8	14.7	11.8	17.6	8.8	23.5	20.6	8.8	35.3					
	わからない	4.0	8.0	8.0	8.0	4.0	20.0	16.0	12.0	24.0					

結婚に対する考え別にみると、すぐにでも結婚したい及び2～3年以内に結婚したい、結婚したいと思う(思っていた)が結婚しないと思うでは「異性と出会う機会そのものがないから」が最も多く、特に、結婚したいと思う(思っていた)が結婚しないと思うは約5割となっている。

また、すぐにでも結婚したい及び2～3年以内に結婚したいは「結婚資金が足りないから」も他より多くなっている。いずれは結婚したいでは「今は、趣味や娯楽を楽しみたいから」(37.5%)が最も多く、「結婚する必要性をまだ感じないから」(34.4%)、「理想の相手にまだめぐり合えないから」(34.4%)、「今は、仕事に(または学業に)打ちこみたいから」(32.8%)も他より多く、いずれも3割以上となっている。結婚したいと思う(思っていた)が結婚しないと思う及び結婚するつもりはないは、「独身の自由さや気楽さを失いたくないから」が3割台と他より多くなっている。

8. 自由意見

(1) 少子化や子育てに関する意見

問27 今後、県や市町村で実施してほしい、少子化や子育てに関するご意見がありましたらお聞かせください。

順位	内容	件数
1	経済的負担について	225
2	生活環境について	155
3	不妊治療・少子化対策について	105
4	行政全般・計画づくりについて	98
5	労働環境について	95
6	母子保健・医療について	88
7	学校環境について	85
8	幼児教育・保育について	74
9	子どもの貧困・虐待・親への教育について	46
10	子育て支援について	43
11	放課後児童について	27
12	その他	17
合 計		1,058

※複数回答を含むため、意見件数は回答者数より多くなっている

少子化や子育てに関する意見を自由記述としてたずねたところ、595人から1,058件の意見があった。

その内容を分類し、意見が多かった順にしたところ、「経済的負担について」（225件）が最も多く、以下、「生活環境について」（155件）、「不妊治療・少子化対策について」（105件）、「行政全般・計画づくりについて」（98件）などとなっている。

それぞれの主な意見は次の通りとなっている。

① 経済的負担について

- フードバンクを通しての支援（子ども食堂、母子家庭、困っている人への提供）。安い金額で（又は無料）参加できる塾のようなもの（塾代の負担が、大きな負担）。（女性、40代、県北）
- 少子化に対する施策は2つあると考えます。経済面・環境面。経済は子育てに係る費用負担が大きく、子作りを制限している実状があること。環境面は、特に母親が就労している場合育児休暇の取得や、復職のための保育施設の整備が必要と思います。（男性、40代、いわき）
- 多子世帯への経済的支援、住宅支援。小さい子どもがいるが、入園料、保育料を払う余裕がなく中々働きに出ることの出来ない世帯への支援。（女性、20代、県中）

② 生活環境について

- 子どもが外に出やすい環境づくり。県や市町村毎の子どもに対するイベント。出産やその後の仕事復帰、子育てのしやすい町づくり。（男性、30代、県中）
- 子どもの遊び場の設置（屋内・屋外）。保育所補助または全年齢補助。住宅手当の補助。子ども手当アップ。（男性、30代、会津）
- 無料で遊べる広い遊び場、屋内、屋外を作ってほしい。子どもを連れてでもご飯に行きやすい飲食店。キッズスペースのあるお店作りをしてほしい。公園でのボール遊び、自転車遊びをむやみに禁止にしないでほしい。（女性、20代、県北）
- 歩道の整備。特別支援児童の積極的な受け入れ（各小学校に作ること）。教員の人材育成（相談できるようにする）。（男性、40代、県中）

③ 不妊治療・少子化対策について

- 結婚を望まない人が増えているので、まずはそこから始めないといけないと思います。出会いの場を増やす。結婚って良いことだと言うことをアピールする。（女性、40代、相双）
- 震災の影響でただでさえ少子化が進みすぎている。県内の女子大生、女子高生が他県に行かずに就職進学する魅力が必要。（女性、40代、県南）
- 私は4年間不妊治療を受けてやっと子供を授かりました。不妊治療には4年間で100万円ほど費用がかかりました（ステップは人工授精まで）。精神的負担に加えて経済的な負担もあるので、もっともっと不妊治療に対する助成や支援が充実することを期待しています。（女性、30代、県北）

④ 行政全般・計画づくりについて

- 少子化や子育てに関する対策を、今回のアンケートで知ることができた。子育て中の若い方に周知されているのか気になりました。子育て中の方の意見や、親となる世代の意見を直接聞く機会を設け具体的な悩みを収集する。交通安全教室のように、市町村・県の取り組みを伝えるのも良いと思う。高校や大学への出張授業などで、施策を知ってもらい、一緒に考えていけるなど。（女性、50代、県北）
- 高齢化している今の時代、近所付き合いもないのが当たり前みたいになっているが、そういう付き合いもかねて地域みんなで協力しあって婚活イベントや子供達と一緒においちゃんやおばあちゃんが遊んでくれたりとかしてみる様なことが出来ると思う。（女性、30代、いわき）
- 生まれ故郷に対する誇りと愛着を持ってもらうため、地元のよさを教える、歴史、文化を伝える仕組みづくり。震災で被災したからこそ、復興するため、地元のすばらしさを知ってもらうには、様々な体験活動を実施すること（自然、伝統、工作）。→自己肯定感を育む。生きる力を育む。→将来地元に戻り地元の未来を担う人材を育てることが少子化対策につながる。（男性、40代、県南）

Ⅲ 調査結果

⑤ 労働環境について

- 父親の育休取得推進、それにあわせて、父親が子育てをしやすい環境づくり。（女性、30代、いわき）
- 子育て世代の給料がここ20年変化がない。金がないと何もできないため賃金アップの施策が急務（福祉よりも）。（男性、40代、県北）
- 子供が保育園の時、私はフルタイムで仕事をしていましたが、発熱や嘔吐などでの呼びだし、休みが多く、仕事先で居づらくなり、離職することになりました。病児保育がもっと簡単に、人数を多く受け入れてほしいと思います。女性の活躍を期待するならば、離職しないで、同じ職場で勤め続けられるように、公的病院での病児保育等、公的機関でも考えてほしいと思います。時短にした後も、正規職員・社員へ戻れる社会のしくみも必要だと思います。（女性、40代、いわき）

⑥ 母子保健・医療について

- 住んでいる市町村にある産婦人科のマップや一覧などが欲しい。例えば、出産対応しているか。里帰り出産可か。不妊治療を行っているかなど。（女性、30代、県中）
- 病児保育がない。子育てしやすいまちづくり、出産サポートなどあるが、現代は核家族が多いので、核家族に対するサポート、出産後、働きやすいような体勢が整っていないと思う。実際、子供が具合悪い時の預け先などのサポートが増えれば核家族世帯にとってはありがたいと思う。（男性、20代、県中）
- 我が家には、障がい児（先天性心疾患）がいるので、就学に多少の不安があります。障がい児への対応や、安心して学べる環境づくりを充実させてほしいです。（女性、30代、県北）

⑦ 学校環境について

- 無償、低料金の学習支援（施設の設置）。（女性、40代、いわき）
- 土、日曜日子供達が自由に集まって勉強、遊び、食事など出来る場所がほしいです。（男性、30代、県北）
- 現在多くの小・中学校等では行われているが、障がいを持つ方や高齢者と子どもたちが触れ合うことで、個性やアイデンティティを大切に思う気持ちを育てる活動や施策を充実させ、いじめや社会的弱者と呼ばれる方々への偏見を減らすことができるのではないだろうかと思います。（男性、20代、県北）

⑧ 幼児教育・保育について

- 保育所などの施設を増やしてほしい。夫婦共働きでも働きやすく、子育てしやすい環境づくりをしてほしい。（女性、20代、県北）
- 保育士の確保。保育士の質向上。広域的な病児保育体制づくり。公立保育所、幼稚園に対する各種助成。ICT化に対する補助。預かり保育に対する支援。（女性、30代、県中）
- 待機児童を「0」それをキープしてほしい。まずは保育園等施設の充実。保育士の賃金を上げてほしい。（女性、20代、県中）

⑨ 子どもの貧困・虐待・親への教育について

- 児童虐待されている子ども自身が相談しやすい環境が必要だと思います。例えば、学校の教室や廊下などに相談窓口の電話番号が書いてあるポスターを常に貼っておく。いつでも大人にSOSを出していいという文言を入れておくなど。子供は簡単に大人に相談出来ないと思うので。（女性、40代、その他県外）
- 児童虐待について、虐待と分かって虐待している大人もいると思うが、虐待とは気づかないでしている大人もいると思う。政府で虐待防止について、色々と話合いが進んでいると思うが、虐待をしている大人をケアする人も必要だと思う。虐待する人も、やりたくてやっている人はわずかだと思う。虐待をしてしまう人の、心の相談をする場所、人等も同時に考えて欲しいと思う。もちろん虐待された子供を保護するのは最優先です。学校給食を無料にしていただけると大変助かります。（女性、40代、県中）
- 親（大人）自体の教育・学習。（男性、60代、県南）
- 低所得世帯でも、義務教育以外の学習や学びの場を作ってほしい。貧困のループを切るのは学問です。高所得者などだけが、スポーツ、習い事ができれば、低所得世帯に生まれた子供達は、代々、また低所得になっていきます。「自分には、可能性がなんでもある」と子どもに思わせ、言わせたい。安く安全な食べ物を消費したいです。そして、子どもの将来を見すえた食生活を送りたいです。（女性、40代、会津）

⑩ 子育て支援について

- 保育所不足を改善してほしいです。子供を預けられたとしても家や職場から遠かったり、希望する時期に入所できなかったりと不便な点がまだあるようです。その為には保育士の方の待遇改善など、人手不足を解消する対策を取る必要があると思います。また、一時保育や病児保育などの公的サービスを充実させてほしいです。子供が病気の時はあるべく傍らにいてあげたいと思っはいますが、夫婦共に都合がつかない時への不安は大きいです。特に私たちは実家が県外のため万一の時に頼れる身内が近くにおらず、このようなサービスがあれば是非利用したいです。（女性、20代、県中）
- 肉体的、精神的に辛いときなど気楽に相談できて気持ちが落ち着くように、数時間子どもを預かってくれるような施設があれば、お母さんたちにも心に余裕ができると思うし虐待等も減るのではないかと思う。その後のケアも大事だと思う。（女性、20代、相双）
- おむつ無料券の配布。病児預かり（当日での受けいれ）。飲食店等の子どもスペース（遊び場）導入への助成金。出産費用の負担軽減。（男性、30代、県南）

Ⅲ 調査結果

⑪ 放課後児童について

- 放課後児童クラブの受け入れ人数をもっと増やして欲しい。同時に、そこで働く支援員の人数も増やし、仕事を持つ親が安心して子供を預けることのできる環境をさらに整えてもらいたい。（女性、40代、県中）
- 小学校の使用していない教室を利用した学童保育があると、もっと安心して長時間働けるので、ぜひ検討していただきたいです。（女性、40代、県北）
- 全小学校に児童クラブ（放課後預かり場所）を設けるべき。留守番している児童をなくす（低学年1～3年まで）。公園の充実。自治センターの開放。雨の日、自治センター開放して集まれる。利用自由化。校庭解放。運動できる場所が少ない。（女性、30代、県中）

⑫ その他

- 震災以降は特に、若い世代の方が親との同居を望まないため、子育てが大変な環境を作っているような気がする。（女性、40代、相双）
- 高齢者対策をもっと本腰を入れてほしい。80才代を50才代で看なくてはならず、体力的、経済的にもう限界がきています。今、70～80代で年金が多い人は良いですが、ストレスや金銭的に困窮する方が今後多くなり、福島県も出遅れることになりかねません。（男性、50代、県北）
- テレビで見たのですが、一人暮らしの人と学生さんが一緒の家で生活するのが、お互いに得していたので良いと思いました。学校生活で使っていた物を集めて中古でもいい人などに使ってもらったり、外国などで使ってもらいたい。ゴミに捨てるのにも大変だった。もっと物を大切にし、地域の年上の人の話などを聞いて欲しいと思っています。（女性、50代、いわき）

IV 資料

IV 資料

1. 調査票

少子化・子育てに関する県民意識調査票

お答えいただいた内容については、すべて数字に置き換え、統計データとして使用いたしますので、個人名や個人的な内容が明らかになることはありません。

また、調査結果につきましては、報告書を作成し、県民の皆様にご公表することとしております。

お忙しいところ誠に恐縮ではありますが、調査の目的をご理解いただき、何とぞご協力くださいますようお願いいたします。

共通項目 1 あなたとあなたのご家族のことについておたずねします。

問1 あなたの性別をお答えください。(1つだけ○をつけてください。)

1. 男性 2. 女性

問2 あなたの年齢をお答えください。(数字を記入してください。)

_____ 歳 (令和元年5月1日現在)

問3 あなたがお住まいの市町村をお答えください。
(下の表の当てはまる市町村の番号に○をつけてください。)

(市 部)	1. 福島市	2. 会津若松市	3. 郡山市	4. いわき市	5. 白河市
	6. 須賀川市	7. 喜多方市	8. 相馬市	9. 二本松市	10. 田村市
	11. 南相馬市	12. 伊達市	13. 本宮市		
(伊達郡)	14. 桑折町	15. 国見町	16. 川俣町		
(安達郡)	17. 大玉村				
(岩瀬郡)	18. 鏡石町	19. 天栄村			
(南会津郡)	20. 下郷町	21. 檜枝岐村	22. 只見町	23. 南会津町	
(耶麻郡)	24. 北塩原村	25. 西会津町	26. 磐梯町	27. 猪苗代町	
(河沼郡)	28. 会津坂下町	29. 湯川村	30. 柳津町		
(大沼郡)	31. 三島町	32. 金山町	33. 昭和村	34. 会津美里町	
(西白河郡)	35. 西郷村	36. 泉崎村	37. 中島村	38. 矢吹町	
(東白川郡)	39. 棚倉町	40. 矢祭町	41. 塙町	42. 鮫川村	
(石川郡)	43. 石川町	44. 玉川村	45. 平田村	46. 浅川町	47. 古殿町
(田村郡)	48. 三春町	49. 小墾野			
(双葉郡)	50. 広野町	51. 檜葉町	52. 富岡町	53. 川内村	54. 大熊町
	55. 双葉町	56. 浪江町	57. 葛尾村		
(相馬郡)	58. 新地町	59. 飯館村			
(その他)	60. (県名記入)			

問4 あなたは、現在、結婚しているでしょうか。(1つだけ○をつけてください。)

1. 既 婚 (離婚・死別も含む) 2. 未 婚

問10 あなたと配偶者のご職業について、それぞれお答えください。
(それぞれあてはまる番号に○をつけてください)

職 業	あなた	配偶者 (※配偶者のいる方のみ)
正規雇用の従業員（公務員含む）	1	1
非正規職員（契約社員等フルタイム勤務）	2	2
非正規職員（パート・アルバイト・内職）	3	3
自営業主・家族従業員	4	4
専業主婦（主夫）	5	5
無 職	6	6
学 生	7	7
そ の 他	()	()

◆問10「あなたと配偶者のご職業について」で、1. 正規雇用の従業員、2. 非正規職員（契約社員等フルタイム勤務）、3. 非正規職員（パート・アルバイト・内職）、4. 自営業主・家族従業員 のいずれかに○をつけた方だけにお聞きます。

問11 あなたと配偶者の労働時間は、平均すると1週間でどのくらいですか。
(それぞれあてはまる番号に○をつけてください)

労働時間	あなた	配偶者 (※配偶者のいる方のみ)
35時間以下	1	1
36～40時間	2	2
41～50時間	3	3
51～60時間	4	4
61～70時間	5	5
71時間以上	6	6
その他 ()	7	7

◆問10「あなたと配偶者のご職業について」で、1. 正規雇用の従業員、2. 非正規職員（契約社員等フルタイム勤務）、3. 非正規職員（パート・アルバイト・内職）、4. 自営業主・家族従業員 のいずれかに○をつけた方だけにお聞きます。

問12 あなたと配偶者の帰宅時間（自宅で営業している場合は終業時間）は何時頃ですか。
(それぞれあてはまる番号に○をつけてください)

帰宅時間	あなた	配偶者 (※配偶者のいる方のみ)
午後6時以前	1	1
午後6時～7時前	2	2
午後7時～8時前	3	3
午後8時～9時前	4	4
午後9時～10時前	5	5
午後10時以降	6	6
不規則	7	7
その他 ()	8	8

問13 あなたの現在のお住まいは次のうちどれですか。
(1つだけ○をつけてください。)

- | |
|---------------------------------|
| 1. 自分(または配偶者)の持ち家【一戸建て】 |
| 2. 自分(または配偶者)の持ち家【マンションなどの集合住宅】 |
| 3. 親の持ち家【一戸建て】 |
| 4. 親の持ち家【マンションなどの集合住宅】 |
| 5. 民間の賃貸住宅 |
| 6. 公団・公社・県営・市町村営の賃貸住宅 |
| 7. 社宅・寮 |
| 8. 仮設・借上住宅・復興公営住宅等 |
| 9. その他() |

問14 現在のお住まいについてどのように感じていますか。
(下のa～iのそれぞれについて、あてはまる番号に○をつけてください。)

	そう思 う	ややそ う思う	あまり そう思 わない	そう思 わない
a. 広い	1	2	3	4
b. 十分な部屋数がある	1	2	3	4
c. 賃貸料(自宅の場合は維持費)などの住宅コストが安い	1	2	3	4
d. 学校(保育所等)が近い	1	2	3	4
e. 近くには公園があるなど環境面で優れている	1	2	3	4
f. 買い物や病院などが近くにあるので生活するのに便利	1	2	3	4
g. 職場に近くて便利	1	2	3	4
h. 交通が便利	1	2	3	4
i. 遊ぶところが近くにあって便利	1	2	3	4

問15 経済的な生活状況をどのように感じていますか。主観で結構です。
(1つだけ○をつけてください。)

- | |
|-------------|
| 1. ゆとりがある |
| 2. ややゆとりがある |
| 3. ふつう |
| 4. やや苦しい |
| 5. 苦しい |

共通項目 2 あなたの結婚や子どもに対するお考えを聞かせてください。

問16 あなたは、結婚することについてどのようなメリットがあると思いますか。
(あてはまる番号のすべてに○をつけてください。ただし、12、「メリットはない」を選んだ方は他に○をつけしないでください。)

- | | |
|-------------------|-------------------|
| 1. 経済的に余裕が持てる | 7. 性的な充足が得られる |
| 2. 社会的信用が得られる | 8. 生活上、便利になる |
| 3. 精神的な安らぎの場が得られる | 9. 親から独立できる |
| 4. 愛情を感じている人と暮らせる | 10. 親や周囲の期待に応えられる |
| 5. 責任感が向上する | 11. その他 () |
| 6. 子どもや家族を持てる | 12. メリットはない |

問17 あなたは、結婚することについてどのようなデメリットがあると思いますか。
(あてはまる番号のすべてに○をつけてください。ただし、12、「デメリットはない」を選んだ方は他に○をつけしないでください。)

- | | |
|----------------------|---------------------------|
| 1. 行動や生き方が制限される | 7. 友人関係が保ちにくくなる |
| 2. 異性との交際が制限される | 8. 親戚付き合いなどの煩(わづら)わしさが増える |
| 3. お金が自由に使えなくなる | 9. 仕事に支障がでる |
| 4. 自分の時間が思うように使えなくなる | 10. 親とのつながりが保ちにくくなる |
| 5. 住宅や住む環境の選択幅が小さくなる | 11. その他 () |
| 6. 家族を養う責任が生じる | 12. デメリットはない |

問18 あなたにとって、理想的な子どもの人数は何人ですか。1つだけ○をつけてください。
(5. の「5人以上」に○をつけた方は、その具体的な人数も記入してください。)

- | | |
|-------|-------------------|
| 1. 1人 | 4. 4人 |
| 2. 2人 | 5. 5人以上 (____ 人) |
| 3. 3人 | 6. 子どもはいらない |

問19 問18で1.～5. を選んだ方にお聞きます。あなたは、実際には何人の子ども(現在いる子どもを含めて)を持つ予定ですか。1つだけ○をつけてください。
(5. の「5人以上」に○をつけた方は、その具体的な人数も記入してください。)

- | | |
|-------|-------------------|
| 1. 1人 | 4. 4人 |
| 2. 2人 | 5. 5人以上 (____ 人) |
| 3. 3人 | |

◆問19で答えた「実際に持とうと考える子どもの数」が、問18で答えた「理想的な子どもの数」よりも少ない方だけにお聞きします。(未婚の方も含む)

問20 理想的な人数の子どもを持ってない理由についてお聞かせください。
(下のa~lのそれぞれについて、あてはまる番号に○をつけてください。)

	そう思う	どちらか といえば そう思う	どちらか といえば そう思わ ない	全くそう 思わない
a. 健康上の理由から	1	2	3	4
b. 欲しいけれどもできない	1	2	3	4
c. 子育てや教育にお金がかかりすぎるから	1	2	3	4
d. 末の子が自分(配偶者)の定年までに成人してほしいから	1	2	3	4
e. 子育ての精神的・肉体的負担が大きいため	1	2	3	4
f. 家が狭いから	1	2	3	4
g. 子どもがのびのび育つ社会環境ではないから	1	2	3	4
h. 保育所等の公的サービスが使いにくいから	1	2	3	4
i. 配偶者の家事・育児への協力が得られないから	1	2	3	4
j. 自分(配偶者)の仕事(勤めや家業)に差しつかえるから	1	2	3	4
k. 自分(配偶者)の趣味やレジャーと両立しないから	1	2	3	4
l. 親や知人等から子育ての支援が得られにくいから	1	2	3	4

共通項目 3 あなたの結婚や子育てに関する環境について、お考えを聞かせてください。

問21 次のa～vであなたは次の施策を利用した（または支援を受けた）ことがありますか。
 （下のa～vのそれぞれについて、あてはまる番号に○をつけてください。）
 ※取組の詳細は最終ページの別紙一覧を参照してください。

取組名称	利用している 利用したこと がある	利用していない が名前は知っ ている	名前も知ら ない
a. 心くしま結婚・子育て応援センター	1	2	3
b. はひ福なび	1	2	3
c. 子育て世代包括支援センター	1	2	3
d. 赤ちゃんほっとステーション	1	2	3
e. ファミたんカード	1	2	3
f. すくすくひろば	1	2	3
g. 生活保護	1	2	3
h. 児童手当	1	2	3
i. 児童扶養手当	1	2	3
j. 就学援助	1	2	3
k. スクールカウンセラー	1	2	3
l. スクールソーシャルワーカー	1	2	3
m. 子どもの医療費助成制度	1	2	3
n. 生活困窮者自立支援制度	1	2	3
o. 自立支援教育訓練給付金	1	2	3
p. 高等職業訓練促進給付金	1	2	3
q. ひとり親家庭医療費助成制度	1	2	3
r. 母子・父子・寡婦福祉資金貸付事業	1	2	3
s. 生活福祉資金貸付事業	1	2	3
t. 母子家庭等就業・自立支援センター	1	2	3
u. 子ども食堂	1	2	3
v. フードバンク	1	2	3

問22 子育て環境の整備や少子化対策について、国・県・市町村にどのような施策を期待しますか。
 (特に重要と思うものの番号に3つ◎を、次に期待するものの番号に2つ○をつけてください。
 ただし、「28. 特に施策は期待していない」を選んだ方は他に○をつけなくてください。)

結 婚	1. 婚活イベントの開催
	2. 結婚を望む方へのマッチング（お見合い相手の紹介など）
妊 娠 か ら 出 産	3. 妊産婦や乳幼児の健康診査・保健指導など保健事業の充実
	4. 出産・小児医療体制の充実
育 児	5. 不妊治療への助成など、妊娠や出産に対する経済的な支援
	6. 子育ての悩みや不安が相談でき、切れ目なく支援を受けられる地域体制づくり
	7. 子育てサークルなど親・子同士の交流の場や仲間づくりの機会を増大
経 済 負 担 軽 減	8. 待機児童解消のための保育所等の整備や放課後児童クラブの充実
	9. 一時保育、病児保育など多様な保育サービスの支援
環 境 づ く り	10. 児童手当や児童扶養手当の拡充、医療費の助成、保育料等の負担軽減など、子育て世帯への経済的な支援
	11. 教育費用の軽減や奨学金制度の充実
環 境 づ く り	12. 公共施設等へのおむつ替え設備や授乳室など、子育てバリアフリーの整備
	13. 子育てに配慮した住宅・住環境の整備
	14. 育児休業取得促進や労働時間の短縮などワークライフバランスに配慮した雇用環境の整備
	15. 出産・子育てのために、いったん離職した人に対する就労支援
	16. 家事・育児の男女共同参画の推進
	17. NPOなど民間団体が行う子ども食堂などの子育て支援活動の支援
	18. 子育て家庭を社会全体で応援する雰囲気づくり・意識啓発
	19. 犯罪などのない安全な生活環境の整備
	20. 子育てに関する各種情報の分かりやすい総合的な提供
	21. 子どもの健康づくりの充実
	22. 学校給食等の検査体制の充実
	23. 安全な食材や飲料の提供体制の整備
	24. 安全な屋内遊び場などの整備
	25. 児童虐待から子どもを守る体制づくり
26. 災害や事故など緊急時に対する備え	
そ の 他	27. その他（ ）
	28. 特に施策は期待していない

問23 あなたは、子育て家庭のために子育て支援の活動をしたいと思いますか。
(1つだけ○をつけてください)

- | | |
|-------------|------------|
| 1. 是非したい | 4. 全くしたくない |
| 2. できればしたい | 5. わからない |
| 3. あまりしたくない | 6. 既にやっている |

問24 震災による子どもへの影響として、心配なことがありますか。
(あてはまる番号のすべてに○をつけてください。ただし、「12. 特に心配なことはない」を選んだ方は他に○をつけなくてください。)

- | | |
|---------------------|------------------------|
| 1. 運動不足 | 7. 子どもの健康 |
| 2. 外遊び・自然体験の不足 | 8. 家庭や保育所等での食材の安全性 |
| 3. 学習時間の減少や学習環境の悪化 | 9. 震災後に不安を感じることに伴うストレス |
| 4. 震災体験が子どもの心に与える影響 | 10. 生活習慣の乱れ |
| 5. 友達関係の変化 | 11. その他 () |
| 6. 家族関係の変化 | 12. 特に心配なことはない |

問25 あなたが、児童虐待について知っていることはどのようなことですか。
(あてはまる番号のすべてに○をつけてください。)

- | |
|--------------------------------------|
| 1. 児童虐待を発見した者は、通告する義務がある |
| 2. 児童虐待を受けたと思われる子どもを発見した者は、通告する義務がある |
| 3. 児童虐待の通告は匿名でもかまわない |
| 4. 児童虐待の通告をした者の秘密は守られる |
| 5. 児童虐待の通告先に市町村役場も含まれる |
| 6. 児童相談所の全国共通ダイヤルの番号は189である |
| 7. その他 () |

問26 あなたが、子どもの貧困対策のため充実が必要と思うことはどのようなことですか。
(あてはまる番号のすべてに○をつけてください。)

- | |
|------------------------------|
| 1. 子どもの支援に関する各種情報の分かりやすい提供 |
| 2. 日頃の生活への経済的援助(子育てのための手当など) |
| 3. 貧困の子どもを地域で支える仕組み(子ども食堂など) |
| 4. 無償もしくは低料金の子どもの学習支援 |
| 5. 低い家賃で住める住居(公営住宅など) |
| 6. 生活向上のための保護者の資格取得や教育の機会 |
| 7. 子どもの問題についての相談窓口 |
| 8. その他 () |
| 9. わからない |

お子さんのいらっしゃる方

個別項目 1 あなたの子育てに関するお考えを聞かせてください。

問28 あなたは、子どもがいてよかったと思うことは、どのようなことですか。
(あてはまる番号のすべてに○をつけてください。ただし、「10. よかったと思うことは、特
にない」を選んだ方は他に○をつけないでください。)

1. 家庭が明るくなった
2. 身近な人が喜んでくれた
3. 生活に張り合いができた
4. 夫婦のきずなが強くなった
5. 子どもを通して、地域との関係が深まった
6. 子育てを通じて、自分の視野が広がったり、自分自身が成長することができた
7. 子育てを通じて、自分の友人が増えた
8. 上の子に弟・妹ができた
9. その他 ()
10. よかったと思うことは、特にない

問29 あなたは、子どもがいて負担に思うことはどのようなことですか。
(あてはまる番号のすべてに○をつけてください。ただし、「10. 負担とは思わない」を選
んだ方は他に○をつけないでください。)

1. 子どもにかかりきりで時間的な余裕がほとんどない
2. 夫婦で楽しむ時間がない
3. 自分の趣味や娯楽を気楽に楽しめない
4. 気の休まる時間がない、子育ては根気がいるなど、精神的な負担が大きい
5. 子どもの世話で肉体的に疲れる
6. 子育てで出費がかさむ
7. 仕事が忙しく、子どもとふれ合う時間がとれない
8. 住宅が手狭で、不自由だ
9. その他 ()
10. 負担とは思わない

問30 あなた、およびあなたの配偶者は、平日、家事や子育てにかけている時間は、平均してどのく
らいありますか。(それぞれ、あてはまる番号に○をつけてください。)

平日家事や子育てにかかる時間	あなた	配偶者 (※配偶者のいる方のみ)
やっていない	1	1
30分未満	2	2
30～1時間未満	3	3
1～2時間未満	4	4
2～3時間未満	5	5
3～5時間未満	6	6
5時間以上	7	7

問31 あなた、およびあなたの配偶者は、休日、家事や子育てにかけている時間は、平均してどのくらいありますか。（それぞれ、あてはまる番号に○をつけてください。）

休日家事や子育てにかかる時間	あなた	配偶者 (※配偶者のいる方のみ)
やっていない	1	1
30分未満	2	2
30～1時間未満	3	3
1～2時間未満	4	4
2～3時間未満	5	5
3～5時間未満	6	6
5時間以上	7	7

◆問8で「親と同居している（配偶者の親も含む）」とお答えした方にお聞きします

※親と同居していない方は問33へお進みください。

問32 あなたは、子育てするうえで、親と同居していてよかったと思うことはどんなことですか。（あてはまる番号のすべてに○をつけてください。ただし、「11. よかったと思うことは特にない」を選んだ方は他に○をつけしないでください。）

1. 毎日子どもの面倒をみしてくれること
2. とくとき子どもの面倒をみってくれたり、子どもにつき合ってくれること
3. 急な用事ができたときに子どもを預かってくれること
4. 一緒に生活することで、子どもの感受性が豊かになること
5. 子どもにお祭りなどの地域の伝統行事を教えてくれること
6. 子どもにしつけや地域のしきたりを教えてくれること
7. 子どもが元気がない時などに、励ましてくれること
8. 自分の子育ての相談のってくれたり、励ましてくれること
9. 経済的な支援をしてくれること
10. その他（)
11. よかったと思うことは特にない

問33 子育てや子育て支援に関する情報について、どこから得ることが多いですか。（あてはまる番号のすべてに○をつけてください。ただし、「11. 特にない」を選んだ方は他に○をつけしないでください。）

1. 育児書などの本や雑誌
2. インターネット（パソコン・スマートフォン・携帯電話）
3. テレビ・ラジオ
4. 新聞
5. 子育て世代包括支援センターや子ども家庭総合支援拠点、地域子育て支援拠点等
6. 市町村などの広報誌
7. 乳幼児健診
8. 家族、親族、友人、知人
9. 保育所、幼稚園、学校の先生
10. その他（)
11. 特にない

◆問10「あなたと配偶者のご職業について」(3ページ)で、1. 正規雇用の従業員、2. 非正規職員(契約社員等フルタイム勤務)、3. 非正規職員(パート・アルバイト・内職)、4. 自営業主・家族従業員 のいずれかに○をつけた方だけにお聞きます。

問34 仕事と子育てを両立するため、あなたが理想とする帰宅時間帯は何時頃ですか。
(あてはまる番号に○をつけてください)

- | | |
|-------------|--------------|
| 1. 午後6時以前 | 5. 午後9時～10時前 |
| 2. 午後6時～7時前 | 6. 午後10時以降 |
| 3. 午後7時～8時前 | 7. 不規則 |
| 4. 午後8時～9時前 | 8. その他 () |

問35 子育てについて、何か不安や悩みがある時、どなたに相談をしましたか。
(あてはまる番号のすべてに○をつけてください。ただし、「11. 相談先がわからなかった」「12. 相談する人がいない」、「13. 相談する必要がなかった」、「14. 相談したくない」を選んだ方は他に○をつけなくてください。)

- | | |
|--------------------|---------------------|
| 1. 配偶者 | 8. 職場の同僚や上司 |
| 2. 自分や配偶者の親 | 9. インターネットの育児ホームページ |
| 3. その他の家族や親族 | 10. その他 () |
| 4. 友人、知人、近所の人 | 11. 相談先がわからなかった |
| 5. 保育所、幼稚園、学校の先生 | 12. 相談する人がいない |
| 6. 市町村などの行政機関の相談窓口 | 13. 相談する必要がなかった |
| 7. 医師や助産師、看護師、保健師 | 14. 相談したくない |

問36 子育てに関することで、困と感じたことはどのようなことですか。
(あてはまる番号のすべてに○をつけてください。ただし、「14. 特にない」を選んだ方は他に○をつけなくてください。)

- | |
|-------------------------------------|
| 1. 緊急時や突発的な用事ができたときに、子どもを預けるところがない |
| 2. 同じ年頃の子どもを持つ母親や父親が身近にいない |
| 3. 近所に子どもの遊び友達が少ない |
| 4. 子どもの病気や遊ばせ方などについて、適当な相談相手が身近にいない |
| 5. 保育所や幼稚園のサービスに関して情報が入手しにくい |
| 6. 子どもの育て方について、配偶者や家族と意見が合わない |
| 7. 環境汚染や食品の安全性が心配(震災後の影響を含む) |
| 8. 子どもの教育費などの経済的な問題 |
| 9. 部屋が狭い、部屋数が少ないなどの住宅の問題 |
| 10. 配偶者や家族の協力が得られない |
| 11. 安全に暮らせる社会ではない |
| 12. 子どもの学校生活や交友関係 |
| 13. その他 () |
| 14. 特にない |

問37 あなたは、子育てするうえで、近所や地域の人たちにはどのようなことをしてほしいと思いますか。(あてはまる番号のすべてに○をつけてください。ただし、「9. 特にない」を選んだ方は他に○をつけなくてください。)

1. ちょっとしたことでも気軽に声をかけてくれる
2. 危険なことやいたずらをしたら注意してくれる
3. 急用の時に子どもを一時的に預かってくれる
4. 子育ての相談ののってくれる
5. 子どもや子育てに関する情報を交換する
6. 一緒にスポーツや遊びをしてくれる
7. 地域の伝統やしきたりについて教えてくれる
8. その他 ()
9. 特にない

個別項目 2 子育てに関する環境について、お考えを聞かせてください。

問38 あなたにとって、子育てするうえで重要だと考える住宅の要素は、どのような点ですか。(特に重要だと考える番号3つに○をつけてください。)

1. 居住スペースが充分あること
2. 部屋数が充分あること
3. 子どもが騒いでも大丈夫なように遮音性に優れていること
4. 賃貸料(自宅の場合は維持費)などの住宅コストが安いこと
5. 親世帯等とのプライバシーが確保できること
6. 敷地(庭など)が充分あること
7. 安全な環境にあること
8. その他 ()

問39 あなたにとって、子育てするうえで重要だと考える住環境とは、どのような環境ですか。(特に重要だと考える番号3つに○をつけてください。)

1. 緑や自然が多い場所であること
2. 子どもを遊ばせる公園などが近くにあること
3. 学校や幼稚園、保育施設が近くにあること
4. 交通安全に配慮した通学路などが整備されていること
5. 医療機関が近くにあること
6. 犯罪や危険のない場所であること
7. 職場に近く、仕事と子育ての両方に便利なこと
8. 買い物など、生活に便利な場所であること
9. その他 ()

◆問4.4 「1. すぐにも結婚したい」、「2. 2～3年以内に結婚したい」、「3. いずれは結婚したい」、「4. 結婚したいと思う(思っていた)が結婚しないと思う」と答えた方だけにお聞きします。

問4.5 あなたは、結婚相手を探すためにどのようなことをしていますか(していましたか)。(最もあてはまると思われる番号1つだけ○をつけてください。)

1. すでに交際している人がいる
2. 婚活サイト、アプリを利用して探している
3. 結婚相談所を利用して探している
4. 結婚関係ボランティアの仲介人(県や市町村の世話やき人など)を通して探している
5. 職場の上司や知人・友人から見合いや紹介されるのを待っている
6. 特に何もしていない
7. どうやって探せばいいかわからない
8. その他()

問4.6 あなたは、結婚すると、生活にどのような変化があると思いますか。(1つだけ○をつけてください。)

1. パートナーと協力しあうことで生活が楽になると思う
2. どちらかといえば楽になると思う
3. 変わらないと思う
4. どちらかといえば負担が増えると思う
5. とても負担が増えると思う

問4.7 あなたが現在独身でいる理由は、次のうちどれですか。(ご自分の気持ちにあてはまると思われる番号すべてに○をつけてください。)

1. 結婚するにはまだ若すぎるから
2. 結婚する必要性をまだ感じないから
3. 今は、仕事に(または学業に)打ちこみたいから
4. 今は、趣味や娯楽を楽しみたいから
5. 独身の自由さや気楽さを失いたくないから
6. 理想の相手にまだめぐり合えないから
7. 異性と出会う機会そのものがないから
8. 異性とうまくつき合えないから
9. 結婚資金が足りないから
10. 結婚生活のための住居のめどがたたないから
11. 家計のやりくりが大変だから
12. 家事・育児が大変だから
13. 仕事と家事・育児を両立させる自信がないから
14. 自分、結婚相手の父母等の介護が困難だから
15. 相手に自分の生活を合わせないといけないから
16. お金が自分の自由にならないと思うから
17. その他()

※お願い このアンケート調査票は同封の返信用封筒(切手不要)に入れ、

令和元年5月31日(金)までにご投函ください。

☆☆☆☆☆ ご協力ありがとうございました。☆☆☆☆☆

【参考】

取組名称	取組概要
a. ふくしま結婚・子育て応援センター	福島県で設置する結婚から妊娠・出産、子育てまで、切れ目ない支援をするための相談機関です。
b. はび福なび	ふくしま結婚・子育て応援センターで運営する紹介型のふくしま結婚マッチングシステムです。
c. 子育て世代包括支援センター	各市町村が設置する相談支援機関で、保健師等の専門スタッフが、様々な相談に対応し、妊娠期から子育て期まで切れ目ない支援を提供するために設置する窓口です。
d. 赤ちゃんほっとステーション	福島県では赤ちゃん連れの家族が安心しておでかけできる環境整備を進めながら、社会全体で子育てを支援する雰囲気づくりを目指して、「授乳できる場所」「おむつ替えができる場所」のある施設を登録しています。
e. ファミたんカード	子どもがいる世帯子ども(18歳に達した後の最初の3月31日を迎えるまでの者)一人につき1枚交付し、協賛企業から、自ら創意工夫して特性を活かした子育て支援サービスが受けられるパスポートです。
f. すくすくひろば	「子育てにやさしいお店や施設(ファミたんカード協賛店、授乳室・おむつ替えスペースがある施設)」や「幼稚園・認定こども園情報」などの子育てに関する情報を発信している福島県の子育てポータルサイトです。
g. 生活保護	病気や失業などのため、生活費や医療費に困り、ほかに方法がないときは一定の条件により生活、教育、住宅、医療、介護、出産、生業、葬祭について援助が受けられる制度です。 お住まいの市町村が申請窓口となります。
h. 児童手当	中学校卒業まで(15歳の誕生日後の最初の3月31日まで)の児童を養育している方を対象に支給されます。 問い合わせ先: 市町村児童手当担当課
i. 児童扶養手当	父又は母と生計を同じくしていない児童(18歳に達した日以後最初の3月31日までの間にある児童又は20歳未満で障がいのある児童)を監護する母又は監護し生計を同じくする父等に対して支給されます。 お住まいの市町村が申請窓口になります。
j. 就学援助	経済的な理由により就学が困難な子ども達の保護者に対して、援助を行い、子ども達が等しく義務教育を受けることができるようにするための制度です。 各学校にお問い合わせください。
k. スクールカウンセラー	学校生活での困りごとや悩みなどについて、臨床心理の専門知識や相談の経験をもつ者が、児童・生徒のカウンセリングや保護者の方への助言を行います。 各学校にお問い合わせください。
l. スクールソーシャルワーカー	学校生活での困りごとや悩みなどについて、社会福祉制度などの知識をもつ者が、学校、家庭、地域の関係機関等と連携して支援を行います。 各学校にお問い合わせください。
m. 子どもの医療費助成制度	18歳に達した日以後における最初の3月31日までの間にある児童で、かつ県内に住所を有する児童に対して、医療費を助成する制度です。 お住まいの市町村へお問い合わせください。
n. 生活困窮者自立支援制度	経済的な問題など、生活上の困難に直面している方の相談に応じるほか、住居確保給付金の支給や就労支援、家計管理の支援など、自立の支援を行います。 お住まいの市、生活自立サポートセンター(町村にお住まいの場合)が申請窓口となります。

【参考】（続き）

取組名称	取組概要
o. 自立支援教育訓練給付金	ひとり親家庭の母又は父が、雇用保険制度の指定教育訓練講座を受講し、修了した場合に、受講費用の一部を助成する制度です。 市にお住まいの方は市が、町村にお住まいの方は県児童家庭課が申請窓口になります。
p. 高等職業訓練促進給付金	ひとり親家庭の母又は父が、就職に有利な資格を取得するため、養成機関で1年以上修業する場合に、修業期間のうち一定期間において給付金が支給されます。 市にお住まいの方は市が、町村にお住まいの方は県児童家庭課が申請窓口になります。
q. ひとり親家庭医療費助成制度	ひとり親家庭の父又は母及びその児童並びに父母のない児童に対して、同一月ごとに1世帯の自己負担額を合算し、月額1,000円を超えた場合に、その1,000円を超えた額が助成されます。 お住まいの市町村へお問い合わせください。
r. 母子・父子・寡婦福祉資金貸付事業	配偶者のない女子又は男子で児童を扶養している方、又はその児童等に対して、修学資金や生活資金、就学支度資金などの貸付けを行っています。 お住まいの市町村が申請窓口となり、お住まいの市町村を所管する保健福祉事務所で審査・貸付けを行います。 (中核市である福島市、郡山市、いわき市については、各市で審査・貸付けを行います。)
s. 生活福祉資金貸付事業	ほかの貸付制度が利用できない、低所得世帯、障がい者世帯、高齢者世帯などを対象に、必要な資金の貸付と併せて相談・支援を行うことにより、経済的自立と生活の安定を目指す制度です。 お住まいの市町村の社会福祉協議会が申請窓口となります。
t. 母子家庭等就業・自立支援センター	専門の相談員を配置し、働きたい、転職したいと考えているひとり親家庭等からの就業相談や求人情報の提供、就職後の悩みに対するカウンセリング、自立支援プログラムの策定等を実施しています。
u. 子ども食堂	地域のボランティアが子どもたちに対し、無料又は安価で栄養のある食事や温かな団らんを提供する取組です。子どもに限らず、その他の地域住民を含めて対象とする取組を含みます。
v. フードバンク	まだ食べられるにもかかわらず処分されてしまうなどの食品を企業等から引き取ったNPO等の団体が、支援を必要としている施設などに提供する活動です。

少子化・子育てに関する県民意識調査
報告書

令和元年8月

福島県 保健福祉部こども未来局 こども・青少年政策課
〒960-8670 福島県福島市杉妻町2番16号
TEL : 024-521-7198